

表 2-2-1 成形施設の検査の項目 (4/6)

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項													三号 ^{※2} QMS ^{注3}	
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法				二号 ^{※1} 作動 ^{注1}				仕様性能 ^{注2}						
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全 単一	複数	遮蔽	材料	面速	保持	IL		他
成形施設	工場棟 成型工場 ペレット 加工室	パーツファイダ	改造	①	①②③	①⑥	①	①② ③	①	①	①②	①	①②	-	①	-	-	①
		ペレット配列機	改造	①	①②③	①⑥	①	①② ③	-	-	①②	①	①②	-	-	-	-	①
		ペレットトレイコン ベア	改造	①	①②③	①⑥	①	①② ③	-	-	①②	①	①②	-	-	-	-	①
		冷却水循環槽	改造	①	①②③ ④⑧	①	①	①② ③	①	①	①②	①	①②	-	-	-	-	①
		遠心分離機 (研削)	改造	①	①②③ ⑧	①⑥	①	①② ③	①	①	①②	①	①②	-	-	-	-	①
		ペレット外観検査装 置	改造	①	①②③	①⑥	①	①② ③	-	-	①②	①	①②	-	-	-	-	①
		ペレット寸法密度検 査装置	変更なし	①	①②③	①⑥	①	①② ③	-	-	①②	①	①②	-	-	-	-	①
		焼結体密度検査装置	変更なし	①	①②③	①⑥	①	①② ③	-	-	①②	①	①②	-	-	-	-	①
		洗浄ボックス (研削 工程)	改造	①	①②③	①⑥	①	①② ③	①	①	①②	①	①②	-	-	①	-	①
		液受槽 (研削工程)	追加	①	①②③ ⑧	①⑥	①	①② ③	①	①	①②	①	①②	-	-	-	-	①
ロータ用台車(1)	変更なし	①	①③④	③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①	
循環槽 A・B	追加	①	①②③ ⑧	①⑥	①	①② ③	①	①	①②	①	①②	-	-	-	-	-	①	
スラッジ回収機能付 き遠心分離機	改造	①	①②③ ⑧	①⑥	①	①② ③	①	①	①②	①	①②	-	-	-	-	-	①	

表 2-2-1 成形施設の検査の項目 (5/6)

施設 名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項 一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法													二号 ※1 仕様 性能 注2	二号 ※1 仕様 性能 注2	三号 ※2 QMS 注3	
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全		遮蔽	材料	面速	作動注1					
										単一	複数				保持	IL				他
成形 施設	工場棟 成型工場 ペレット 加工室	ろ過器	追加	①②③	①⑥	①	①②③	-	①	①②	-	①	①②	-	-	-	-	-	①	
		研削層乾燥機	改造	①②③ ⑦⑧	①⑥	①	①②③	①	①	①②③	-	①	①②	-	⑥	-	-	-	①	
		フードボックス(4)	変更なし	①②③ ⑧	①⑥	①	①②③	①	①	①②③	-	①	①②	-	-	-	-	-	①	
		フードボックス(5)	変更なし	①②③ ⑧	①⑥	①	①②③	①	①	①②③	-	①	①②	-	-	-	-	-	①	
		ペレット明替機	変更なし	①②③ ⑦⑧	①⑥	①	①②③	①	①	①②③	-	①	①②	-	⑦	-	-	-	①	
		酸化炉(1)	改造	①②③ ④⑦⑧	①⑤ ⑥	①	①②③	①	①	①②③	-	①	①②	-	-	-	-	-	①	
		酸化炉(2)	改造	①②③ ④⑦⑧	①⑤ ⑥	①	①②③	①	①	①②③	-	①	①②	-	-	-	-	-	①	
		粉砕機(1)	改造	①②③ ④⑤⑧	①⑤ ⑥	①	①②③	①	①	①②③	-	①	①②	-	-	-	-	-	①	
		粉砕機(2)	改造	①②③ ④⑤⑧	①⑤ ⑥	①	①②③	①	①	①②③	-	①	①②	-	-	-	-	-	①	
		洗浄ボックス(圧縮 成型工程)	改造	①②③	①⑥	①	①②③	①	①	①②③	-	①	①②	-	-	-	-	-	①	
液受槽(圧縮成型工 程)	追加	①②③ ⑧	①⑥	①	①②③	①	①	①②③	-	①	①②	-	-	-	-	-	①			
遠心分離機(洗浄)	改造	①②③ ⑧	①⑥	①	①②③	①	①	①②③	-	①	①②	-	-	-	-	-	①			

表 2-2-1 成形施設の検査の項目 (6/6)

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第1項 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法													二号 ^{※1}	仕様性能 ^{注2}	三号 ^{※2}		
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全		遮蔽	材料	仕様性能 ^{注2}	面速	動作 ^{注1}					
										単一	複数					保持				IL	他
成形施設	加工棟 成型工場 ペレット 加工室	粉末集塵装置 (加工棟)	変更なし	①②③ ⑧	①⑥	①	①② ③	①	①② ③	①	①② ③	①	①②	①	①	-	-	①	-	①	
		連続焼結炉 (加工棟)	改造	①②③ ⑦⑧	①④ ⑥	①③	①② ③	①⑤	①② ③	①⑤	①② ③	①	①②	①② ③	①⑩⑪ ⑨	-	-	-	①②	-	①
		冷却水循環槽 (研削) (加工棟)	改造	①②③ ⑧	①⑥	①	①② ③	①	①② ③	①	①② ③	①	①②	①②	①② ③	-	-	-	-	-	①
		遠心分離機 (研削) (加工棟)	変更なし	①②③ ⑧	①⑥	①	①② ③	①	①② ③	①	①② ③	①	①②	①②	①② ③	-	-	-	-	-	①
		洗浄水循環槽 (加工棟)	改造	①②③ ⑧⑨	①⑥	①	①② ③	①	①② ③	①	①② ③	①	①②	①②	①② ③	-	-	-	-	-	①
		ろ過器 (加工棟)	追加	①②③	①⑥	①	①② ③	-	-	-	-	-	①② ③	①②	①② ③	-	-	-	-	-	①
		遠心分離機 (洗浄) (加工棟)	変更なし	①②③ ⑧	①⑥	①	①② ③	①	①② ③	①	①② ③	①	①②	①②	①② ③	-	-	-	-	-	①

表 2-3-1 被覆施設の検査の項目 (1/2)

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項																三号※2 QMS 注3
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法				二号※1				三号※2				仕様性能 注2				
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全 単一	複数	遮蔽	材料	仕様性能 注2	面速		保持	IL	他	
被覆施設	工場棟 成型工場 燃料棒溶接室	ペレット乾燥機	改造	①②③	①⑥	①	①②③	-	①	①②③	①	①②③	①②③	①	①②	-	-	-	-	①
		ペレット挿入機	改造	①②③	①⑥	①	①②③	-	①	①②③	①	①	①②③	①	①	-	-	-	-	①
		ペレットトレイ用台車(3)	変更なし	①③	⑥	-	-	-	-	①	②	①	①	①	-	-	-	-	-	①
		端面洗浄機	変更なし	①②③	①⑥	①	①②③	-	①	①②③	①	①	①	①	-	-	-	-	-	①
		端栓圧入機	改造	①②③	①⑥	①	①②③	-	①	①②③	①	①	①	①	-	-	-	-	-	①
		端栓周溶接装置	変更なし	①②③	①⑥	①	①②③	-	①	①②③	①	①	①	①	-	-	-	-	-	①
		He加圧溶接装置	改造	①②③	①⑥	①	①②③	-	①	①②③	①	①	①	①	-	-	-	-	-	①
		燃料棒ライコンベア	改造、 変更なし	①②③	①⑥	①	①②③	-	①	①②③	①	①	①②③	①	①②③	-	-	-	-	①
		端栓切断機	変更なし	①②③	①⑥	①	①②③	-	①	①②③	①	①	①	①	①②③	-	-	-	-	①
		端栓圧入機	変更なし	①②③	①⑥	①	①②③	-	①	①②③	①	①	①	①	①②③	-	-	-	-	①
被覆施設	工場棟 成型工場 燃料棒補修室	UO ₂ 明替ボックス	改造	①②③	①⑥	①	①②③	①	①②③	①	①	①	①	①②③	-	-	-	-	①	

注1:「保持」は動力供給停止時の保持機能、「IL」はインターロック、「他」はその他を示す。

注2:「仕様性能」は仕様上求められる性能を示す

注3:「QMS」は品質マネジメントシステムに係る検査を示す。

※1: 二号 機能及び性能を確認するために十分な方法

※2: 三号 その他設置又は変更の工事がその設計及び工事の計画に従って行われたものであることを確認するために十分な方法

表 2-3-1-1 被覆施設の検査の項目 (2/2)

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項														三号 ^{※2} QMS ^{注3}
				一号				二号 ^{※1}				仕様性能 ^{注2}						
				外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全 単一	遮蔽	材料	面速	保持	作動 ^{注1} IL	他	仕様性能 ^{注2}		
被覆施設	工場棟 組立工場 燃料棒 検査室	燃料棒ライコンベン ア	改造	①	①	①	①② ③	-	①	①②	-	①	-	-	-	-	①	
		超音波検査装置	改造	①	①	①	①② ③	-	①	①	-	①	-	-	-	-	①	
		シールドX線検査装置	改造	①	①	①	①② ③	-	①	①	-	①	-	-	-	-	①	
		燃料棒全長・重量測 定装置	改造	①	①	①	①② ③	-	①	①	-	①	-	-	-	-	①	
		渦電流検査装置	変更なし	①	①	①	①② ③	-	①	①	-	①	-	-	-	-	①	
		γ線走査装置	変更なし	①	①	①	①② ③	-	①	①	-	①	-	-	-	-	①	
		ヘリウムリーク試験 装置	改造	①	①	①	①② ③	-	①	①	-	①	-	-	-	-	①	
		定盤	改造	①	①	①	①② ③	-	①	①	-	①	-	-	-	-	①	
		燃料棒受台	変更なし	①	①	①	①② ③	-	①	①	-	①	-	-	-	-	①	

表 2-4-1 組立施設の検査の項目 (1/2)

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項													三号 ^{※2} QMS ^{※3}		
				一号				二号 ^{※1}				三号 ^{※1}							
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全 単一	複数	遮蔽	材料	仕様 性能 ^{注2}	面速	保持		IL	他
組立施設	工場棟 組立工場 燃料集合 体組立室	マガジン挿入装置	変更なし	① ①②③	①	①	①②③	-	-	①	①②	-	①	-	-	-	-	-	①
		マガジン	変更なし	① ①③	①	-	-	-	-	①	①	-	①	-	-	-	-	-	①
		運搬台車	改造	① ①③	①	-	-	-	-	①	①	-	②	-	-	-	-	-	①
		マガジン架台	改造	① ①②③	①	①	①②③	-	-	①②③	①	-	①②	-	-	-	-	-	①
		マガジン姿勢変換台	改造	① ①②③	①	①	①②③	-	-	①②③	①	-	①②	-	-	-	-	-	①
		燃料集合体組立装置	改造	① ①②③	①	①	①②③	-	-	①②③	①	-	①②	-	-	-	-	-	①
		マガジン架台部	変更なし	① ①②③	①	①	①②③	-	-	①②③	①	-	①	-	-	-	-	-	①
		燃料集合体洗浄装置	改造	① ①②③	①	①	①②③	-	-	①②③	①	-	①	-	-	-	-	-	①
		ジブクレーン	改造	① ①②③	①	①	①②③	-	-	①②③	①	-	①	-	-	-	-	-	①
		エンベロープ検査装置	改造	① ①②③	①	①	①②③	-	-	①②③	①	-	①	-	-	-	-	-	①

注1:「保持」は動力供給停止時の保持機能、「IL」はインターロック、「他」はその他を示す。

注2:「仕様性能」は仕様上求められる性能を示す

注3:「QMS」は品質マネジメントシステムに係る検査を示す。

※1:二号 機能及び性能を確認するために十分な方法

※2:三号 その他設置又は変更の工事がその設計及び工事の計画に従って行われたものであることを確認するために十分な方法

表 2-4-1 組立施設の検査の項目 (2/2)

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第1項													三号 ^{※2} QMS ^{註3}	
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法						二号 ^{※1}			仕様性能 ^{註2}					
				外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全	遮蔽	材料	面速	保持	IL	他	仕様性能 ^{註2}		
組立施設	工場棟 組立工場 燃料集合体 組立室	チャンネル検査装置	改造	①	①	①②③	①②③	-	①	①②	-	①	-	-	-	-	-	①
		燃料集合体検査定盤	改造	①	①	①②③	①②③	-	①	①②	-	①	-	-	-	-	-	①
		燃料集合体検査測定台	変更なし	①	①	①②③	①②③	-	①	①②	-	①	-	-	-	-	-	①
		ジブクレーン	改造	①	①	①②③	①②③	-	①	①	-	①	-	-	-	-	-	①
		燃料集合体体外観検査台	改造	①	①	①②③	①②③	-	①	①	-	①	-	-	-	-	-	①
		燃料集合体検査ピット	改造	①	①	①②③	①②③	-	①	①②	-	①	-	-	-	-	-	①

表 2-5-1 核燃料物質の貯蔵施設の検査の項目 (1/6)

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項											三号 ^{※2} QMS _{注3}			
				一号				二号 ^{※1}				仕様性能 _{注2}						
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全 単一	複数	遮蔽	材料	面速		保持	IL	他
核燃料物質の貯蔵施設	工場棟 転換工場 原料倉庫	シリンダ貯蔵架台	改造	①	①②④	①	①	①②③	-	-	-	-	-	-	-	-	①	
		シリンダ転倒装置	改造	①	①②③④	①⑤⑥	①	①②③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
	工場棟 転換工場 転換加工室	天井走行クレーン (転換 5t)	変更なし	①	①②③④	①	①	①②③	-	-	-	-	①②	①	-	-	-	①
		大型粉末容器貯蔵架台	改造	①	①②③④	①⑥	①	①②③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
	大型粉末容器	変更なし	①	①③④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①	
	大型粉末容器用台車	改造	①	①②③④	③⑥	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①	
	仕掛品貯蔵棚	改造	①	①②③	①⑥	①	①②③	-	-	-	-	①	①②③	-	-	-	①	
	SUS容器用台車(3)	変更なし	①	①③	③⑥	-	-	-	-	-	-	①	-	-	-	-	①	
	SUS容器用台車(4)	変更なし	①	①③	③⑥	-	-	-	-	-	-	①	-	-	-	-	①	
	スクラップ貯蔵棚 (粉未用)	改造	①	①②③④	①⑥	①	①②③	-	-	-	-	①	①②③	-	-	-	①	

注1:「保持」は動力供給停止時の保持機能、「IL」はインターロック、「他」はその他を示す。

注2:「仕様性能」は仕様上求められる性能を示す

注3:「QMS」は品質マネジメントシステムに係る検査を示す。

※1:二号 機能及び性能を確認するために十分な方法

※2:三号 その他設置又は変更の工事とその設計及び工事の計画に従って行われたものであることを確認するために十分な方法

表 2-5-1 核燃料物質の貯蔵施設の検査の項目 (2/6)

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項															三号 ^{※2} QMS ^{※3}				
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法										二号 ^{※1}									
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全 単一	複数	遮蔽	材料	仕様 性能 ^{※2}	面速	保持	IL	他		仕様 性能 ^{※2}			
核燃料物質の貯蔵施設	工場棟 転換工場 転換 加工室	運搬台車	改造	①②③④	①⑥	①	①②③	-	-	①	①②	-	①	①②	-	-	-	-	-	①			
		中間仕掛品一時貯蔵棚	改造	①②③④	①	①	①②③	-	-	①	①	-	①	①	-	-	-	-	-	-	①		
		金属容器(粉末)用台車(1)	変更なし	①③	③⑥	-	-	-	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①	
	工場棟 成型工場 ペレット 加工室	粉末一時貯蔵棚	改造	①②③④	①⑥	①	①②③	-	-	①	①②③	-	①	①	-	-	-	-	-	-	-	①	
		金属容器(粉末)用台車(2)	変更なし	①③	③⑥	-	-	-	-	①	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	-	①	
		スクラップ貯蔵棚(粉末用)	改造、 変更なし	①②③④	①⑥	①	①②③	-	-	①	①②③	-	①	①	-	-	-	-	-	-	-	①	
	付属建物 除染室・ 分析室 作業室(2)	スクラップ貯蔵棚(粉末用)(作業室(2))	改造	①②③④	①⑥	①	①②③	-	-	①	①②③	-	①	①②③	-	-	-	-	-	-	-	-	①
		スクラップ貯蔵棚(粉末用)(第2核燃料倉庫)	改造	①②③	①	①	①②③	-	-	①	①②③	-	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
	付属建物 第2核燃料倉庫	電動リフタ	変更なし	①③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①

表 2-5-1-1 核燃料物質の貯蔵施設の検査の項目 (3/6)

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項													三号 ^{※2} QMS ^{注3}	
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するための十分な方法						二号 ^{※1} 作動 ^{注1}			仕様性能 ^{注2}			仕様性能 ^{注2}		
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全 単一	複数	遮蔽	材料	面速	保持			IL
核燃料物質の貯蔵施設	工場棟 成型工場 ペレット 加工室	圧粉ペレット一時貯蔵棚(1)	変更なし	①	①②③	①⑥	①	①②③	-	-	①	①	-	-	-	-	-	①
		圧粉ペレット一時貯蔵棚(2)	改造	①	①②③	①⑥	①	①②③	-	-	①	①	-	-	-	-	-	①
		圧粉ペレット一時貯蔵棚(3)	変更なし	①	①②③	①⑥	①	①②③	-	-	①	①	-	-	-	-	-	①
		ペレットラインコンベア(1)	改造	①	①②③	①⑥	①	①②③	-	-	①	①②	-	-	-	-	-	①
	ペレットラインコンベア(2)	改造	①	①②③	①⑥	①	①②③	-	-	①	①②	-	-	-	-	-	-	①
	乗移台 2	改造	①	①②③	①⑥	①	①②③	-	-	①	①②	-	-	-	-	-	-	①
	ボート運搬台車	変更なし	①	①②③	③⑥	-	-	-	-	-	①	-	-	-	-	-	-	①
	焼結ペレット一時貯蔵棚(1)	変更なし	①	①②③	①⑥	①	①②③	-	-	①②③	-	①	-	-	-	-	-	①
	焼結ペレット一時貯蔵棚(2)	改造	①	①②③	①⑥	①	①②③	-	-	①②③	-	①	-	-	-	-	-	①
	焼結ペレット一時貯蔵棚(3)	改造	①	①②③	①⑥	①	①②③	-	-	①②③	-	①	-	-	-	-	-	①
	ペレットラインコンベア(3)	改造	①	①②③	①⑥	①	①②③	-	-	①②③	-	①	-	-	-	-	-	①
	ペレットラインコンベア(4)	改造	①	①②③	①⑥	①	①②③	-	-	①②③	-	①	-	-	-	-	-	①

表 2-5-1 核燃料物質の貯蔵施設の検査の項目 (4/6)

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項													三号 ^{※3} QMS ^{注3}		
				一号				二号 ^{※1}				仕様性能 ^{注2}							
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全 単一	複数	遮蔽	材料	面速	保持	IL		他	仕様性能 ^{注2}
核燃料物質の貯蔵施設	工場棟 成型工場 ペレット加工室	ボート(焼結)用台車(1)	変更なし	①③	③⑥	-	-	-	-	-	-	①	-	-	-	-	①		
		ボート(焼結)用台車(2)	変更なし	①③	③⑥	-	-	-	-	-	-	①	-	-	-	-	-	①	
		スクラップ貯蔵棚(ペレット用)	変更なし	①②③	①⑥	①	①②③	-	-	-	-	①	-	-	-	-	-	①	
		金属容器(ペレット)	改造	①④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①	
		金属容器(ペレット)用台車(1)	変更なし	①③	③⑥	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①	
		仕上りペレット一時貯蔵棚	改造	①②③	①⑥	①	①②③	-	-	-	-	①	-	-	-	-	-	①	
		仕上りペレット貯蔵棚	改造	①②③	①⑥	①	①②③	-	-	-	-	①	-	-	-	-	-	①	
		仕上りペレット貯蔵棚用台車	変更なし	①②③	③⑥	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
		ペレットトレイ用台車(1)	変更なし	①③	③⑥	-	-	-	-	-	-	-	①	-	-	-	-	-	①
		余剰ペレット貯蔵棚	改造	①②③	①⑥	①	①②③	-	-	-	-	-	①	-	-	-	-	-	①
		金属缶用台車(1)	変更なし	①③	③⑥	-	-	-	-	-	-	-	①	-	-	-	-	-	①

表 2-5-1 核燃料物質の貯蔵施設の検査の項目 (5/6)

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項													三号 ^{※2} QMS ^{注3}		
				一号				二号 ^{※1}				仕様性能 ^{注2}							
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全 単一	複数	遮蔽	材料	面速	保持	IL		他	仕様性能 ^{注2}
核燃料物質の貯蔵施設	工場棟 成型工場 燃料棒補修室	燃料棒一時貯蔵棚	変更なし	①	①②③	①⑥	①	①②③	-	①	①②	①	①②	-	-	-	-	①	
		ロッドチャネル用台車(1)	変更なし	①	①③	①③⑥	-	-	①	-	①	②	①	②	-	-	-	-	①
	工場棟 組立工場 燃料棒検査室	燃料棒一時貯蔵棚	変更なし	①	①②③	①	①②③	①	①②③	-	①	①②③	①	①②③	-	-	-	-	①
		ロッドチャネル用台車(2)	改造	①	①③	①③	-	-	①	-	①	②	①	②	-	-	-	-	①
		ロッドチャネル用台車(3)	改造	①	①③	①③	-	-	①	-	①	②	①	②	-	-	-	-	①
	工場棟 組立工場 燃料集合体組立室	燃料棒貯蔵棚	改造	①	①②③	①	①②③	①	①②③	-	①	①②③	①	①②③	-	-	-	-	①
		トラバース	改造	①	①②③	①	①	①	-	-	①	②	①	②	-	-	-	-	①
		運搬車	改造	①	①②③	①	①	①	-	-	①	②	①	②	-	-	-	-	①
		燃料集合体一時貯蔵架台	改造	①	①②③	①	①	①②③	-	①②③	-	①	①②③	①	①②③	-	-	-	①
	工場棟 組立工場 燃料集合体貯蔵室	燃料集合体貯蔵架台	改造	①	①②③	①	①	①	-	①②③	-	①	①②③	①	①②③	-	-	-	①
燃料集合体移送装置		改造	①	①②③	①	①	①	-	①②③	-	①	①	①	-	-	-	-	①	

表 2-5-1 核燃料物質の貯蔵施設の検査の項目 (6/6)

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項														三号 ^{※2} QMS ^{注3}
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法						二号 ^{※1} 作動				仕様性能 ^{注2}				
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全 単一	複数	遮蔽	材料	仕様性能 ^{注2}	面速	保持	IL	
核燃料物質の貯蔵施設	工場棟 組立工場 燃料集合 体組立室	天井走行クレーン (組立北 4.8t)	変更なし	①②③	①	①	-	-	①	②	-	①	②	-	①	-	-	①
		天井走行クレーン (組立北 3t)	変更なし	①②③	①	①	-	-	①	②	-	①	②	-	①	-	-	①
		天井走行クレーン (組立南 5t)	変更なし	①②③	①	①	-	-	①	②	-	①	②	-	①	-	-	①
		天井走行クレーン (組立南 1t)	変更なし	①②③	①	①	-	-	①	-	-	-	-	-	①	-	-	①
		天井走行クレーン (容器管理棟 4.8t)	変更なし	①②③	①	①	-	-	①	-	-	-	-	-	①	-	-	①

表 2-6-1 放射性廃棄物の廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の検査の項目（1/12）

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項										三号 ^{※2} QMS ^{注3}				
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法				二号 ^{※1}			仕様性能 ^{注2}							
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全 単一	複数	遮蔽	材料		仕様性能 ^{注2}	面速	保持	IL
放射性 廃棄物 の廃棄 施設	工場棟 転換工場 機械室	給気ファン	改造、変 更なし	①	①②③ ⑦	①	①	①② ③	②	-	-	-	-	-	⑬	-	-	①
	付属建物 第2核燃 料倉庫 屋 外	給気ファン	改造、更 新	①	①②③ ⑦	①	①	①② ③	②	-	-	-	-	-	⑬	-	-	①
	工場棟 転換工場 分光分析 室	給気ファン	改造	①	①②③ ⑦	①	①	①② ③	②	-	-	-	-	-	⑬	-	-	①
	工場棟 転換工場 機械室	排気ファン	改造、変 更なし	①	①②③ ⑤⑦	①④ ⑤	①	①② ③	②③	-	-	-	-	-	⑬	-	-	①②
	工場棟 転換工場 フィルタ 室	排気ファン	改造、変 更なし	①	①②③ ⑤⑦	①④	①	①② ③	②③	-	-	-	-	-	⑬	-	-	①②

注1：「保持」は動力供給停止時の保持機能、「IL」はインターロック、「他」はその他を示す。

注2：「仕様性能」は仕様上求められる性能を示す

注3：「QMS」は品質マネジメントシステムに係る検査を示す。

※1：二号 機能及び性能を確認するために十分な方法

※2：三号 その他設置又は変更の工事がその設計及び工事の計画に従って行われたものであることを確認するために十分な方法

表 2-6-1 放射性廃棄物の廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の検査の項目（2/12）

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項													三号 ^{※2} QMS ^{注3}	
				一号				二号 ^{※1}				三号 ^{※2}						
				員数	外貌	寸法	配置	据付	系統	境界安全 単一	複数	遮蔽	材料	仕様 性能 ^{注2}	面速	保持		IL
放射性 廃棄物 の廃棄 施設	工場棟 転換工場 計器室	排気ファン	改造	①	①②③ ⑤	①④	①	①② ③	②③	-	-	-	-	-	-	-	①	
	工場棟 転換工場 機械室	高性能エアフィルタ	改造	①	①②③	①④	①	①② ③④	②	-	-	-	-	-	-	-	①	
	工場棟 転換工場 フィルタ 室	高性能エアフィルタ	改造	①	①②③	①④	①	①② ③④	②	-	-	-	-	-	-	-	①	
	工場棟 転換工場 計器室	高性能エアフィルタ	改造	①	①②③	①④	①	①② ③④	②	-	-	-	-	-	-	-	①	
	工場棟 転換工場 機械室 分光分析 室	給気逆流防止ダンパ (屋外との境界部)	新設、変 更なし	①	①②	-	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	①
付属建物 第2核燃 料倉庫 屋 外 付属建物 除染室・ 分析室 除染室(2) 分析室																		

表 2-6-1-1 放射性廃棄物の廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の検査の項目（3/12）

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項 一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法											二号※1		三号※2		
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全		遮蔽	材料	仕様性能 注2	面速	作動注1		仕様性能 注2	QMS 注3
										単一	複数					保持	IL		
放射性 廃棄物 の廃棄 施設	工場棟 転換工場 機械室 排気塔 ファイルタ 室	排気逆流防止ダンパ (屋外との境界部)	新設、改 造、変更 なし	①	①②	-	①	③	②	-	-	-	①	-	-	-	-	①	
	工場棟 転換工場	給気ダクト・ダンパ	改造	①	①②③	①④	①	③	②	-	-	-	①	-	-	-	-	①	
	付属建物 第2核燃 料倉庫	排気ダクト・ダンパ (部屋、設備～高性 能エアファイルタ)	改造	①	①②	-	①	③	②	-	-	-	①	-	-	-	-	①	
	付属建物 除染室・ 分析室	排気ダクト・ダンパ (高性能エアファイル タ～排気塔)	改造	①	①②	-	①	③	②	-	-	-	①	-	-	-	-	①	
	工場棟 転換工場 転換加工 室	スクラバ	更新	①	①②③	①	①	①② ③	②	-	-	-	①	-	-	-	-	①	

表 2-6-1-1 放射性廃棄物の廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の検査の項目（4/12）

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項													三号 ^{※2} QMS #3	
				一号				二号 ^{※1}				仕様 性能 ^{注2}	面速	作動 ^{注1}				仕様 性能 ^{注2}
				外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全 単一	複数	遮蔽			材料	保持	IL		
放射性廃棄物の廃棄施設	工場棟 転換工場	給気ダクト・ダンパ	改造	①	①	③	②	-	-	①	-	-	-	-	-	-	①	
		排気ダクト・ダンパ (部屋、設備～高性能エアフィルタ)	改造	①	①	③	②	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	①
	工場棟 転換工場 転換加工 室	水スクラバ	変更なし	①	①	①②③	②	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	①
		アルカリスクラバ	変更なし	①	①	①②③	②	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	①
		排ガス冷却装置	変更なし	①	①	①②③	②	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	①
		コンデンサ	変更なし	①	①	①②③	②	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	①
	工場棟 転換工場 チェック タンク室	スクラバ	変更なし	①	①	①②③	②	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	①
		排ガス分解装置	改造	①	①	①②③	②	-	-	①	-	-	-	-	-	⑩	-	①
	工場棟 転換工場 屋外	排気ダクト・ダンパ (高性能エアフィルタ～排気塔)	改造	①	①③	①②	②	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	①
		スクラバ	改造	①	①	①②③	②	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	①

表 2-6-1 放射性廃棄物の廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の検査の項目（5/12）

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項											三号 ^{※2} QMS ^{注3}	
				一号			二号 ^{※1}				仕様性能 ^{注2}	面速	仕様性能 ^{注2}			
				員数	外観	寸法	配置	挿付	系統	臨界安全 単一			複数	遮蔽		材料
放射性 廃棄物 の廃棄 施設	工場棟 成型工場 機械室	給気ファン	改造、変 更なし	①	①②③ ⑦	①	①	①② ③	②	-	-	⑬	-	-	①	
	工場棟 成型工場 機械室	給気ファン	変更なし	①	①②③ ⑦	①	①	①② ③	②	-	-	⑬	-	-	①	
	放射線管 棟 屋外	給気ファン	変更なし	①	①②③ ⑦	①	①	①② ③	②	-	-	⑬	-	-	①	
	工場棟 成型工場 機械室	排気ファン	変更なし	①	①②③ ⑤⑦	①④	①	①② ③	②	-	-	⑬	-	-	①	
	工場棟 成型工場 フィルタ 室(1)	排気ファン	改造、変 更なし	①	①②③ ⑤⑦	①④	①	①② ③	②	-	-	⑬	-	-	①	
	工場棟 成型工場 機械室	排気ファン	変更なし	①	①②③ ⑤⑦	①④	①	①② ③	②③	-	-	⑬	-	-	①	
	工場棟 成型工場 フィルタ 室(1)	高性能エアフィルタ	改造	①	①②③	①④	①	④	②	-	-	-	-	-	①	
	放射線管 棟 廃棄物貯 留室	高性能エアフィルタ	改造	①	①②③	①④	①	①② ③④	②	-	-	-	-	-	①	
	放射線管 棟 機械室	高性能エアフィルタ	改造	①	①②③	①④	①	①② ③④	②	-	-	-	-	-	①	

表 2-6-1-1 放射性廃棄物の廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の検査の項目（6/12）

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項											三号 ^{※2}					
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法				二号 ^{※1}			仕様性能 ^{注2}					仕様性能 ^{注2}				
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全 単一	複数	遮蔽	材料	面速			保持	作動 ^{注1} IL	他	
放射性 廃棄物 の廃棄 施設	工場棟 成型工場 機械室 放射線管 理棟 廃棄物一 時貯蔵所	給気逆流防止ダンプ (屋外との境界部)	新設	①	①②	-	①	③	②	-	-	-	①	-	-	-	-	①		
				①	①②	-	①	③	②	-	-	-	①	-	-	-	-	-	①	
	工場棟 成型工場 排気塔	排気逆流防止ダンプ (屋外との境界部)	改造、変 更なし	①	①②	-	①	③	②	-	-	-	-	①	-	-	-	-	①	
				①	①②③	①⑧	①	③	②	-	-	-	①	-	-	-	-	-	-	①
	工場棟 成型工場	給気ダクト・ダンプ 排気ダクト・ダンプ (部屋、設備～高性 能エアフィルタ)	改造	①	①②	-	①	③	②	-	-	-	-	①	-	-	-	-	①	
				①	①②	①	①	③	②	-	-	-	①	-	-	-	-	-	-	①
	工場棟 成型工場 放射線管 理棟	給気ダクト・ダンプ 排気ダクト・ダンプ (高性能エアフィル タ～排気塔)	改造	①	①②	①	①	③	②	-	-	-	-	-	①	-	-	-	-	①
				①	①②	①	①	③	②	-	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-
	工場棟 成型工場 放射線管 理棟	給気ダクト・ダンプ 排気ダクト・ダンプ (部屋、設備～高性 能エアフィルタ)	改造	①	①②③	①	①	③	②	-	-	-	-	-	①	-	-	-	-	①
				①	①②③	①	①	③	②	-	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-

表 2-6-1-1 放射性廃棄物の廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の検査の項目（7/12）

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第1項													三号 ^{※2} QMS ^{注3}	
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法				仕様性能 ^{注2}	面速	二号 ^{※1} 作動 ^{注1}			仕様性能 ^{注2}	QMS ^{注3}				
				員数	外観	寸法	配置			据付	系統	臨界安全 単一			複数	遮蔽		材料
放射性 廃棄物 の廃棄 施設	加工棟 成型工場 フィルタ 室	給気ファン	変更なし	①	①②③ ⑦	①	①	①② ③	②	-	-	-	-	-	①	-	-	①
	加工棟 成型工場 機械室	給気ファン	変更なし	①	①②③ ⑦	①	①	①② ③	②	-	-	-	-	-	①	-	-	①
	加工棟 成型工場 フィルタ 室	排気ファン	改造、変 更なし	①	①②③ ⑤⑦	①	①④	①② ③	②③	-	-	-	-	-	①	-	-	①
		高性能エアフィルタ	改造	①	①②③	①	①④	①② ③④	②	-	-	-	-	-	①	-	-	①
	加工棟 成型工場 フィルタ 室 機械室	給気逆流防止ダンパ (屋外との境界部)	変更なし	①	①②	①	-	③	②	-	-	-	-	-	①	-	-	①
	加工棟 成型工場 フィルタ 室 排気塔	排気逆流防止ダンパ (屋外との境界部)	変更なし	①	①②	-	③	②	-	-	-	-	-	-	①	-	-	①

表 2-6-1-1 放射性廃棄物の廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の検査の項目（8/12）

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項											三号 ^{※2} QMS 注3			
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法				仕様 性能 ^{注2}	材料	面速	二号 ^{※1} 作動 ^{注1}			仕様 性能 ^{注2}				
				員数	外観	寸法	配置				据付	系統	臨界安全 単一			複数	遮蔽	保持
放射性 廃棄物 の廃棄 施設	加工棟 成型工場	給気ダクト・ダンパ	改造	①	①②③	①	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	①	
		排気ダクト・ダンパ (部屋、設備～高性能 エアフィルタ)	改造	①	①②	①	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	①
		排気ダクト・ダンパ (高性能エアフィル タ～排気塔)	改造	①	①②	①	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	①
		給気ダクト・ダンパ	改造	①	①②	①	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	①
		排気ダクト・ダンパ (部屋、設備～高性能 エアフィルタ)	改造	①	①②③	①	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	①
		給気ファン	変更なし	①	①②③ ⑦	①	①	①② ③	②	-	-	-	-	-	⑬	-	-	①
		排気ファン	変更なし	①	①②③ ⑤⑦	①④	①	①② ③	②③	-	-	-	-	-	⑬	-	-	①
		高性能エアフィルタ	改造	①	①②③	①④	①	①② ③④	②	-	-	-	-	-	-	-	-	①
		結気逆流防止ダンパ (屋外との境界部)	変更なし	①	①②	-	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	①
		排気逆流防止ダンパ (屋外との境界部)	変更なし	①	①②	-	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	①
	付属建物 第3核燃 料倉庫 フィルタ 室																	

表 2-6-1-1 放射性廃棄物の廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の検査の項目（9/12）

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第1項													三号※2 QMS 注3		
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法										二号※1					
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全		遮蔽	材料	仕様性能 注2	面速	保持		作動注1 IL	他
放射性 廃棄物 の廃棄 施設	付属建物 第3核燃 料倉庫	給気ダクト・ダンパ	改造	①	①②③	①	①	③	②	-	-	-	-	①	-	-	-	-	①
		排気ダクト・ダンパ (部屋、設備～高性能 エアフィルタ)	改造	①	①②	①	①	③	②	-	-	-	-	①	-	-	-	-	①
		排気ダクト・ダンパ (高性能エアフィル タ～排気塔)	改造	①	①②	①	①	③	②	-	-	-	-	①	-	-	-	-	①
		給気ダクト・ダンパ	改造	①	①②	①	①	③	②	-	-	-	-	①	-	-	-	-	①
		排気ダクト・ダンパ (部屋、設備～高性能 エアフィルタ)	改造	①	①②	①	①	③	②	-	-	-	-	①	-	-	-	-	①
		給気ファン	変更なし	①	①②③ ⑦	①	①	①② ③	②	-	-	-	-	-	①	-	⑬	-	-
付属建物 第1廃棄 物処理所 屋外	付属建物 第1廃棄 物処理所 排気室	排気ファン	変更なし	①	①②③ ⑤⑦	①④ ⑤	①	①② ③	②③	-	-	-	①	-	⑬	-	-	①②	①
		高性能エアフィルタ	改造	①	①②③	①④	①	①② ③④	②	-	-	-	①	-	-	-	-	-	③

表 2-6-1-1 放射性廃棄物の廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の検査の項目（10/12）

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第1項														三号 ^{※2} QMS 注3	
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法				二号 ^{※1}				仕様性能 ^{注2}							
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全 単一	複数	遮蔽	材料	面速	保持	作動 ^{注1} II	他		仕様性能 ^{注2}
放射性 廃棄物 の廃棄 施設	付属建物 第1廃棄 物処理所	給気逆流防止ダンプ (屋外との境界部)	新設	①	①②	-	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	①	
		排気逆流防止ダンプ (屋外との境界部)	改造	①	①②	-	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
		給気ダクト・ダンプ	改造	①	①②③	①⑧	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
		排気ダクト・ダンプ (部屋、設備～高性 能エアフィルタ)	改造	①	①②	①	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
		排気ダクト・ダンプ (高性能エアフィル タ～排気塔)	改造	①	①②	①⑧	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
		給気ダクト・ダンプ	改造	①	①②	①	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
		排気ダクト・ダンプ (部屋、設備～高性 能エアフィルタ)	改造	①	①②	①	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
		スクラバ	変更なし	①	①②③	①	①	①② ③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
	付属建物 第1廃棄 物処理所 屋外																		

表 2-6-1-1 放射性廃棄物の廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の検査の項目（11/12）

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第1項													三号※2 QMS 注3				
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法										二号※1				仕様性能 注2			
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全		遮蔽	材料	仕様性能 注2	面速	保持			作動注1 II	他	
放射性 廃棄物 の廃棄 施設	付属建物 第2廃棄 物処理所 給気室	空調機給気ファン	変更なし	①	①②③ ⑦	-	-	①② ③	②	-	-	-	-	-	①	-	-	①			
				①	①②③ ⑤⑦	①④	①	①② ③	②③	-	-	-	-	-	-	①②	-	-	①		
	付属建物 シリンド 洗浄棟 排気室	排気ファン	変更なし	①	①②③ ⑤⑦	①④	①	①② ③	②③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①		
				①	①②③	①④	①	①② ③④	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	③		
	付属建物 シリンド 洗浄棟 排気室	給気逆流防止ダンプ (屋外との境界部) (シリンド洗浄棟)	新設	①	①②	-	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①	
				①	①②	-	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
	付属建物 シリンド 洗浄棟 排気室	給気逆流防止ダンプ (屋外との境界部) (第2廃棄物処理 所)	新設	①	①②	-	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
				①	①②	-	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
付属建物 シリンド 洗浄棟 排気室	排気逆流防止ダンプ (屋外との境界部) (シリンド洗浄棟)	新設	①	①②	-	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
			①	①②	-	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表 2-6-1-1 放射性廃棄物の廃棄施設（気体廃棄物の廃棄設備）の検査の項目（12/12）

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項											三号 ^{※2} QMS 注3				
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法										二号 ^{※1}					
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全		遮蔽	材料	仕様性能 ^{注2}		面速	作動 ^{注1}		仕様性能 ^{注2}
							単一	複数			保持	他							
放射性 廃棄物 の廃棄 施設	付属建物 シンダ 洗浄棟	給気ダクト・ダンパ	改造	①	①②③	①⑧	①	③	②	②	-	-	-	-	-	-	-	①	
		排気ダクト・ダンパ (部屋、設備～高性能 エアフィルタ)	改造	①	①②	①	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
	付属建物 第2廃棄 物処理所	排気ダクト・ダンパ (高性能エアフィル タ～排気塔)	改造	①	①②	①⑧	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
		給気ダクト・ダンパ	改造	①	①②	①	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
			排気ダクト・ダンパ (部屋、設備～高性能 エアフィルタ)	改造	①	①②	①	①	③	②	-	-	-	-	-	-	-	-	①
			給気ダクト・ダンパ	改造	①	①②③	①⑧	①	③	②	②	-	-	-	-	-	-	-	①

表 2-6-2 放射性廃棄物の廃棄施設 (液体廃棄物の廃棄設備) の検査の項目 (1/2)

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項													三号 ^{※2}			
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法																
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全		遮蔽	材料	仕様性能 ^{注2}	面速	二号 ^{※1}		仕様性能 ^{注2}	QMS ^{注3}	
保持	IL	他																		
放射性廃棄物の廃棄施設	工場棟 転換工場 廃棄物処理室	転換第1 廃液貯槽	改造	①②③ ⑦⑧	①⑤ ⑦	①	①② ③	①	①② ③	①	①	-	-	①	-	-	②	②	①	
		洗浄液受槽	改造	①②③ ⑦⑧⑨	①⑦	①	①② ③	①	①② ③	①	①	-	-	①	-	-	②	②	①	
		洗浄液バグフィルタ	変更なし	①②⑧	①	①② ③	①	①② ③	①	①	①	-	-	①	-	-	-	-	①	
		ろ液受槽	改造	①②③ ⑦⑧	①⑦	①	①② ③	①	①② ③	①	①	-	-	①	-	-	②	②	①	
		ろ液バグフィルタ	変更なし	①②⑧	①	①② ③	①	①② ③	①	①	①	-	-	①	-	-	-	-	①	
		地下集水槽	改造	①②③ ⑦⑧	①⑤ ⑦	①② ③	①	①② ③	①	①② ③	①	①	-	-	①	-	-	②	②	①
工場棟 転換工場 チェンク タンク室	工場棟 転換工場 チェンク タンク室	転換第2 廃液貯槽	改造	①②③ ⑦⑧	①⑦	①	①② ③	①	①② ③	①	①	-	-	①	-	-	②	②	①	
		混合槽	改造	①②③ ⑦⑧	①⑤ ⑦	①	①② ③	①	①② ③	①	①	-	-	①	-	-	②	②	①	
		集水槽(チェック)	改造	①②③ ⑦⑧	①⑦	①	①② ③	①	①② ③	①	①	-	-	①	-	-	-	-	①	
		廃液貯槽(サラン回収(第1系列)系統)	改造	①②③ ⑦⑧	①⑦	①	①② ③	①	①② ③	①	①	-	-	①	-	-	-	-	②	①
		イオン交換塔 (廃液処理設備(1))	撤去	⑩ ^{注2}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①

注1:「保持」は動力供給停止時の保持機能、「IL」はインターロック、「他」はその他を示す。

注2:「仕様性能」は仕様上求められる性能を示す

注3:「QMS」は品質マネジメントシステムに係る検査を示す。

※1:二号 機能及び性能を確認するために十分な方法

※2:三号 その他設置又は変更の工事がその設計及び工事の計画に従って行われたものであることを確認するために十分な方法

表 2-6-2 放射性廃棄物の廃棄施設 (液体廃棄物の廃棄設備) の検査の項目 (2/2)

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項																三号 ^{※2}	
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法										二号 ^{※1}					仕様性能 ^{注2}		QMS ^{注3}
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全		遮蔽	材料	仕様性能 ^{注2}	面速	保持	作動 ^{注1}	IL			
放射性廃棄物の廃棄施設	加工棟 成型工場 廃液処理室	貯留タンク	改造	①②③ ⑦⑧	①⑦	①②	①②③	①②③	①②③	①	①	-	①	-	-	-	-	-	-	①	
		貯留タンク(チェック)	改造	①②③ ⑦⑧	①⑦	①②	①②③	①②③	①②③	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	①	
		ろ過機	改造	①②③ ⑧	①	①②	①②③	①②③	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①	
		ろ液受槽	変更なし	①②③ ⑦⑧	①⑦	①②	①②③	①②③	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①	
		堰(貯留タンク、貯留タンク(チェック)、ろ過機)	改造	①②③ ⑦⑧	②⑦	①②	-	-	-	-	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
		堰(貯留タンク、貯留タンク(チェック)、ろ過機)	改造	①②③ ⑦	②⑦	①②	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①
		集水槽	改造	①②③ ⑦⑧	①⑦	①②	①②③	①②③	①	①	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	①

表 2-6-3 放射性廃棄物の廃棄施設（固体廃棄物の廃棄設備）の検査の項目（1/1）

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第一項													三号 ^{※2}	
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法										二号 ^{※1}				仕様性能 ^{注2}
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全		遮蔽	材料	仕様性能 ^{注2}	面速	作動 ^{注1}		
							単一	複数				保持	IL	他	QMS ^{注3}			
放射性廃棄物の廃棄施設	付属建物 第3廃棄物倉庫	クレーン（第3廃棄物倉庫）	変更なし	①	①②③	①	①	①②③	-	-	-	-	-	-	-	-	①	
	付属建物 第1廃棄物処理所	集塵機	改造	①	①②③⑥	①	①	①②③	①	①	①	-	-	-	-	-	①	
	廃棄物処理室	クレーン（廃棄物処理室）	改造	①	①②③	①	①	①②③	-	-	-	-	-	-	-	-	①	

注1：「保持」は動力供給停止時の保持機能、「IL」はインターロック、「他」はその他を示す。

注2：「仕様性能」は仕様上求められる性能を示す

注3：「QMS」は品質マネジメントシステムに係る検査を示す。

※1：二号 機能及び性能を確認するために十分な方法

※2：三号 その他設置又は変更の工事がその設計及び工事の計画に従って行われたものであることを確認するために十分な方法

表 2-7-1-1 その他の加工施設の検査の項目 (1/1)

施設名称	設置場所	機器名	変更内容	加工規則第三条の四の二 第1項																		
				一号 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法										二号 ※1			三号 ※2					
				員数	外観	寸法	配置	据付	系統	臨界安全		遮蔽	材料	仕様性能 注3	面速	保持	IL	他	仕様性能 注2	QMS 注3		
その他の加工施設	工場棟 転換工場 転換加工室	保安秤量器 (転換工場1) ~ (転換工場10)	変更なし	①	①③	-	-	-	-	-	-	①	単一	-	-	-	-	-	-	-	①	
	工場棟 成型工場 ペレット加工室	保安秤量器 (成型工場1) ~ (成型工場10)	変更なし	①	①③	-	-	-	-	-	-	①	単一	-	-	-	-	-	-	-	①	
	工場棟 転換工場 原料倉庫 付属建物 除染室・ 分析室 作業室(2)	保安秤量器 (ウラン管理1) ~ (ウラン管理4)	変更なし	①	①③	-	-	-	-	-	-	①	単一	-	-	-	-	-	-	-	-	①
	工場棟 成型工場 ペレット加工室																					

注1: 「保持」は動力供給停止時の保持機能、「IL」はインターロック、「他」はその他を示す。

注2: 「仕様性能」は仕様上求められる性能を示す

注3: 「QMS」は品質マネジメントシステムに係る検査を示す。

※1: 二号 機能及び性能を確認するために十分な方法

※2: 三号 その他設置又は変更の工事がその設計及び工事の計画に従って行われたものであることを確認するために十分な方法

表 2-8-1 新設、追加、改造、変更なしの設備・機器の検査の方法 (1/3)

検査の項目	検査の方法	判定基準
員数	① 員数を目視により確認する。	① 員数が申請内容の通りであること。
外観	① 設備・機器の外観を目視により確認する。 ② 設備・機器の設置状態を目視で確認する。 ③ 所定の安全機能部位が設置されていることを目視で確認する。 ④ ウランが存在する部位へ溢水が浸入しない構造であることを目視により確認する。 ⑤ 設備・機器の所定の位置に被水防護カバーを目視により確認する。 ⑥ 設備・機器の消火水侵入防止機構を目視により確認する。 ⑦ 警報設備の検出端またはILの検出端及び作動端が設置されていることを目視により確認する。 ⑧ 設備・機器に開口部がないことを目視により確認する。なお、液体を取り扱う機器については、通水試験を行い確認する。 ⑨ ウラン溶液液面に対するユーティリティ、排気配管の設置位置を目視により確認する。	① 有害な傷及び変形がないこと。また、外観が申請内容の通りであること。 ② 設備・機器が申請内容の通り床、または機器に取り付けられていること。 ③ 設備・機器が申請内容の通り取り付けられていること。 ④ 溢水、被水が浸入しない構造であること。 ⑤ 設備・機器の被水防護カバーが、申請内容の通り設置されていること。 ⑥ 設備・機器の消火水侵入機構が、申請内容の通り設置されていること。 ⑦ 申請書に記載の系統の通りに設置されていること。 ⑧ 申請内容の通りに開口部がない構造である（漏えいがない）こと。 ⑨ ユーティリティ、排気配管はウラン溶液と接触しない位置に設置されていること。
寸法*	① 外寸（幅、奥行き、高さ）、配管の支持間隔を測定により確認する。 ② 堰高さを測定により確認する。 ③ スペーサ寸法を測定により確認する。 ④ 設備・機器の高さを測定により確認する。 ⑤ オイルパンの寸法（幅、奥行き、高さ）、遮熱板（板厚）の寸法及び設置位置を測定により確認する。 ⑥ 設備・機器のウランの存在高さまたは、開口部の高さを測定により確認する。 ⑦ 液位計の取り付け位置を測定により確認する。 ⑧ ダクトの支持間隔を測定により確認する。	① 寸法が申請内容の通りであること。 ② 寸法が申請内容の通りであること。 ③ 寸法が申請内容の通りであること。 ④ 高性能エアフィルタ、幹線動力用ケーブルに接続する制御盤の高さが溢水高さ以上であること。 ⑤ 寸法、設置位置が申請内容のとおりであること。 ⑥ ウランの存在高さまたは開口部の高さが溢水高さ以上であること。 ⑦ 寸法が申請内容の通りであること。 ⑧ 適切な支持間隔であること。

* 品質記録による確認も含む

表 2-8-1 新設、追加、改造、変更なしの設備・機器の検査の方法 (2/3)

検査の項目		検査の方法	判定基準
配置		① 設備・機器の配置を目視により確認する。 ② 設備・機器(堰、防護カバー)の配置を目視により確認する。 ③ 焼結炉、ロータリーキルンの接地状態を目視により確認する。	① 配置が申請内容の通りであること。 ② 配置が申請内容の通りであること。 ③ 焼結炉、ロータリーキルンが申請内容の通り設置されていること。
据付		① 設備・機器を取り付けるボルトの員数を目視により確認する。 ② 設備・機器を取り付けるボルトの寸法を品質記録または測定機器により確認する。 ③ ボルトの据付け状態を目視により確認する。 ④ ボルト、金属カバーの据付け状態を目視により確認する。	① ボルトの員数が申請内容の通りであること。 ② ボルトの寸法が申請内容の通りであること。 ③ ボルトまたはナットが緩みなく締め付けられていること。 ④ ボルトまたはナットが緩みなく締め付けられていること。
系統		① 機器と機器(配管)、または機器と気体廃棄設備との接続を目視により確認する。 ② 気体廃棄設備の経路を目視により確認する。 ③ 設備・機器が非常用電源系統に接続していることを確認する。 ④ 内部の圧力を測定する。 ⑤ 機器と窒素ガス予備系統との接続を目視により確認する。	① 申請書内容の通りに接続していること。 ② 申請書内容の通りに接続していること。 ③ 非常用電源系統に接続していること。 ④ 設置雰囲気に対して9.8Pa以上の負圧であること。 ⑤ 申請書内容の通りに接続していること。
臨界安全	単一ユニット	① ユニット寸法を測定器により確認する。	① ユニットに適用されている寸法制限値を満足すること。
	複数ユニット	① 各ユニットをそれぞれ中心ユニットとして計算した総立体角が許容立体角以下であることを確認する。 ② 単一ユニット間の表面間距離が30.5cm以上であることを確認する。	① 計算した総立体角が許容立体角を満足すること。 ② 単一ユニット間の表面間距離が I-3-3 ユニット寸法図の通り30.5cm以上であること。
材料		① 使用材料を品質記録により確認する。	① 材料が申請内容のとおりであること。
面速		① フードボックスを有する機器については、開口部での面速を風速計により測定する。	① 面速が0.5m/sec以上であること。

表 2-8-1 新設、追加、改造、変更なしの設備・機器の検査の方法 (3/3)

検査の項目	検査の方法	判定基準
作動 (保持)	① 定格荷重 (模擬荷重) を作用させ目視により動作を確認する。	① 申請内容通りの搬送能力を有し、それが駆動電源断の状態でも維持すること。
作動 (IL)	① 設定値を実信号もしくは模擬信号で入力し確認する。 ② 設定値を実信号もしくは模擬信号で入力し確認する。 ③ 設定値を実信号もしくは模擬信号で入力し確認する。 ④ 設定値を実信号もしくは模擬信号で入力し確認する。 ⑤ 設定値を実信号もしくは模擬信号で入力し確認する。 ⑥ 設定値を実信号もしくは模擬信号で入力し確認する。 ⑦ 設定値を実信号もしくは模擬信号で入力し確認する。 ⑧ 設定値を実信号もしくは模擬信号で入力し確認する。 ⑨ 設定値を実信号もしくは模擬信号で入力し確認する。 ⑩ 設定値を実信号もしくは模擬信号で入力し確認する。 ⑪ 設定値を実信号もしくは模擬信号で入力し確認する。 ⑫ 設定値を実信号もしくは模擬信号で入力し確認する。 ⑬ 設定値を実信号もしくは模擬信号で入力し確認する。 ⑭ 設定値を実信号もしくは模擬信号で入力し確認する。	① インターロック設定値信号を与えた際、加熱が停止すること。 ② インターロック設定液位信号を与えた際、給液が停止すること。 ③ インターロック設定値信号を与えた際、扉開・フィーダ運転操作をしても、扉開・フィーダ運転とならないこと。 ④ インターロック設定 pH 信号を与えた際、ポンプが停止すること。 ⑤ インターロック設定回転数信号を与えた際、ポンプが停止すること。 ⑥ インターロック設定値信号を与えた際、扉が開錠できないこと。 ⑦ インターロック設定値信号を与えた際、ペレット明替機に焼結ポートが挿入できないこと。 ⑧ インターロック設定値信号を与えた際、ポンプが停止すること。 ⑨ インターロック設定値信号を与えた際、水素遮断弁が開すること。 ⑩ インターロック設定値信号を与えた際、水素供給弁が開、窒素供給弁が開となること。 ⑪ インターロック設定値信号を与えた際、屋外窒素供給弁が開となること。 ⑫ インターロック設定値信号を与えた際、スクリーフィーダ及び充填装置が停止すること。 ⑬ インターロック設定値信号を与えた際、給気ファンが停止すること。 ⑭ インターロック設定値信号を与えた際、助燃用プロパンガスの供給が停止すること。
作動 (他)	① 電源断により動作を確認する。 ② 設定値を実信号または模擬信号で入力し確認する。 ③ 設備・機器の消火水侵入防止機構の動作を確認する。	① 動作が申請の内容の通りであること。 ② 警報設定値信号を与えた際、警報が吹鳴すること。 ③ 設備・機器の消火水侵入機構が閉止すること。
仕様上 求められる性能	① 第1種管理区域の圧力を測定する。 ② 廃棄能力を品質記録により確認する。 ③ 高性能フィルターの捕集効率を品質記録により確認する。	① 負圧であること。 ② 廃棄能力が申請内容のとおりであること。 ③ 要求された捕集効率以上であること。

表 2-8-2 撤去する設備・機器の検査の方法

検査の項目	検査の方法	判定基準
外観	<p>⑩ 設備・機器(配管・排気系統を含む)が撤去され、配管が接続されていること、排気の閉止措置が行われていることを目視により確認する。</p> <p>また、撤去後の地面が整地され、床表面が樹脂系塗料で塗装されていることを目視により確認する。</p>	<p>⑩ 撤去設備・機器(配管・排気系統を含む)について、当該機器が撤去され、閉止措置、配管接続がされていること。</p> <p>撤去後の床表面が樹脂系塗料で塗装されていること。</p>

I-3 添付図面

I-3-1 添付図面 (建物)

イ 化学処理施設

図イ建-1-1	敷地内建物配置図	
図イ建-1-2(1/3)	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	補強箇所説明図 (1階)
図イ建-1-2(2/3)	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	補強箇所説明図 (2階)
図イ建-1-2(3/3)	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	補強箇所説明図 (R階)
図イ建-1-3(1/2)	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	建物の補強工事と 各影響評価の関係(1)
図イ建-1-3(2/2)	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	建物の補強工事と 各影響評価の関係(2)
図イ建-1-4	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	管理区域区分図
図イ建-1-5	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	エキスパンションジョ イント設置位置
図イ建-1-6	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	鉄扉、シャッタ配置 及び竜巻防護ライン
図イ建-1-7	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	建具表
図イ建-1-7-1	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	新設鉄扉、シャッタ 及び鉄扉補強、ガラリ固縛概要図
図イ建-1-8	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	火災区域図
図イ建-1-9(1/2)	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	火災区域毎の材料 及び厚さ一覧(1)
図イ建-1-9(2/2)	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	火災区域毎の材料 及び厚さ一覧(2)
図イ建-1-10 (1/10)	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	外部火災、爆発の 影響評価(1)
図イ建-1-10 (2/10)	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	外部火災、爆発の 影響評価(2)
図イ建-1-10 (3/10)	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	外部火災、爆発の 影響評価(3)
図イ建-1-10 (4/10)	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	外部火災、爆発の 影響評価(4)
図イ建-1-10 (5/10)	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	外部火災、爆発の 影響評価(5)
図イ建-1-10 (6/10)	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	外部火災、爆発の 影響評価(6)

図イ建-1-10 (7/10)	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 外部火災、爆発の影響評価(7)
図イ建-1-10 (8/10)	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 外部火災、爆発の影響評価(8)
図イ建-1-10 (9/10)	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 外部火災、爆発の影響評価(9)
図イ建-1-10 (10/10)	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 外部火災、爆発の影響評価(10)
図イ建-2-1	付属建物 シリンダ洗浄棟 地下1階 平面図
図イ建-2-2	付属建物 シリンダ洗浄棟 1階 平面図
図イ建-2-3	付属建物 シリンダ洗浄棟 2階 平面図
図イ建-2-4	付属建物 シリンダ洗浄棟 屋根伏図
図イ建-2-5	付属建物 シリンダ洗浄棟 立面図
図イ建-2-6	付属建物 シリンダ洗浄棟 断面図
図イ建-2-7	付属建物 シリンダ洗浄棟 地下1階 床梁伏図
図イ建-2-8	付属建物 シリンダ洗浄棟 1階 基礎伏図
図イ建-2-9	付属建物 シリンダ洗浄棟 2階 床梁伏図
図イ建-2-10	付属建物 シリンダ洗浄棟 R階 床梁伏図
図イ建-2-11	付属建物 シリンダ洗浄棟 1通りサイディング軸組図
図イ建-2-12	付属建物 シリンダ洗浄棟 I,J通りサイディング軸組図
図イ建-3-1	工場棟、放射線管理棟、付属建物 補強箇所説明図(1階)
図イ建-3-2	工場棟、放射線管理棟、付属建物 鉄扉、シャッタ配置及び竜巻防護ライン(1階)
図イ建-3-3	工場棟、放射線管理棟、付属建物 建具表
図イ建-3-4	工場棟、付属建物 鉄扉概要図
図イ建-3-5	工場棟、放射線管理棟、付属建物 管理区域区分図(1階)
図イ建-3-6	工場棟、放射線管理棟、付属建物 火災区域(1階)
図イ建-3-7	工場棟、放射線管理棟、付属建物 外部火災・爆発の影響評価(1)
図イ建-3-8	工場棟、放射線管理棟、付属建物 外部火災・爆発の影響評価(2)
図イ建-3-9	工場棟、放射線管理棟、付属建物 航空機落下に伴う火災影響評価
図イ遮-1	付属建物 シリンダ洗浄棟 遮蔽関係図 (1階平面)
図イ遮-2	付属建物 シリンダ洗浄棟 遮蔽関係図 (2階平面)
図イ遮-3	付属建物 シリンダ洗浄棟 遮蔽関係図 (建物断面)
図イ配準-1	工場棟 転換工場他 設備・機器準備工事範囲図
図イ配準-2	付属建物 シリンダ洗浄棟 設備・機器準備工事範囲図

ハ 成形施設

図ハ配準-1(1/2)	加工棟 成型工場 設備・機器準備工事範囲図 (1階)
図ハ配準-1(2/2)	加工棟 成型工場 設備・機器準備工事範囲図 (2階)

へ 貯蔵施設

図へ建-1-1	付属建物	原料貯蔵所	補強箇所説明図
図へ建-1-2	付属建物	原料貯蔵所	建物の補強工事と各影響評価との関係
図へ建-1-3	付属建物	原料貯蔵所	管理区域区分図
図へ建-1-4	付属建物	原料貯蔵所	鉄扉配置、建具表、補強概要及び竜巻防護ライン
図へ建-1-5	付属建物	原料貯蔵所	火災区域図
図へ建-1-5-1	付属建物	原料貯蔵所	火災区域毎の材料及び厚さ一覧
図へ建-1-5-2	付属建物	原料貯蔵所	外部火災、爆発の影響評価(1)
(1/9)			
図へ建-1-5-2	付属建物	原料貯蔵所	外部火災、爆発の影響評価(2)
(2/9)			
図へ建-1-5-2	付属建物	原料貯蔵所	外部火災、爆発の影響評価(3)
(3/9)			
図へ建-1-5-2	付属建物	原料貯蔵所	外部火災、爆発の影響評価(4)
(4/9)			
図へ建-1-5-2	付属建物	原料貯蔵所	外部火災、爆発の影響評価(5)
(5/9)			
図へ建-1-5-2	付属建物	原料貯蔵所	外部火災、爆発の影響評価(6)
(6/9)			
図へ建-1-5-2	付属建物	原料貯蔵所	外部火災、爆発の影響評価(7)
(7/9)			
図へ建-1-5-2	付属建物	原料貯蔵所	外部火災、爆発の影響評価(8)
(8/9)			
図へ建-1-5-2	付属建物	原料貯蔵所	外部火災、爆発の影響評価(9)
(9/9)			
図へ建-1-6	付属建物	原料貯蔵所	平面図
図へ建-1-7	付属建物	原料貯蔵所	屋根伏図
図へ建-1-8	付属建物	原料貯蔵所	立面図
図へ建-1-9	付属建物	原料貯蔵所	断面図
図へ建-1-10	付属建物	原料貯蔵所	基礎伏図
図へ建-1-11	付属建物	原料貯蔵所	クレーン梁伏図
図へ建-1-12	付属建物	原料貯蔵所	R階 梁伏図
図へ建-1-13	付属建物	原料貯蔵所	1, 10 通り 軸組図
図へ建-1-14	付属建物	原料貯蔵所	補強詳細図
図へ建-1-15	付属建物	原料貯蔵所	シリンダ貯蔵ピット詳細図
図へ建-2	付属建物	容器管理棟	独立遮蔽壁(5) 基礎伏図及び断面図
図へ遮-1	付属建物	原料貯蔵所	遮蔽関係図(建物平面)
図へ建-2	付属建物	原料貯蔵所	遮蔽関係図(建物断面)
図へ配準-1(1/2)	付属建物	第3核燃料倉庫	設備・機器準備工事範囲図(1階)
図へ配準-1(2/2)	付属建物	第3核燃料倉庫	設備・機器準備工事範囲図(2階)

- 図へ配準-2 付属建物 原料貯蔵所 設備・機器準備工事範囲図
 図へ配準-3 付属建物 劣化・天然ウラン倉庫 設備・機器準備工事範囲図

ト 放射性廃棄物の廃棄施設

- 図ト建-1-1 付属建物 第1 廃棄物処理所 1階 平面図
 図ト建-1-2 付属建物 第1 廃棄物処理所 2階 平面図
 図ト建-1-3 付属建物 第1 廃棄物処理所 屋根伏図
 図ト建-1-4 付属建物 第1 廃棄物処理所 立面図
 図ト建-1-5 付属建物 第1 廃棄物処理所 断面図
 図ト建-1-6 付属建物 第1 廃棄物処理所 杭及び基礎及び1階伏図
 図ト建-1-7 付属建物 第1 廃棄物処理所 2階 床梁伏図
 図ト建-1-8 付属建物 第1 廃棄物処理所 R階 伏図
 図ト建-1-9 付属建物 第1 廃棄物処理所 A, B 通り 軸組図
 図ト建-1-10 付属建物 第1 廃棄物処理所 C 通り 軸組図
 図ト建-1-11 付属建物 第1 廃棄物処理所 2, 5 通り 軸組図
 図ト建-1-12 付属建物 第1 廃棄物処理所 8, 9 通り 軸組図
 図ト建-1-13 付属建物 第1 廃棄物処理所 A, C 通り 外壁サイディング補強受材 軸組図
 図ト建-1-14 付属建物 第1 廃棄物処理所 2, 9 通り 外壁サイディング補強受材 軸組図
 図ト建-1-15 付属建物 第1 廃棄物処理所 外壁サイディング補強及び屋根面ブレース補強概略図
 図ト建-1-16 付属建物 第1 廃棄物処理所 鉄骨ブレース補強、柱梁仕口部補強、柱脚部溶接補強概略図
 図ト建-2-1 付属建物 第1 廃棄物処理所前室 平面図
 図ト建-2-2 付属建物 第1 廃棄物処理所前室 屋根伏図
 図ト建-2-3 付属建物 第1 廃棄物処理所前室 立面図
 図ト建-2-4 付属建物 第1 廃棄物処理所前室 断面図
 図ト建-2-5 付属建物 第1 廃棄物処理所前室 伏図
 図ト建-2-6 付属建物 第1 廃棄物処理所前室 Y1, Y2 通り 軸組図
 図ト建-2-7 付属建物 第1 廃棄物処理所前室 X1, X2 通り 軸組図
 図ト建-3-1 付属建物 第2 廃棄物処理所 1階 平面図
 図ト建-3-2 付属建物 第2 廃棄物処理所 2階 平面図
 図ト建-3-3 付属建物 第2 廃棄物処理所 屋根伏図
 図ト建-3-4 付属建物 第2 廃棄物処理所 立面図
 図ト建-3-5 付属建物 第2 廃棄物処理所 断面図
 図ト建-3-6 付属建物 第2 廃棄物処理所 杭及び基礎及び1階伏図
 図ト建-3-7 付属建物 第2 廃棄物処理所 2階 床梁伏図
 図ト建-3-8 付属建物 第2 廃棄物処理所 小屋伏図
 図ト建-3-9 付属建物 第2 廃棄物処理所 2通り 軸組図
 図ト建-3-10 付属建物 第2 廃棄物処理所 4通り 軸組図
 図ト建-3-11 付属建物 第2 廃棄物処理所 7通り 軸組図

図ト建-3-12	付属建物 第2 廃棄物処理所 8 通り 軸組図
図ト建-3-13	付属建物 第2 廃棄物処理所 D 通り 軸組図
図ト建-3-14	付属建物 第2 廃棄物処理所 E 通り 軸組図
図ト建-3-15	付属建物 第2 廃棄物処理所 F, Fa, Ca 通り 軸組図
図ト建-3-16	付属建物 第2 廃棄物処理所 2 通り 外壁サイディング補強受材 軸組図
図ト建-3-17	付属建物 第2 廃棄物処理所 8 通り 外壁サイディング補強受材 軸組図
図ト建-3-18	付属建物 第2 廃棄物処理所 D 通り 外壁サイディング補強受材 軸組図
図ト建-3-19	付属建物 第2 廃棄物処理所 F 通り 外壁サイディング補強受材 軸組図
図ト建-3-20	付属建物 第2 廃棄物処理所 7a, 7b 通り 外壁サイディング補強受材 軸組図
図ト建-3-21	付属建物 第2 廃棄物処理所 外壁サイディング補強及び増打ち基礎概略図
図ト建-4-1(1/2)	付属建物 第3 廃棄物倉庫 補強箇所説明図(1 階)
図ト建-4-1(2/2)	付属建物 第3 廃棄物倉庫 補強箇所説明図(R 階)
図ト建-4-2	付属建物 第3 廃棄物倉庫 建物の補強工事と各影響評価との関係
図ト建-4-3	付属建物 第3 廃棄物倉庫 管理区域区分図
図ト建-4-4	付属建物 第3 廃棄物倉庫 鉄扉、シャッタ配置、建具表及び補強概要図
図ト建-4-5	付属建物 第3 廃棄物倉庫 火災区域図
図ト建-4-5-1	付属建物 第3 廃棄物倉庫 火災区域毎の材料及び厚さ一覧
図ト建-4-5-2	付属建物 第3 廃棄物倉庫 外部火災、爆発の影響評価(1)
(1/6)	
図ト建-4-5-2	付属建物 第3 廃棄物倉庫 外部火災、爆発の影響評価(2)
(2/6)	
図ト建-4-5-2	付属建物 第3 廃棄物倉庫 外部火災、爆発の影響評価(3)
(3/6)	
図ト建-4-5-2	付属建物 第3 廃棄物倉庫 外部火災、爆発の影響評価(4)
(4/6)	
図ト建-4-5-2	付属建物 第3 廃棄物倉庫 外部火災、爆発の影響評価(5)
(5/6)	
図ト建-4-5-2	付属建物 第3 廃棄物倉庫 外部火災、爆発の影響評価(6)
(6/6)	
図ト建-4-6	付属建物 第3 廃棄物倉庫 平面図
図ト建-4-7	付属建物 第3 廃棄物倉庫 屋根伏図
図ト建-4-8	付属建物 第3 廃棄物倉庫 立面図
図ト建-4-9	付属建物 第3 廃棄物倉庫 断面図
図ト建-4-10	付属建物 第3 廃棄物倉庫 杭及び基礎伏図
図ト建-4-11	付属建物 第3 廃棄物倉庫 1 階 梁伏図(1FL+2500)
図ト建-4-12	付属建物 第3 廃棄物倉庫 1 階 梁伏図(1FL+4700)
図ト建-4-13	付属建物 第3 廃棄物倉庫 R 階 梁伏図
図ト建-4-14	付属建物 第3 廃棄物倉庫 A 通り 軸組図
図ト建-4-15	付属建物 第3 廃棄物倉庫 B 通り 軸組図
図ト建-4-16	付属建物 第3 廃棄物倉庫 1 通り 軸組図

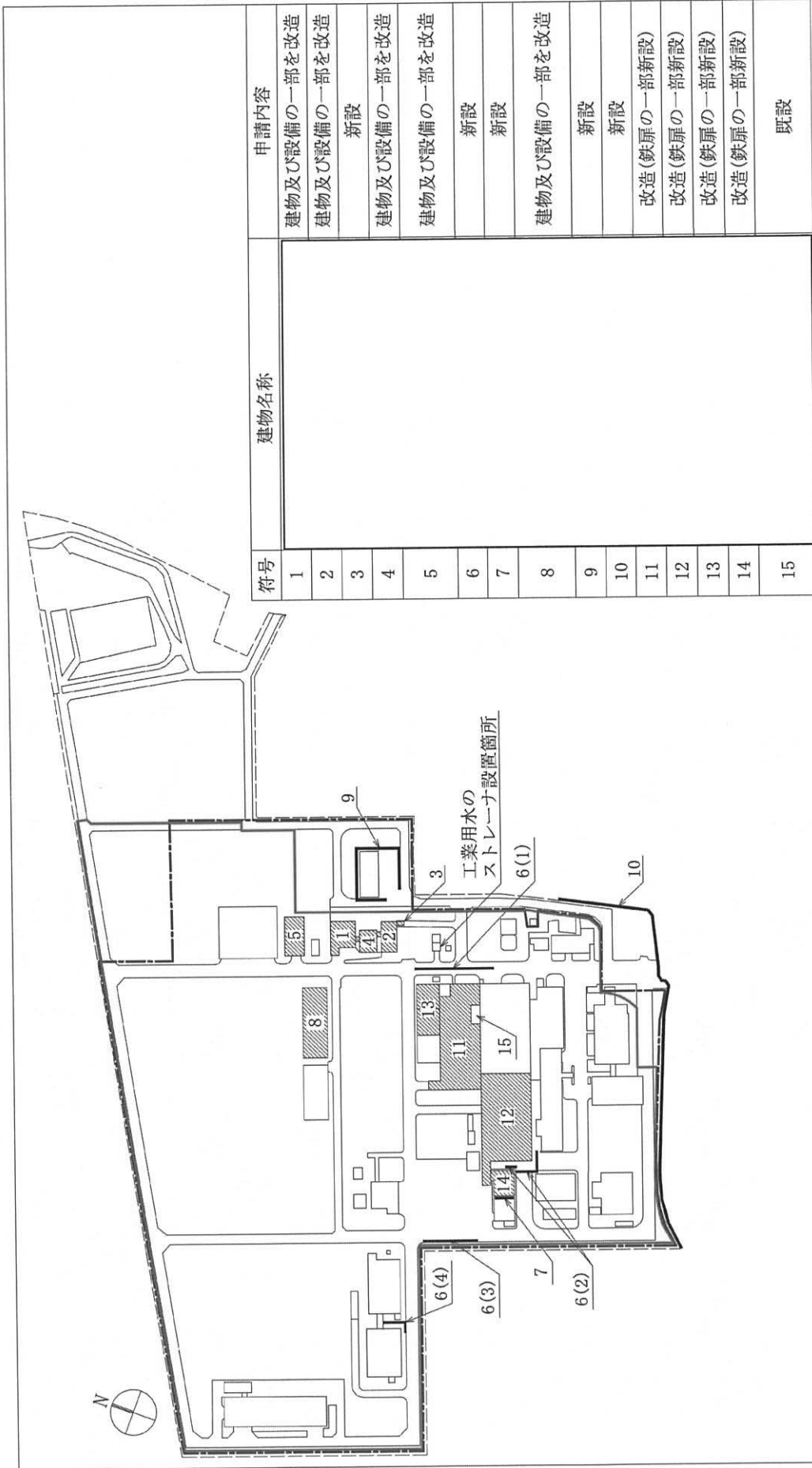
図ト建-4-17	付属建物 第3 廃棄物倉庫 7 通り 軸組図
図ト建-5-1	工場棟 転換工場 チェックタンク室 地下集水槽 地下ピット 詳細図
図ト遮-1	付属建物 第1 廃棄物処理所 遮蔽関係図 (建物平面)
図ト遮-2	付属建物 第2 廃棄物処理所 遮蔽関係図 (建物平面)
図ト遮-3	付属建物 第3 廃棄物倉庫 遮蔽関係図 (建物平面)
図ト配準-1	放射線管理棟 設備・機器準備工事範囲図

リ その他の加工施設





図リ建-1-1	付属施設 独立遮蔽壁(1) 基礎伏図
図リ建-1-2	付属施設 独立遮蔽壁(1) 断面図
図リ建-1-3	付属施設 独立遮蔽壁(1) 基礎詳細図
図リ建-2	付属施設 独立遮蔽壁(2) 基礎伏図及び断面図
図リ建-3	付属施設 独立遮蔽壁(3) 基礎伏図及び断面図
図リ建-4	付属施設 独立遮蔽壁(4) 基礎伏図及び断面図
図リ建-5-1	付属設備 水素供給設備 障壁 基礎伏図
図リ建-5-2	付属設備 水素供給設備 障壁 X1, X2 通り 軸組図
図リ建-5-3	付属設備 水素供給設備 障壁 Y1, Y2 通り 軸組図
図リ建-5-4	付属設備 水素供給設備 障壁 基礎詳細図
図リ建-5-5	付属設備 水素供給設備 障壁 基礎梁、控壁、杭リスト
図リ建-5-6	付属設備 水素供給設備 障壁 断面図
図リ建-6-1	付属施設 防護フェンス 配置図
図リ建-6-2	付属施設 防護フェンス 構造図(標準部)
図リ建-6-3	付属施設 防護フェンス 構造図(コーナー部)
図リ建-6-4	付属施設 防護フェンス 構造図(端部)
図リ建-6-5	付属施設 防護フェンス 構造図(門扉部 1)
図リ建-6-6	付属施設 防護フェンス 構造図(門扉部 2)
図リ非-1-1	緊急対策設備(1) 非常用照明、誘導灯、安全避難通路(シリンダ洗浄棟 地下 1F)
図リ非-1-2	緊急対策設備(1) 非常用照明、誘導灯、安全避難通路(シリンダ洗浄棟 1F)
図リ非-1-3	緊急対策設備(1) 非常用照明、誘導灯、安全避難通路(シリンダ洗浄棟 2F)
図リ非-1-4	緊急対策設備(1) 非常用照明、誘導灯、安全避難通路(第1 廃棄物処理所 1F)
図リ非-1-5	緊急対策設備(1) 非常用照明、誘導灯、安全避難通路(第1 廃棄物処理所 2F)
図リ非-1-6	緊急対策設備(1) 非常用照明、誘導灯、安全避難通路(第2 廃棄物処理所 1F)
図リ非-1-7	緊急対策設備(1) 非常用照明、誘導灯、安全避難通路(第2 廃棄物処理所 2F)
図リ非-1-8	緊急対策設備(1) 非常用照明、誘導灯、安全避難通路(第3 廃棄物倉庫)
図リ非-1-9	緊急対策設備(1) 非常用照明、誘導灯、安全避難通路(原料貯蔵所)
図リ非-2-1	非常用通報設備 非常ベル設備、放送設備、通信連絡設備(電話設備) (シリンダ洗浄棟 地下 1F)
図リ非-2-2	非常用通報設備 非常ベル設備、放送設備、通信連絡設備(電話設備) (シリンダ洗浄棟 1F)

図リ非-2-3	非常用通報設備 非常ベル設備、放送設備、通信連絡設備(電話設備) (シリンダ洗浄棟 2F)
図リ非-2-4	非常用通報設備 非常ベル設備、放送設備、通信連絡設備(電話設備) (第1廃棄物処理所 1F)
図リ非-2-5	非常用通報設備 非常ベル設備、放送設備、通信連絡設備(電話設備) (第2廃棄物処理所 1F)
図リ非-2-6	非常用通報設備 非常ベル設備、放送設備、通信連絡設備(電話設備) (第2廃棄物処理所 2F)
図リ非-2-7	非常用通報設備 非常ベル設備、放送設備、通信連絡設備(電話設備) (第3廃棄物倉庫)
図リ非-2-8	非常用通報設備 非常ベル設備、放送設備、通信連絡設備(電話設備) (原料貯蔵所)
図リ非-3-1	自動火災報知設備 火災感知設備及びそれに連動する警報設備 (シリンダ洗浄棟 地下1F)
図リ非-3-2	自動火災報知設備 火災感知設備及びそれに連動する警報設備 (シリンダ洗浄棟 1F)
図リ非-3-3	自動火災報知設備 火災感知設備及びそれに連動する警報設備 (シリンダ洗浄棟 2F)
図リ非-3-4	自動火災報知設備 火災感知設備及びそれに連動する警報設備 (第1廃棄物処理所 1F)
図リ非-3-5	自動火災報知設備 火災感知設備及びそれに連動する警報設備 (第1廃棄物処理所 2F)
図リ非-3-6	自動火災報知設備 火災感知設備及びそれに連動する警報設備 (第2廃棄物処理所 1F)
図リ非-3-7	自動火災報知設備 火災感知設備及びそれに連動する警報設備 (第2廃棄物処理所 2F)
図リ非-3-8	自動火災報知設備 火災感知設備及びそれに連動する警報設備(第3廃棄物倉庫)
図リ非-3-9	自動火災報知設備 火災感知設備及びそれに連動する警報設備(原料貯蔵所)
図リ非-4-1	消火設備 屋外消火栓配置図
図リ非-4-2	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 消火栓からのアクセスルート
図リ非-4-3	第3廃棄倉庫 消火栓からのアクセスルート
図リ非-4-4	原料貯蔵所 消火栓からのアクセスルート
図リ非-4-5	消火設備 消火器(シリンダ洗浄棟 地下1F)
図リ非-4-6	消火設備 消火器(シリンダ洗浄棟 1F)
図リ非-4-7	消火設備 消火器(シリンダ洗浄棟 2F)
図リ非-4-8	消火設備 消火器(第1廃棄物処理所 1F)
図リ非-4-9	消火設備 消火器(第1廃棄物処理所 2F)
図リ非-4-10	消火設備 消火器(第2廃棄物処理所 1F)

図リ非-4-11	消火設備 消火器(第2 廃棄物処理所 2F)
図リ非-4-12	消火設備 消火器(第3 廃棄物倉庫)
図リ非-4-13	消火設備 消火器(原料貯蔵所)
図リ非-5-1	緊急対策設備(2) 飛散防止用防護ネット(第1 廃棄物処理所)
図リ非-5-2	緊急対策設備(2) 飛散防止用防護ネット(第2 廃棄物処理所)
図リ非-5-3	緊急対策設備(2) 飛散防止用防護ネット取付概略図(第1 廃棄物処理所)
図リ非-5-4	緊急対策設備(2) 飛散防止用防護ネット取付概略図(第2 廃棄物処理所)
図リ非-6-1	緊急対策設備(3) 溢水防護区画
図リ非-6-2	緊急対策設備(3) 堰(内部溢水止水用)(付属建物 シリンダ洗浄棟 1階)
図リ非-6-3	緊急対策設備(3) 堰(内部溢水止水用)(付属建物 第1 廃棄物処理所 1階)
図リ非-6-4	緊急対策設備(3) 堰(内部溢水止水用)(付属建物 第2 廃棄物処理所 1階)
図リ非-6-5	緊急対策設備(3) 堰(一部脱着式)脱着部詳細図
図リ配準-1	屋外 設備・機器準備工事範囲図



凡例

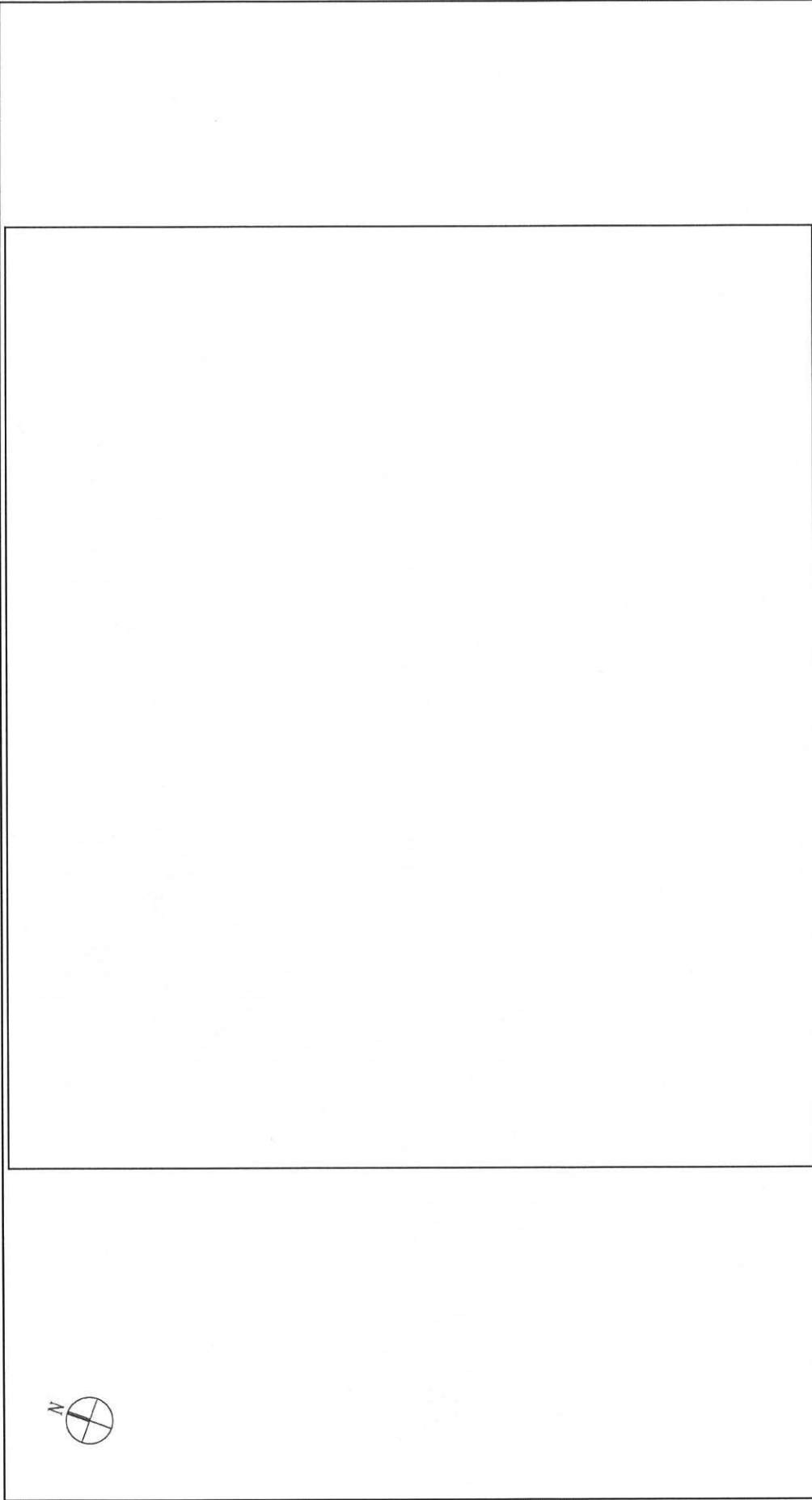
-  : 申請する建物
-  : 敷地境界
-  : 周辺監視区域境界
-  : 立入制限区域

符号	建物名称	申請内容
1		建物及び設備の一部を改造
2		建物及び設備の一部を改造
3		新設
4		建物及び設備の一部を改造
5		建物及び設備の一部を改造
6		新設
7		新設
8		建物及び設備の一部を改造
9		新設
10		新設
11		改造(鉄扉の一部新設)
12		改造(鉄扉の一部新設)
13		改造(鉄扉の一部新設)
14		改造(鉄扉の一部新設)
15		既設

名称 敷地内建物配置図


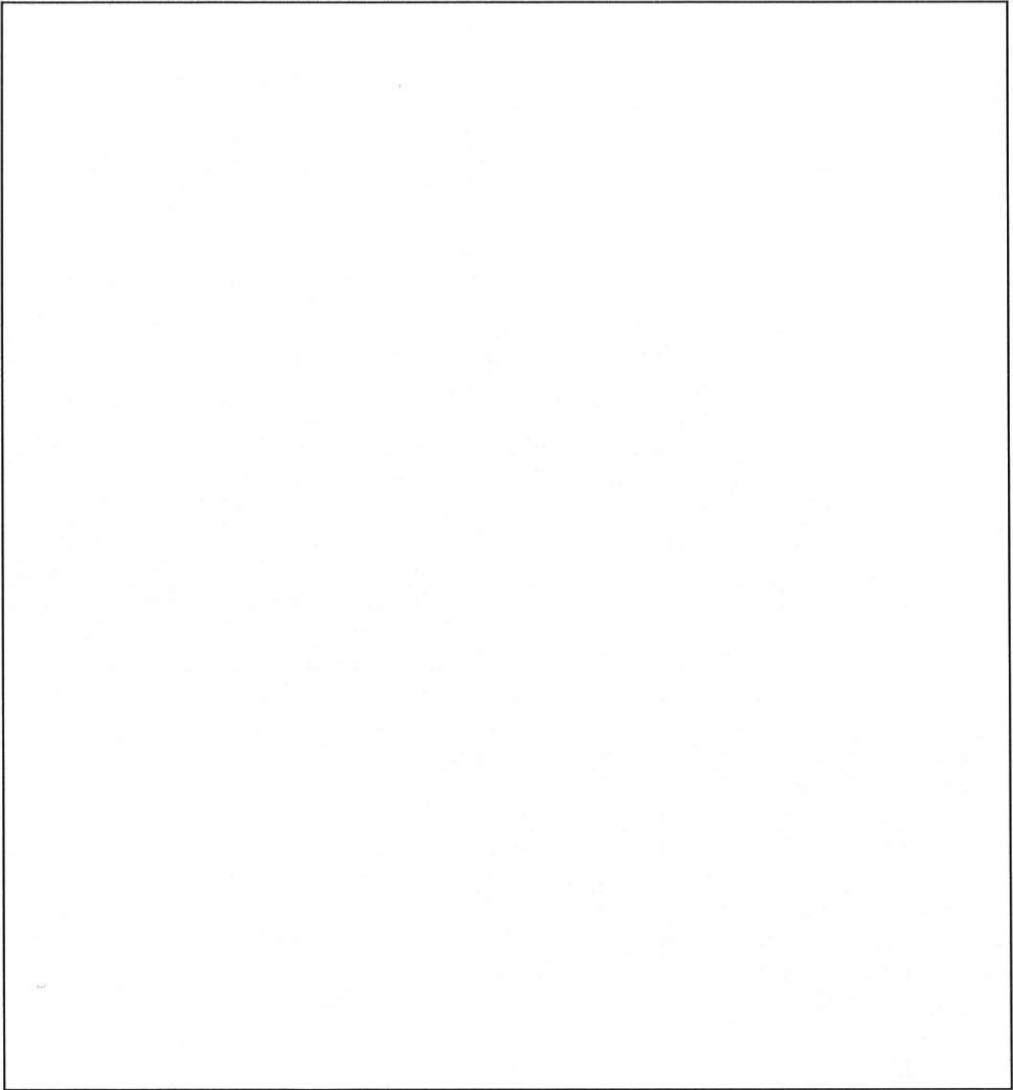
図番 図イ建-1-1

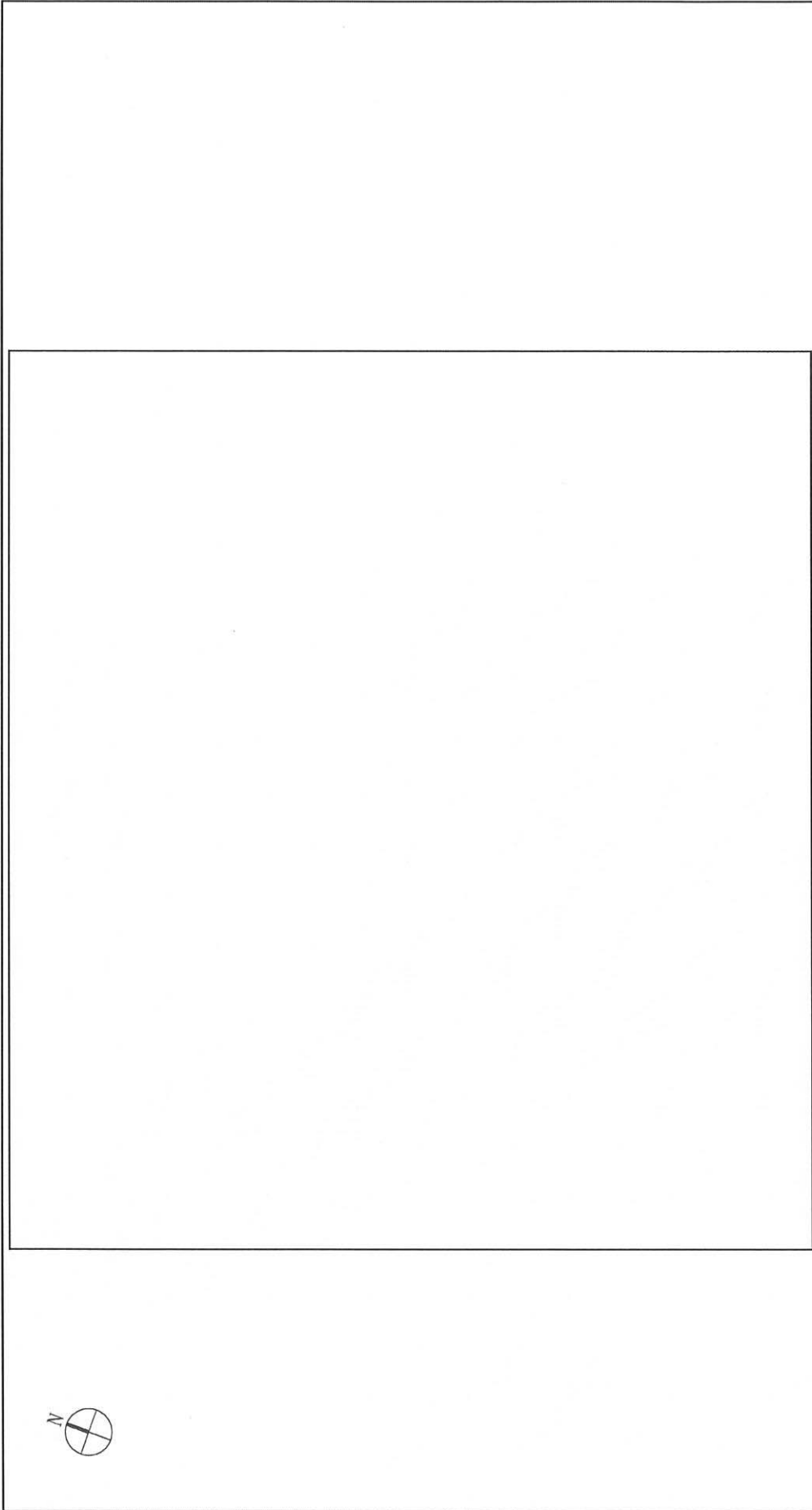
—



シリندانダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 補強箇所説明図(1階)		名称	シリندانダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所
		図番	図イ建-1-2(1/3) —

注1) 図中の番号は工事番号を示す
 注2) 耐震のための工事を赤字赤囲いで示す
 注3) 竜巻対策のための工事を青字青囲いで示す
 注4) 火災対策のための工事を黒字黒囲いで示す
 注5) 耐震のための工事で、竜巻対策にも効果があるものを赤字青囲いで示す
 注6) 竜巻対策のための工事で、耐震にも効果があるものを青字赤囲いで示す

		シリダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 補強箇所説明図(2階)	図イ建一1-2(2/3)
		注1) 図中の番号は工事番号を示す 注2) 耐震のための工事を赤字赤囲いで示す 注3) 竜巻対策のための工事を青字青囲いで示す 注4) 火災対策のための工事を黒字黒囲いで示す 注5) 耐震のための工事で、竜巻対策にも効果があるものを赤字青囲いで示す 注6) 竜巻対策のための工事で、耐震にも効果があるものを青字赤囲いで示す	-



名 称	シリンドラ洗淨棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 補強箇所説明図 (R階)	
図 番	図イ建一1-2(3/3)	-

注1) 図中の番号は工事番号を示す
 注2) 耐震のための工事を赤字赤囲いで示す
 注3) 竜巻対策のための工事を青字青囲いで示す
 注4) 火災対策のための工事を黒字黒囲いで示す
 注5) 耐震のための工事で、竜巻対策にも効果があるものを赤字青囲いで示す
 注6) 竜巻対策のための工事で、耐震にも効果があるものを青字赤囲いで示す

建物名称	工事番号及び工事名称	工事の方法	工事の主目的・影響評価				
			耐震	耐竜巻	火災	航空機落下火災	避難
シリンドラ洗浄棟	1-a. 外壁更新	耐震性能向上を目的に、付属建物シリンドラ洗浄棟前室の外壁を撤去し、新たにサイディングに見積する。	—	◎	○ (内部)	—	—
	1-b. 鉄扉新設	耐震性能向上を目的に、付属建物シリンドラ洗浄棟本体の既存シャッタを撤去し、鉄扉(SD-39)を新設する。	—	◎	○ (内部)	—	—
	1-c. 鉄扉及びシャッタ補強	耐震性能向上を目的に、付属建物シリンドラ洗浄棟本体及び前室の既存鉄扉(前室: SD-81、本体: SD-10、SD-9)及び本体2階: SD-147)及び既存シャッタ(前室: SS-80)を鉄扉補強材及びシャッタ補強材により補強する。	—	◎	○ (内部)	—	—
	6-a. 柱脚補強	耐震性能向上を目的に、付属建物第1廃棄物処理所の柱脚部を鉄筋コンクリート及び鋼板(ベースプレート)で根巻き補強する。	◎	—	—	—	—
	6-b. 鉄骨ブレース新設	耐震性能向上を目的に、付属建物第1廃棄物処理所の鉄骨の柱と梁の接合部に鉄骨ブレース(筋交い)を新設する。	◎	—	—	—	—
	6-c. 鉄骨ブレース交換補強	耐震性能向上を目的に、付属建物第1廃棄物処理所の既存鉄骨ブレース(筋交い)を撤去し、新たな鉄骨ブレースの交換により補強する。	◎	—	—	—	—
	6-d. 鉄骨梁交換補強	耐震性能向上を目的に、付属建物第1廃棄物処理所の鉄骨梁を撤去し、新たな鉄骨梁の交換により補強する。	◎	—	—	—	—
	6-e. 屋根面ブレース追設	耐震性能向上を目的に、付属建物第1廃棄物処理所の屋根部に新たな鉄骨の水平ブレース(筋交い)を追設する。	◎	—	—	—	—
	6-f. 柱補強	耐震性能向上を目的に、付属建物第1廃棄物処理所の既存鉄骨柱を鋼材により補強する。	◎	—	—	—	—
	6-g. 柱梁仕口部補強	耐震性能向上を目的に、付属建物第1廃棄物処理所の大梁仕口部及び継手部を溶接により補強する。	◎	—	—	—	—
	6-h. 柱脚部溶接補強	耐震性能向上を目的に、付属建物第1廃棄物処理所の柱脚部のアンカーボルトの床金とベースプレートを溶接により補強する。	◎	—	—	—	—
	6-i. 間仕切り壁更新	内部火災による延焼防止を目的に、付属建物第1廃棄物処理所の間仕切り壁を耐火壁に更新する。	—	—	◎ (内部)	—	—
	6-j. 外壁サイディング補強	耐震性能向上を目的に、付属建物第1廃棄物処理所の外壁サイディングを撤去し、鋼板に鉄筋コンクリートを増打する。	○	◎	○ (外部)	—	—
6-k. 鋼板新設	耐震性能向上を目的に、付属建物第1廃棄物処理所外周の壁壁部に鋼板を新設する。	○	◎	○ (内部)	—	—	
6-l. シャッタ新設	前室の新設に伴い、付属建物第1廃棄物処理所廃棄物処理室の既存鉄扉を撤去し、シャッタを新設する。	—	—	—	—	—	
6-m. 鉄扉補強	耐震性能向上を目的に、付属建物第1廃棄物処理所の既存鉄扉(SD-3E及びSD-74)を鉄扉補強材により補強する。	—	◎	○ (内部)	—	—	
7-a. 第1廃棄物処理所前室の新設	付属建物第1廃棄物処理所前室を新設する。	—	—	○ (内外部)	—	—	

凡例

◎：工事の主目的

○：影響評価をしている項目

(注) 耐震評価ではすべての補強の重量を考慮している

名称 シリンドラ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所
 建物 建物の補強工事と各影響評価との関係(1)

図番 図イ建-1-3(1/2)

—

建物名称	工事番号及び工事名称	工事の方法	工事の主目的・影響評価					
			耐震	耐電巻	火災	航空機落下火災	遮蔽	臨界
第2廃棄物処理所	8-a. 柱梁仕口部補強	耐震性能向上を目的に、付属建物第2廃棄物処理所本体の柱と梁、又は柱とブレース(筋交い)の仕口部(接合部)に鋼板(リブアッププレート)を追設、又は既存の圧金とベースプレートを溶接により補強する。	◎	—	—	—	—	—
	8-b. 外部階段移設	付属建物第2廃棄物処理所本体の外部階段の設置方向を変更する。	—	—	—	—	—	—
	8-c. 耐火壁追設	内部火災による延焼防止を目的に、付属建物第2廃棄物処理所本体の仕切り壁に耐火壁を追設する。	—	—	◎(内部)	—	—	—
	8-d. エキスパンションジョイント改造	耐震性能向上を目的に、南北渡り廊下と付属建物第1廃棄物処理所及び付属建物シリンダ洗浄棟との建物境界部の既存エキスパンションジョイントを改造する。	◎	○	○(外部)	—	—	—
	8-e. 鋼板新設	耐震性能向上を目的に、付属建物第2廃棄物処理所本体の1階北面及び西面の既存窓の開口部を塞ぐため、鋼板を新設する。	—	◎	○(内部)	—	—	—
	8-f. 外壁サイディング補強	耐震性能向上を目的に、付属建物第2廃棄物処理所本体及び南北渡り廊下の外壁全面をサイディングで補強する。また、サイドディング下地鉄骨を支持するため、基礎梁部に鉄筋コンクリートを増打ちする。また、南北渡り廊下と付属建物第1廃棄物処理所及び付属建物シリンダ洗浄棟との境界にエキスパンションジョイントを設置する。	○	◎	○(外部)	—	—	—
	8-g. 鉄扉新設	耐震性能向上を目的に、付属建物第2廃棄物処理所本体の既存ドアを撤去し、鉄扉(SD-77)を新設する。	—	◎	○(内部)	—	—	—
	8-h. 鉄扉補強	耐震性能向上を目的に、付属建物第2廃棄物処理所本体及び南北渡り廊下の既存鉄扉(SD-36, SD-38, SD-75, SD-76及びSD-78)を鉄扉補強材により補強する。	—	◎	○(内部)	—	—	—
	8-i. 折板追設補強	耐震性能向上を目的に、付属建物第2廃棄物処理所の南北渡り廊下の既存ALC屋根は残置し、折板の追設により補強する。	—	◎	○(内部)	—	—	—

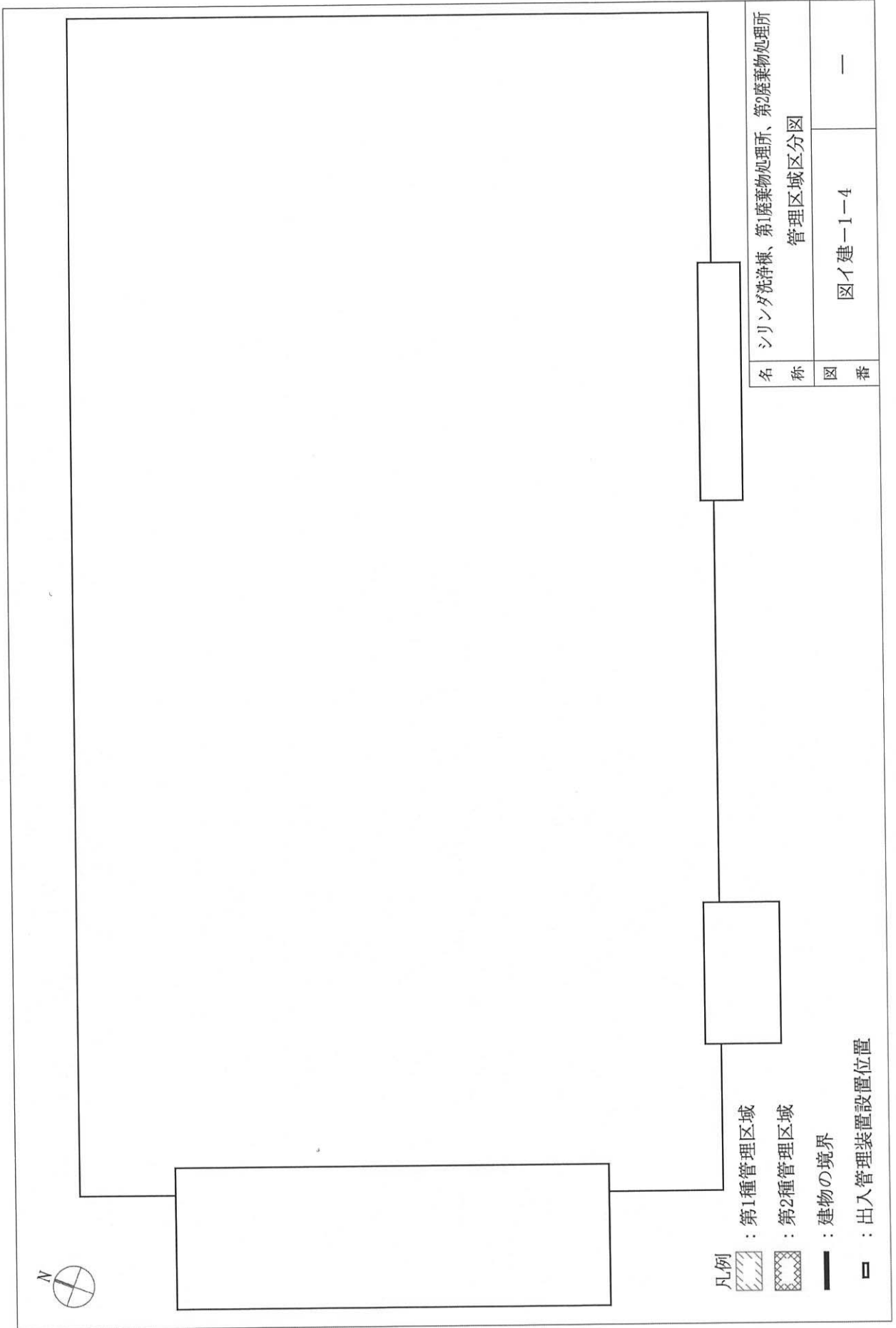
凡例

◎：工事の主目的

○：影響評価をしている項目

(注) 耐震評価ではすべての補強の重量を考慮している

名称	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 建物の補強工事と各影響評価との関係(2)	
図番	図イ建-1-3(2/2)	
	—	

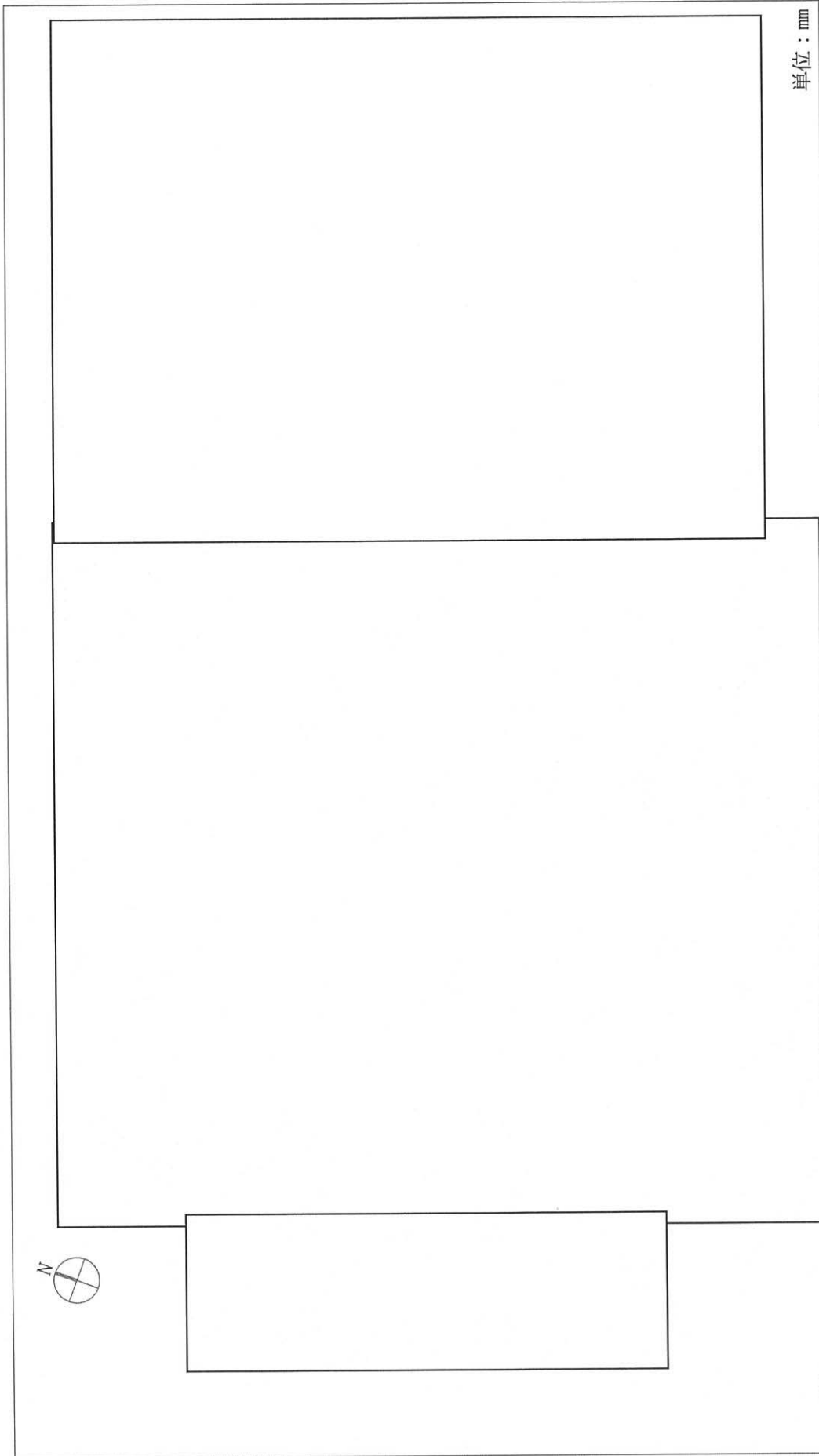


シリンドラ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所
管理区域区分図

名称	
図番	図イ建-1-4

—

- 凡例
-  : 第1種管理区域
 -  : 第2種管理区域
 -  : 建物の境界
 -  : 出入管理装置設置位置



単位：mm

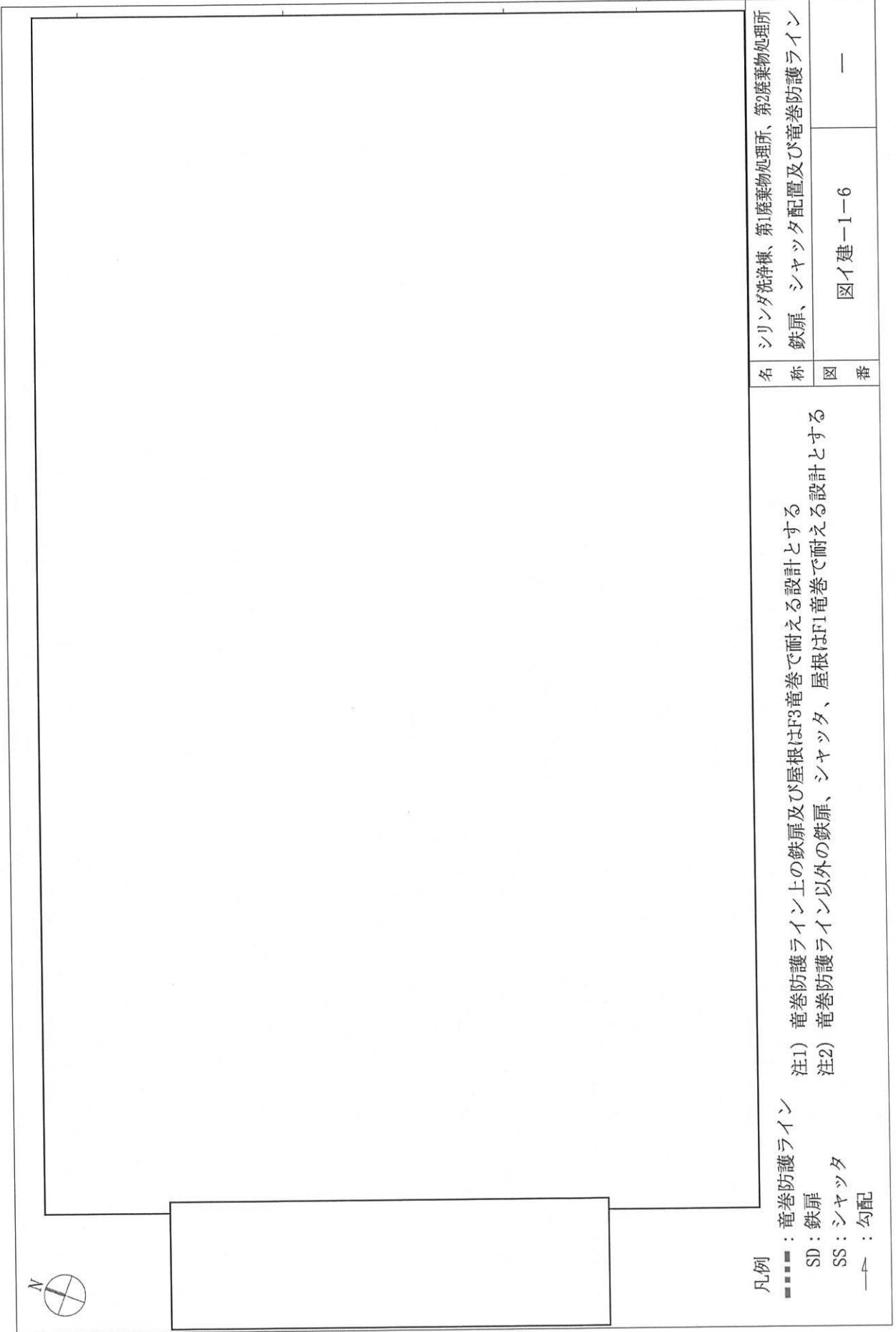
名称	シリンドラ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 エキスパンションジョイント設置位置	
図番	図イ建-1-5	—

凡例

■■■■■：エキスパンションジョイント

注1) エキスパンションジョイントの耐震・耐風評価は、添付説明書一建2-XI参照

注2) 太線 ■■■■ は各建物の壁を示す



凡例

- : 竜巻防護ライン
- SD : 鉄扉
- SS : シヤッタ
- : 勾配

注1) 竜巻防護ライン上の鉄扉及び屋根はF3竜巻で耐える設計とする
 注2) 竜巻防護ライン以外の鉄扉、シヤッタ、屋根はF1竜巻で耐える設計とする

名称	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 鉄扉、シヤッタ配置及び竜巻防護ライン	
図番	図イ建-1-6	—

建具表

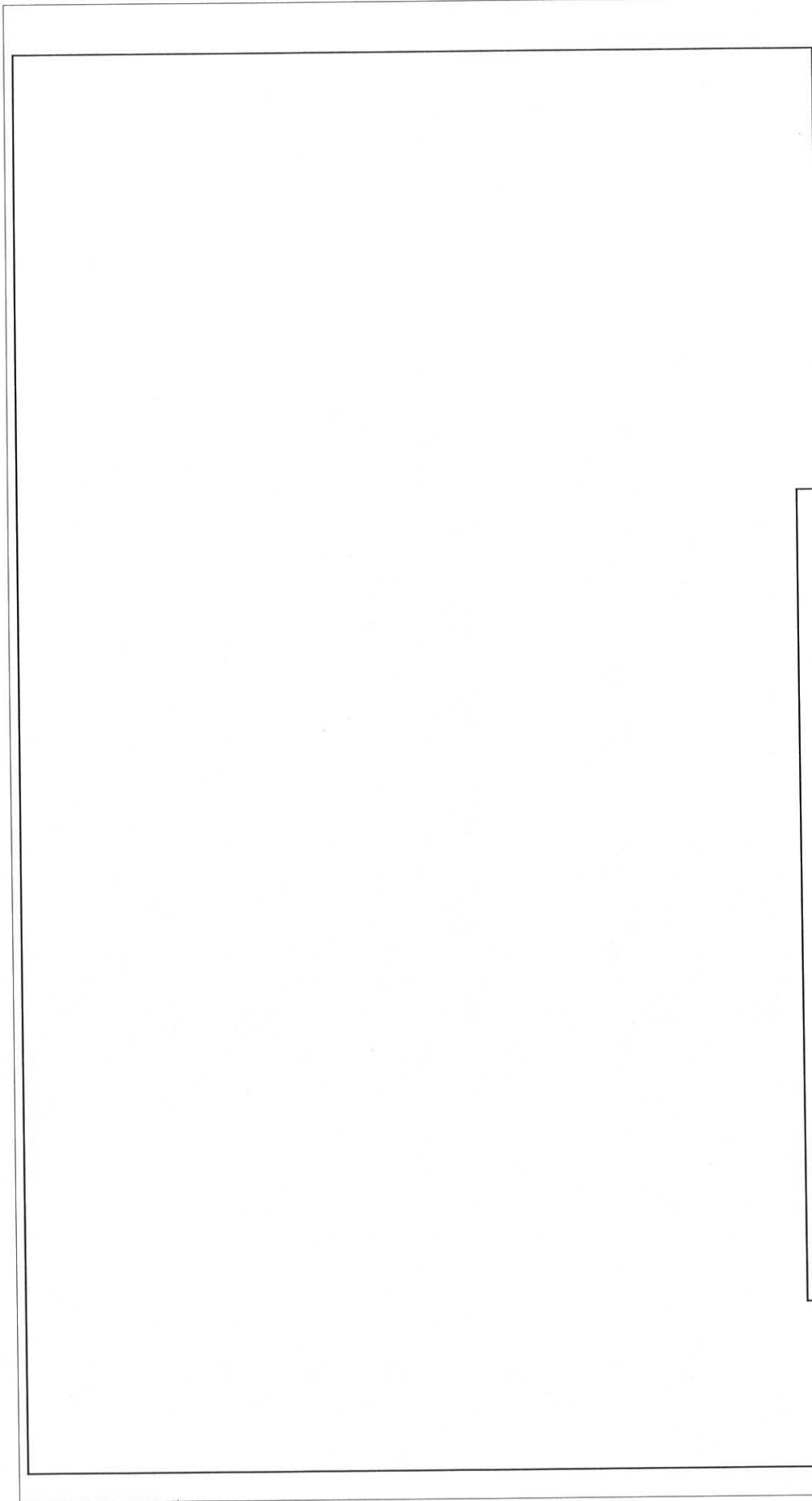
番号	巻巻	材料	寸法※	備考
SD-34	*2 F3			
SD-35	*1 F3			
SD-36	*1 F3			
SD-38	*1 F3			
SD-39	*2 F3			
SD-40	*1 F3			
SD-74	*1 F3			
SD-75	*1 F3			
SD-76	*1 F3			
SD-77	*2 F3			
SD-78	*1 F3			
SD-79	*1 F3			
SS-80	*3 F1			
SD-81	*1 F1			
SD-94	*2 F3			
SD-147	*1 F3			
ガラリ1	F1			
ガラリ2	F1			
ガラリ3	F1			

単位：mm

注1) SDは鉄扉、SSはシャッタを示す
注2) ガラリは固縛する

※ 鉄扉の寸法は、扉の概略寸法を示す
シャッタの寸法は枠の内法の概略寸法を示す
*1 補強する鉄扉
*2 新設する鉄扉
*3 補強するシャッタ

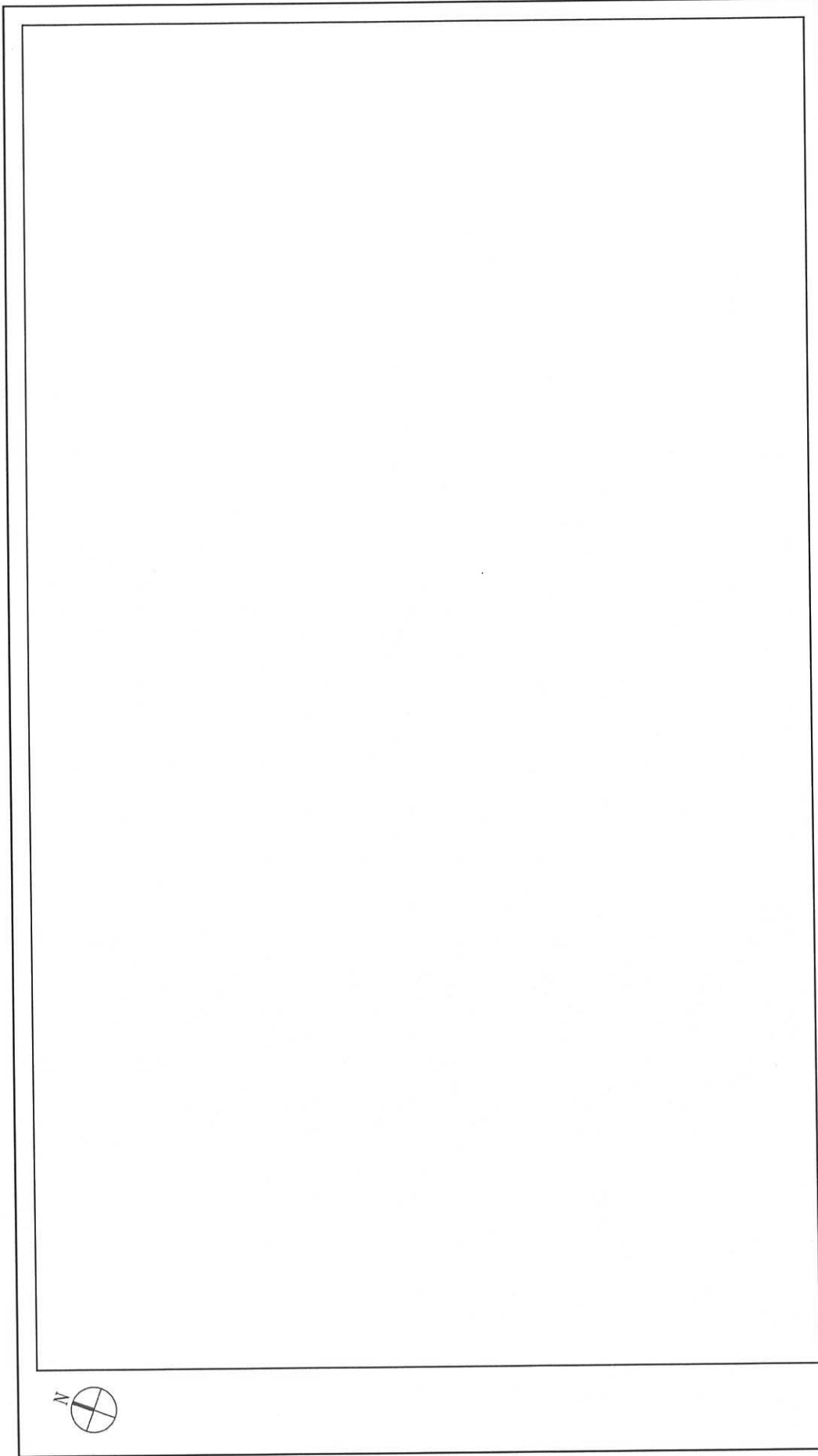
名称	シリンドラ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 建具表	
図番	図イ建-1-7	—



単位：mm

名称	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 新設鉄扉、シャッター及び鉄扉補強、ガバリ固縛概要図
図番	図イ建-1-7-1

*3 アンカー金物は、建築鉄骨部材またはRC壁にアンカーボルトで固定する



凡例

--- : 火災区域

● : 配管貫通部

注) 括弧は共通の火災区域であることを示す。

☒ : 吹抜け

名	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所	
称	火災区域図	
図	図イ建-1-8	
番		-

建物名称	区域	位置	厚さ(単位:mm、材質)	
			壁(主寸法)	屋根/天井
シリンドラ洗浄棟 第2廃棄物処理所	T1	東		床
		西		
		南		
		北		
第2廃棄物処理所 (2-4通りE-F間の1階、 2F給気室)	T2	東		
		西		
		南		
		北		
第2廃棄物処理所 (倉庫)	T3	東		
		西		
		南		
		北		

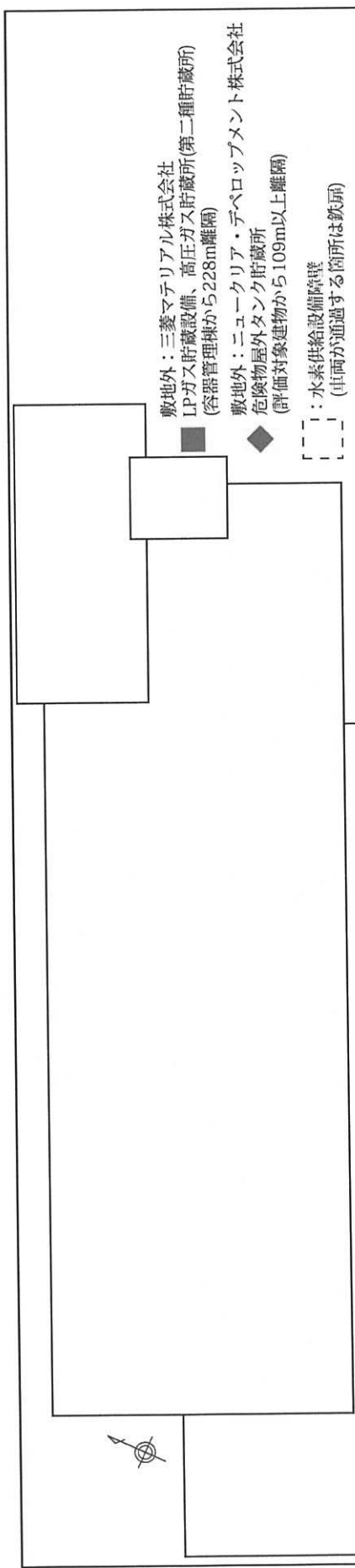
注1) ALC(軽量気泡コンクリート)、RC(コンクリート)、CB(コンクリートブロック)を示す
注2) 全ての鉄扉及びシャッタは1.5mm以上の鋼板

名称	シリンドラ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 火災区域毎の材料及び厚さ一覧(1)
図番	図イ建-1-9(1/2)
	-

建物名称	区域	位置	厚さ(単位:mm、材質)	
			壁(主寸法)	屋根/天井
シリンドラ洗浄棟 (前室)	T4	東 西 南 北		床
第1廃棄物処理所	S1	東 西 南 北		
第1廃棄物処理所前室	S2	東 西 南 北		

名称	シリンドラ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 火災区域毎の材料及び厚さ一覧(2)	
図番	図イ建-1-9(2/2)	
	-	

注1) ALC(軽量気泡コンクリート)、RC(コンクリート)、CB(コンクリートブロック)を示す
注2) 全ての鉄扉及びシャッタは1.5mm以上の鋼板



敷地外：三菱マテリアル株式会社
LPガス貯蔵設備、高圧ガス貯蔵所(第二種貯蔵所)
(容器管理棟から228m離隔)

敷地外：ニュークリア・テパロプメン株式会社
危険物屋外タンク貯蔵所
(評価対象建物から109m以上離隔)

：水素供給設備障壁
(車両が通過する箇所は鉄扉)

タンクローリーの経路及び火災評価時の場所 (※1 参照)

参照図面	経路	火災評価時の場所
(1) 図イ建-1-10(2/10)	-	危険物屋外タンク貯蔵所(1)
(2) 図イ建-1-10(3/10)	-	危険物屋外タンク貯蔵所(2)
(3) 図イ建-1-10(4/10)	-	危険物屋外タンク貯蔵所(3)
(4) 図イ建-1-10(5/10)	-	高圧ガス製造所
(5) 図イ建-1-10(6/10)	A重油用タンクローリーの経路	A重油用タンクローリー(12kL以下の火災評価時の場所)
(6) 図イ建-1-10(7/10)	灯油用タンクローリーの経路	灯油用タンクローリー(4kL以下の火災評価時の場所)
(7) 図イ建-1-10(8/10)	液化アンモニアローリーの経路	液化アンモニアローリー(10t)の火災評価時の場所
(8) 図イ建-1-10(9/10)	LPガスローリーの経路	LPガスローリー(3t)の火災評価時の場所
(9) 図イ建-1-10(10/10)	-	タンクローリー

名称	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 外部火災、爆発の影響評価(1)
図番	図イ建-1-10(1/10)

※1：水素トレーラの経路については添説建5-4図を参照のこと

(1) 危険物屋外タンク貯蔵所(1) 油種名：A重油

対象建物	距離(m)	評価対象	壁厚(mm)	評価対象部位
①-A シリンダ洗浄棟				—
①-B シリンダ洗浄棟前室				—
②-A 第1廃棄物処理所				—
②-B 第1廃棄物処理所前室				—
③ 第2廃棄物処理所				—

注) 対象物と建物の位置関係は図イ建-1-10(1/10)参照

名称	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 外部火災、爆発の影響評価(2)	
図番	図イ建-1-10(2/10)	—

(2) 危険物屋外タンク貯蔵所(2) 油種名：灯油

対象建物	距離(m)	評価対象	壁厚(mm)	評価対象部位
②-A 第1廃棄物処理所				—
②-B 第1廃棄物処理所前室				—

注) 対象物と建物の位置関係は図イ建-1-10(1/10)参照

名称	シリンダ洗浄機、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 外部火災、爆発の影響評価(3)	
図番	図イ建-1-10(3/10)	—

(3) 危険物屋外タンク貯蔵所(3) 油種名：灯油

	対象建物	距離(m)	評価対象	壁厚(mm)	評価対象部位
①-A	シリンダ洗浄棟				—
②-A	第1廃棄物処理所				—
③	第2廃棄物処理所				—

注) 対象物と建物の位置関係は図イ建-1-10(1/10)参照

名称	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 外部火災、爆発の影響評価(4)	
図番	図イ建-1-10(4/10)	—

(4) 高圧ガス製造所 油種名：液化アンモニア

	対象建物	距離(m)	評価対象		評価対象部位
			壁厚(mm)		
①-A	シリンダ洗浄棟				—
①-B	シリンダ洗浄棟前室				—
②-A	第1廃棄物処理所				—
②-B	第1廃棄物処理所前室				—
③	第2廃棄物処理所				—

注) 対象物と建物の位置関係は図イ建-1-10(1/10)参照

名称	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 外部火災、爆発の影響評価(5)	
図番	図イ建-1-10(5/10)	—

(5) A重油用タンクローリ 油種名：A重油

対象建物	距離(m)	評価対象	壁厚(mm)	評価対象部位
①-A シリンダ洗浄棟				—
①-B シリンダ洗浄棟前室				—
②-A 第1廃棄物処理所				—
②-B 第1廃棄物処理所前室				—
③ 第2廃棄物処理所				—

注) 対象物と建物の位置関係は図イ建-1-10(1/10)参照

名称	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 外部火災、爆発の影響評価(6)	
図番	図イ建-1-10(6/10)	—

(6) 灯油用タンクローリ 油種名：灯油

対象建物	距離 (m)	評価対象	壁厚 (mm)	評価対象部位
①-A		シリンダ洗浄棟		—
①-B		シリンダ洗浄棟前室		—
②-A		第1廃棄物処理所		—
②-B		第1廃棄物処理所前室		—
③		第2廃棄物処理所		—

注) 対象物と建物の位置関係は図イ建-1-10(1/10)参照

名称	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 外部火災、爆発の影響評価(7)	
図番	図イ建-1-10(7/10)	—

(7) 液化アンモニアローリ 油種名：液化アンモニア

	対象建物	距離 (m)	評価対象	壁厚 (mm)	評価対象部位
①-A	シリンダ洗浄棟				—
①-B	シリンダ洗浄棟前室				—
②-A	第1廃棄物処理所				—
②-B	第1廃棄物処理所前室				—
③	第2廃棄物処理所				—

注) 対象物と建物と建物の位置関係は図イ建-1-10(1/10) 参照

名称	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 外部火災、爆発の影響評価 (8)	
図番	図イ建-1-10(8/10)	—

(8)LPガスローリ 油種名：液化プロパンガス

	対象建物	距離(m)	評価対象	壁厚(mm)	評価対象部位
①-A	シリンダ洗浄棟				—
①-B	シリンダ洗浄棟前室				—
②-A	第1廃棄物処理所				—
②-B	第1廃棄物処理所前室				—
③	第2廃棄物処理所				—

注) 対象物と建物の位置関係は図イ建-1-10(1/10)参照

名称	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 外部火災、爆発の影響評価(9)	
図番	図イ建-1-10(9/10)	—

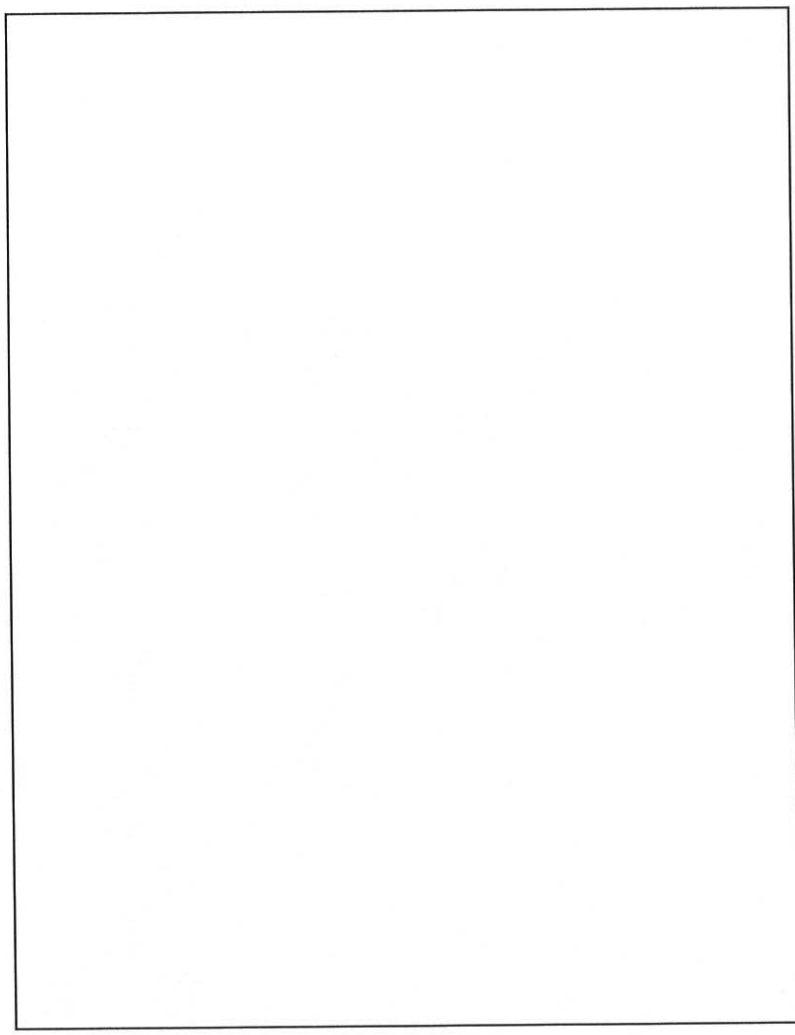
(9) タンクローリ 油種名：ガソリン、液化プロパンガス、液化天然ガス

対象建物	距離(m)	評価対象	
		壁厚(mm)	評価対象部位
①-B シリンダ洗浄機前室			—
②-A 第1廃棄物処理所			—
②-B 第1廃棄物処理所前室			—
③ 第2廃棄物処理所			—

注) 対象物と建物の位置関係は図イ建-1-10(1/10)参照

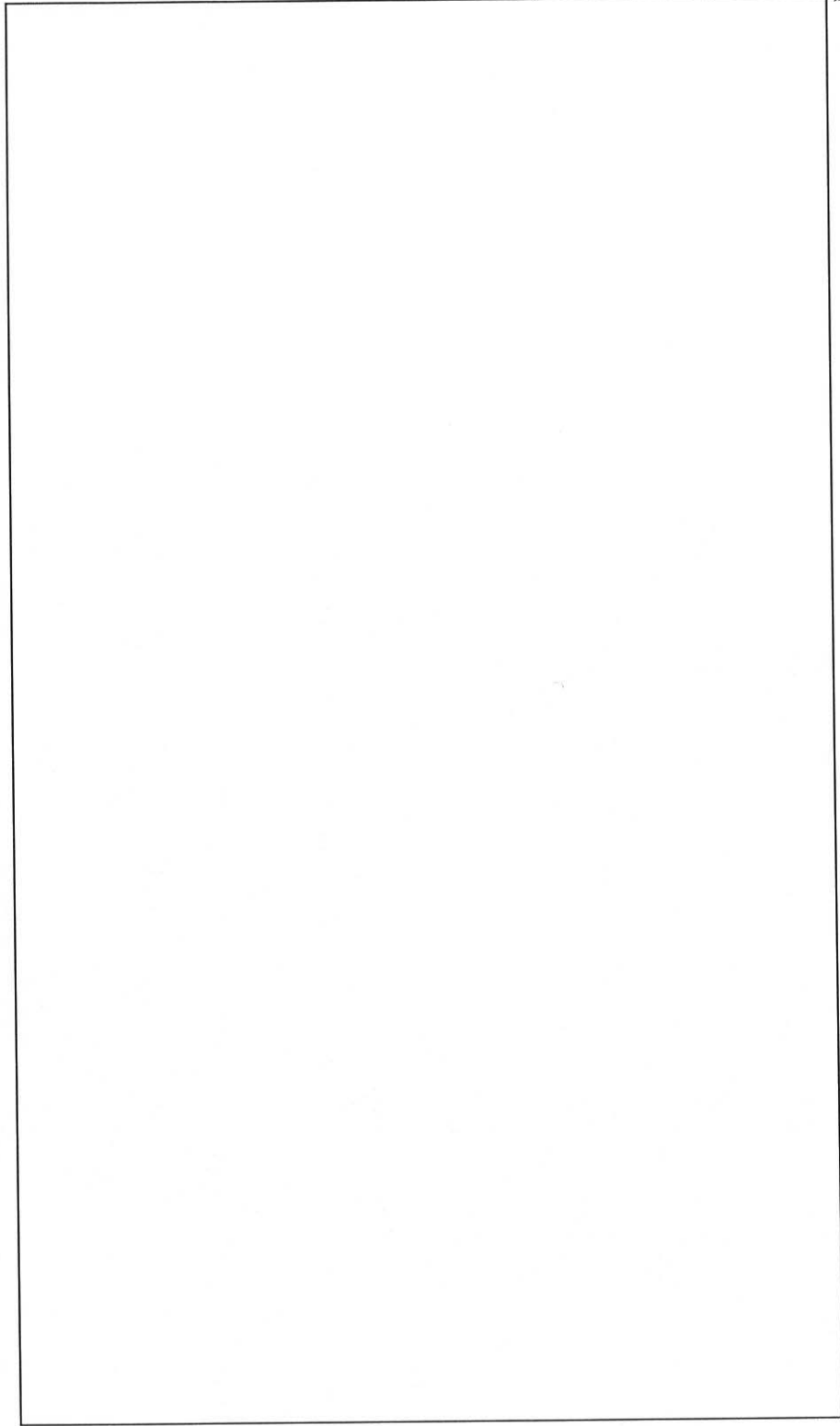
名称	シリンダ洗浄棟、第1廃棄物処理所、第2廃棄物処理所 外部火災、爆発の影響評価(10)	
図番	図イ建-1-10(10/10)	—

主要な 構造材	柱, 梁
	屋根, 壁



単位：mm

名称	付属建物 シリندانダ洗浄棟 地下1階 平面図
図番	図イ建-2-1 付属建物 シリندانダ洗浄棟



単位：mm

凡例

▨ : 別建物

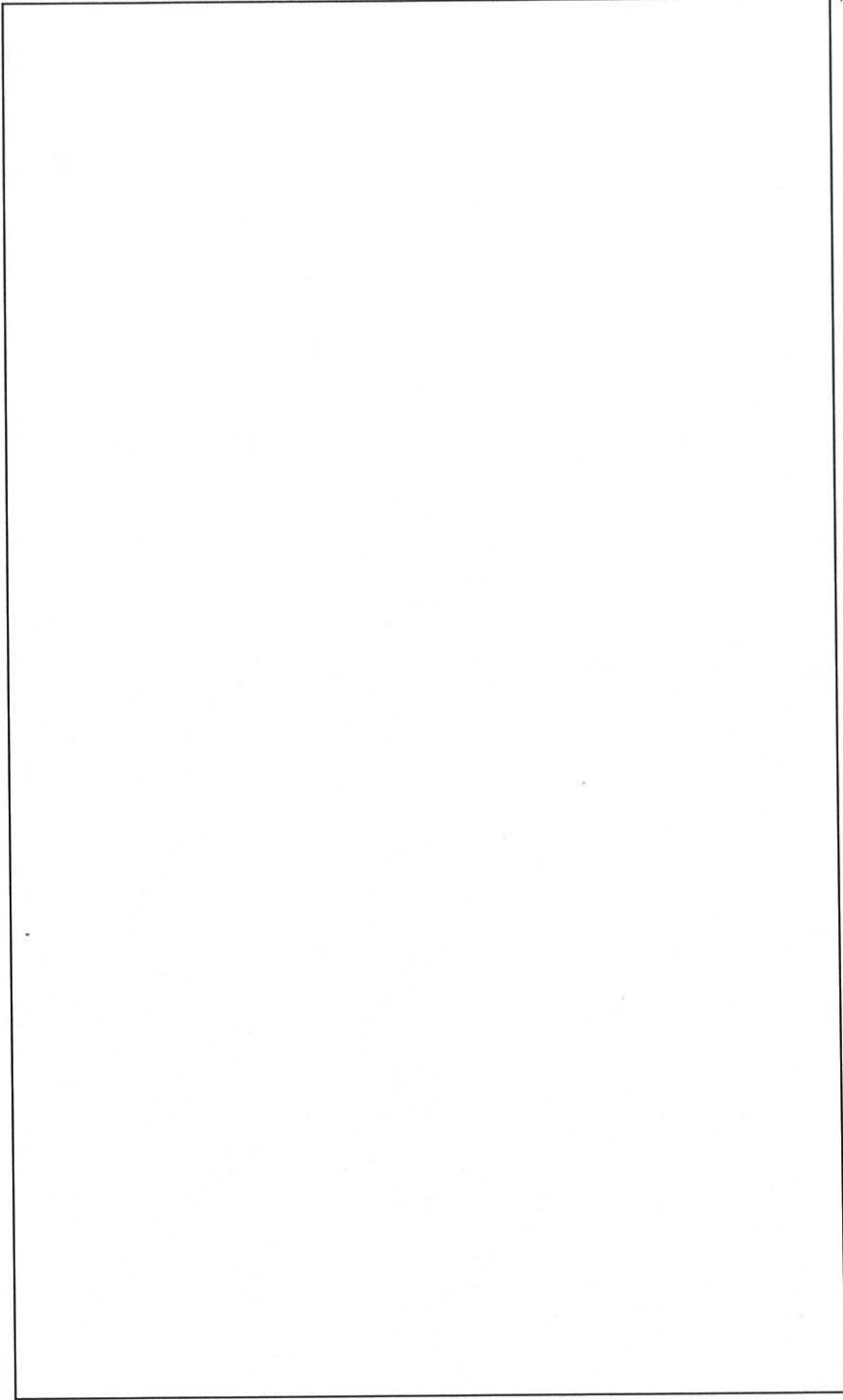
--- : EXP. J (エキスパンションジョイント) ※概略図は図イ建-1-5参照

*1 : F1 竜巻で損傷しない、且つF3 竜巻で耐える

*2 : F1 竜巻で損傷しない

*3 : 外壁内側にロックウール(厚さ20)を吹付

名称	付属建物 シリندانダ洗浄棟 1階 平面図
図番	図イ建-2-2 付属建物 シリندانダ洗浄棟

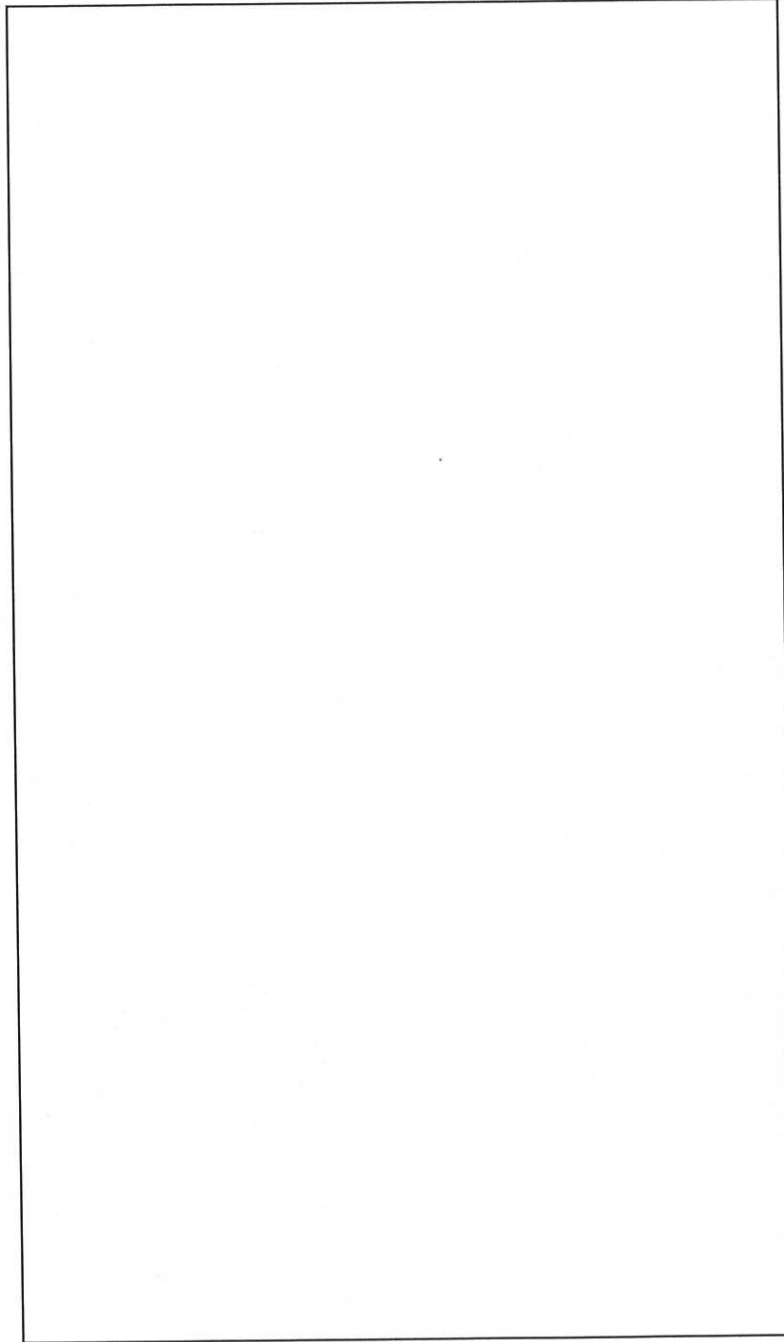


単位：mm

凡例

-  : 別建物
-  : 吹抜け
-  : EXP. J(エキスパンションジョイント)※概略図は図イ建-1-5参照
- * : F1 竜巻で損傷しない、且つF3竜巻で耐える

名称	付属建物 シリندانダ洗浄棟 2階 平面図
図番	図イ建-2-3 付属建物 シリندانダ洗浄棟

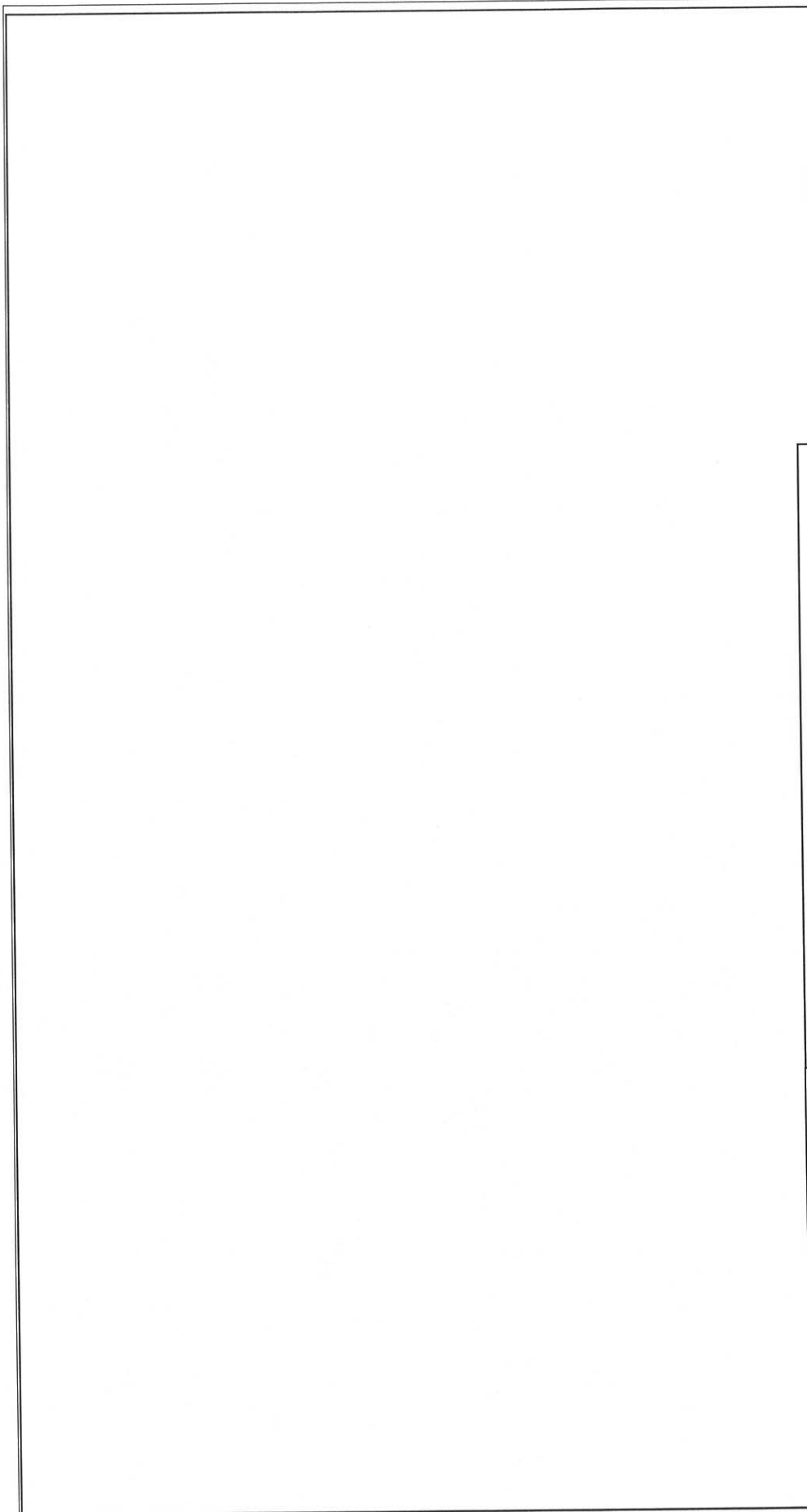


単位：mm

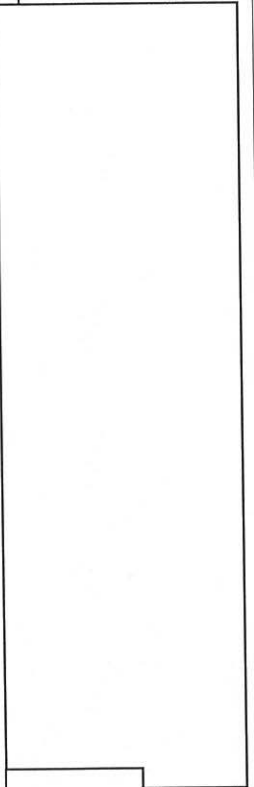
名称	付属建物 シリندانダ洗浄棟
図番	図イ建-2-4
	屋根伏図
	付属建物 シリندانダ洗浄棟

凡例
— : 勾配


注) 屋根には防水層を設置



単位：mm	
名称	付属建物 シリندانダ洗淨棟 立面図
図番	図イ建-2-5 付属建物 シリندانダ洗淨棟

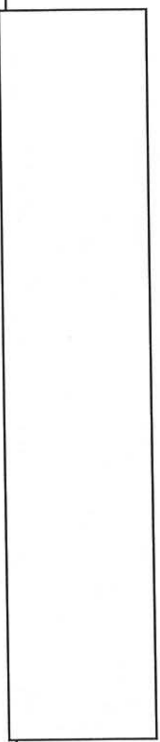
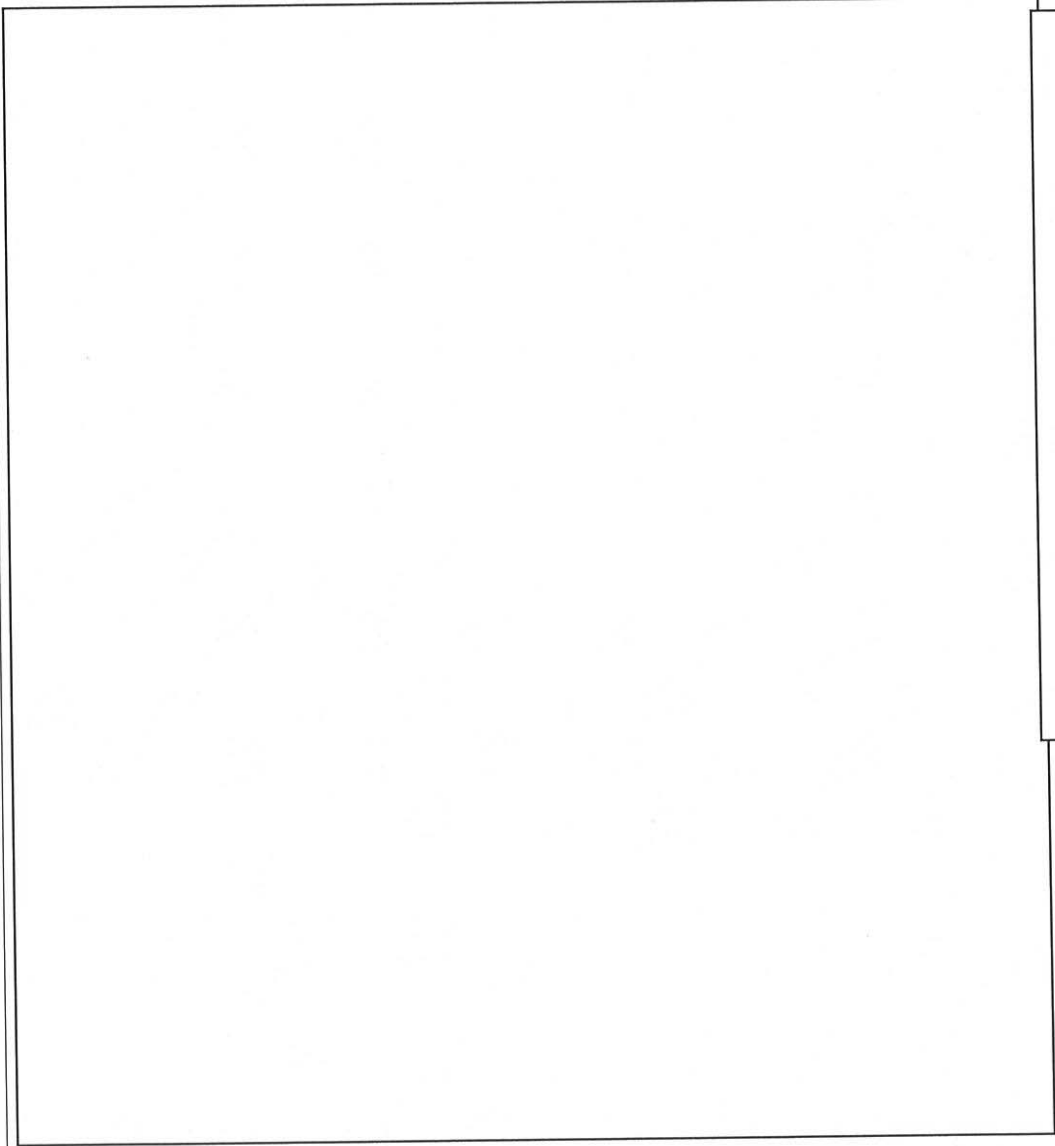
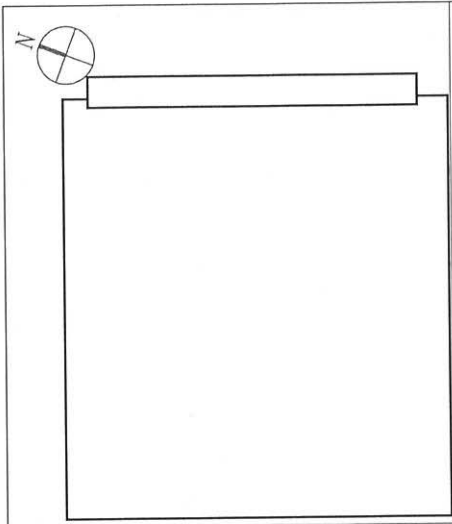


凡例

 : 別建物

EXP. J : エキスパンションジョイント

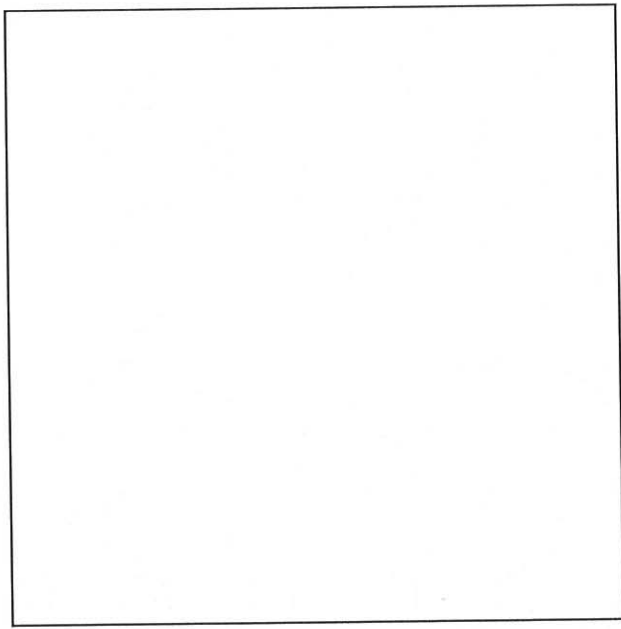
注) SDは鉄扉、SSはシャッタを示す



単位：mm

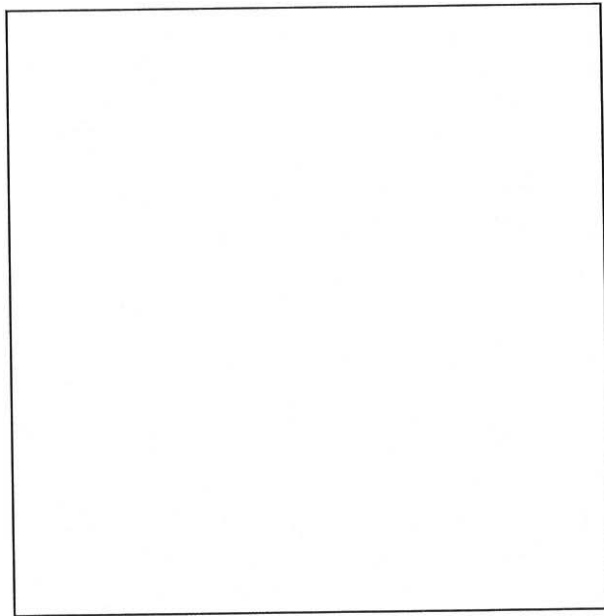
名称	付属建物 シリシダダ洗浄棟	
断面図	断面図	
図番	図イ建-2-6	付属建物 シリシダダ洗浄棟

凡例
— 勾配



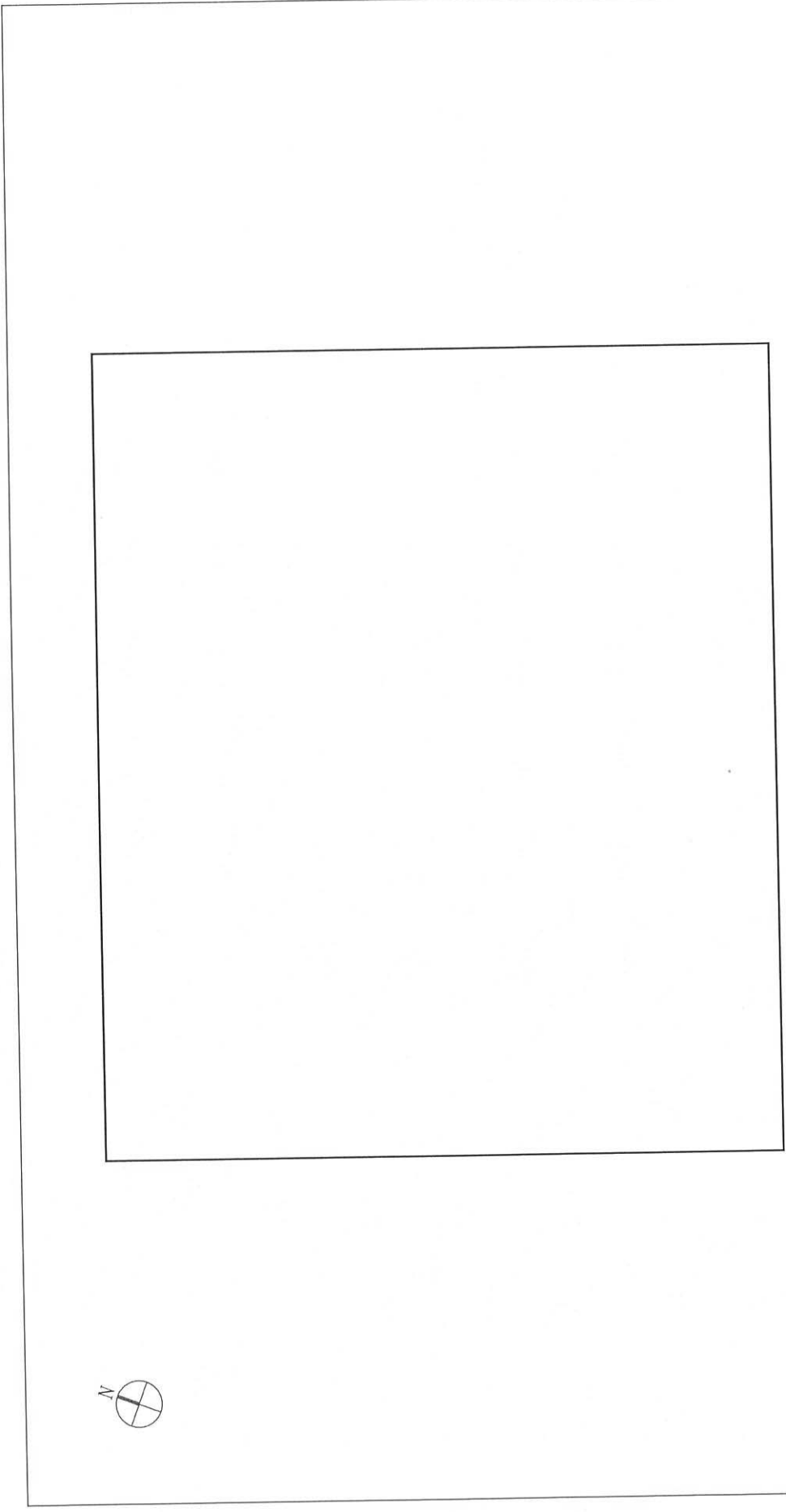
単位：mm

名称	付属建物 シリシダ洗浄棟 地下1階 床梁伏図
図番	図イ建-2-7 付属建物 シリシダ洗浄棟



単位：mm

名称	付属建物 シリシダ洗淨棟 地下1階 床梁伏図
図番	図イ建-2-7
	付属建物 シリシダ洗淨棟



凡例
 ○ 既設杭 ()

単位：mm

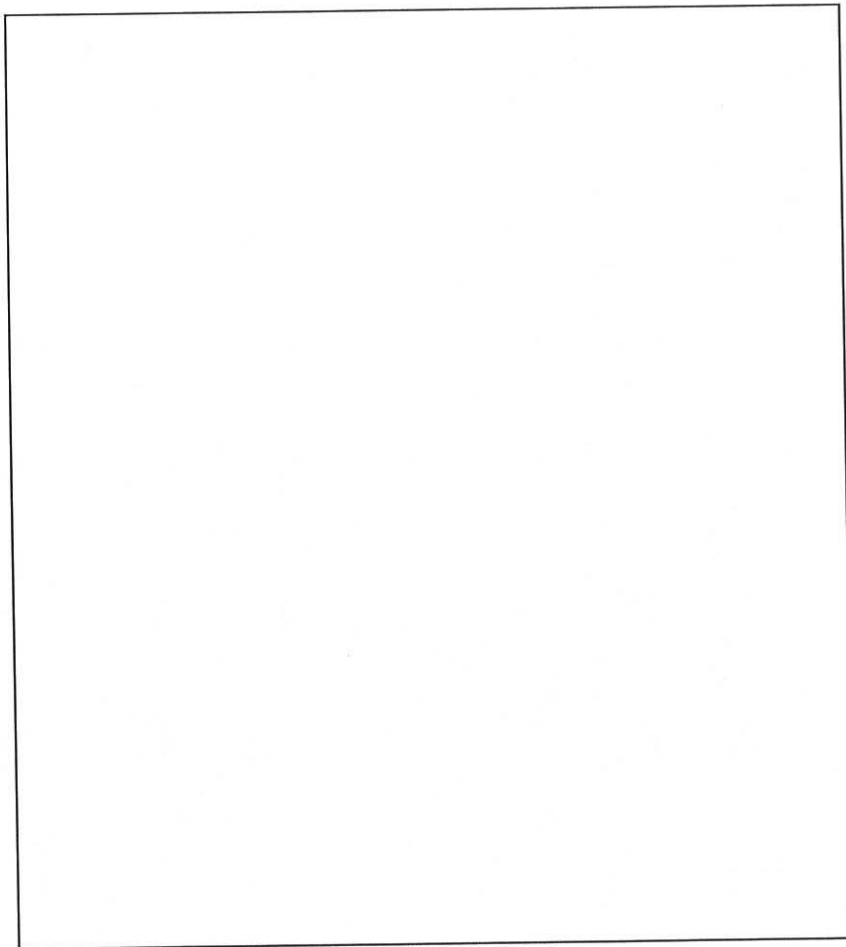
名称	付属建物 シリندانダ洗浄棟 1階 基礎伏図
図番	図イ建-2-8 付属建物 シリندانダ洗浄棟



凡例

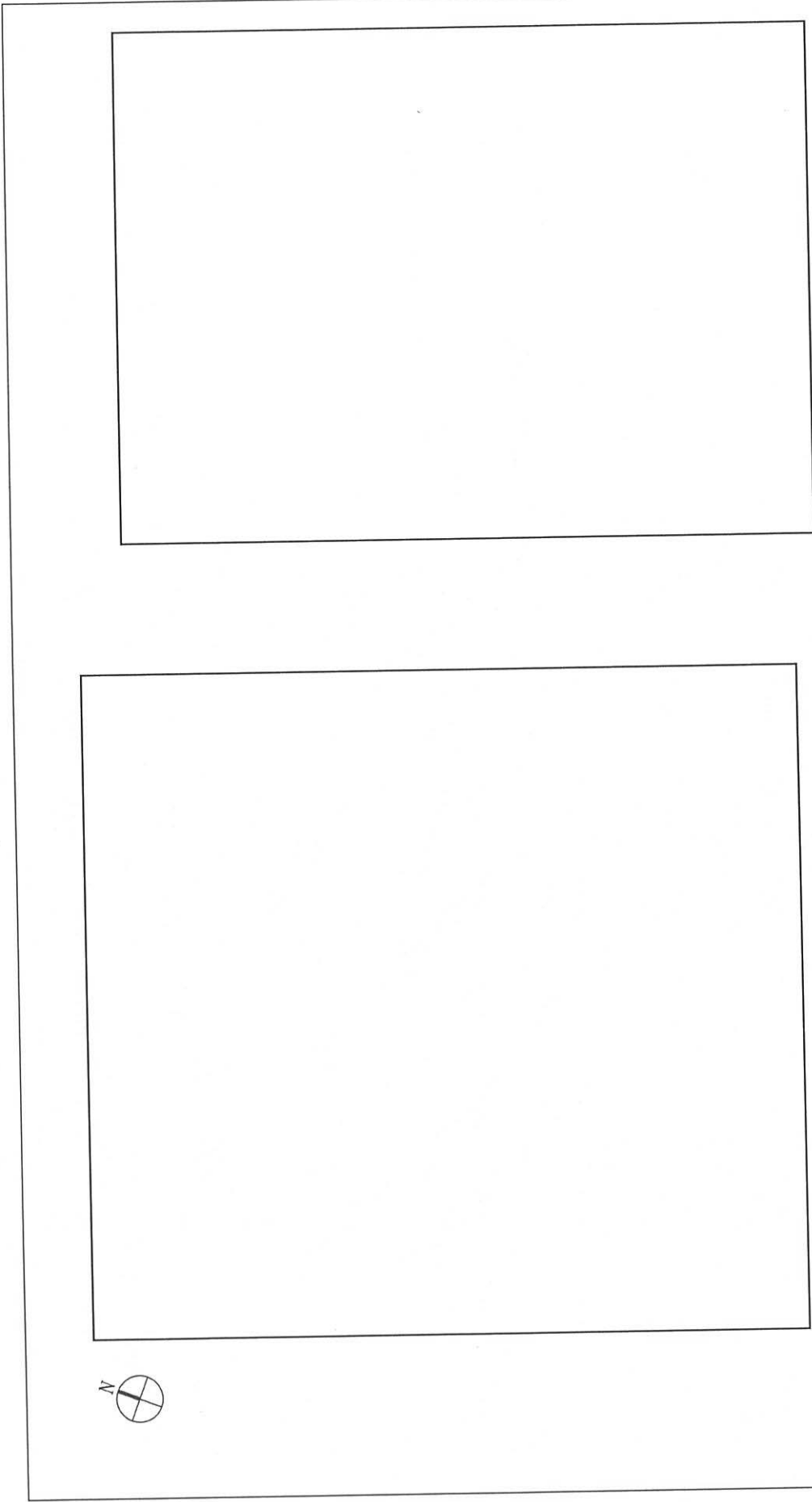


吹抜け



単位：mm

名称	付属建物 シリシダ洗浄棟 2階 床梁伏図
図番	図イ建-2-9 付属建物 シリシダ洗浄棟



単位：mm

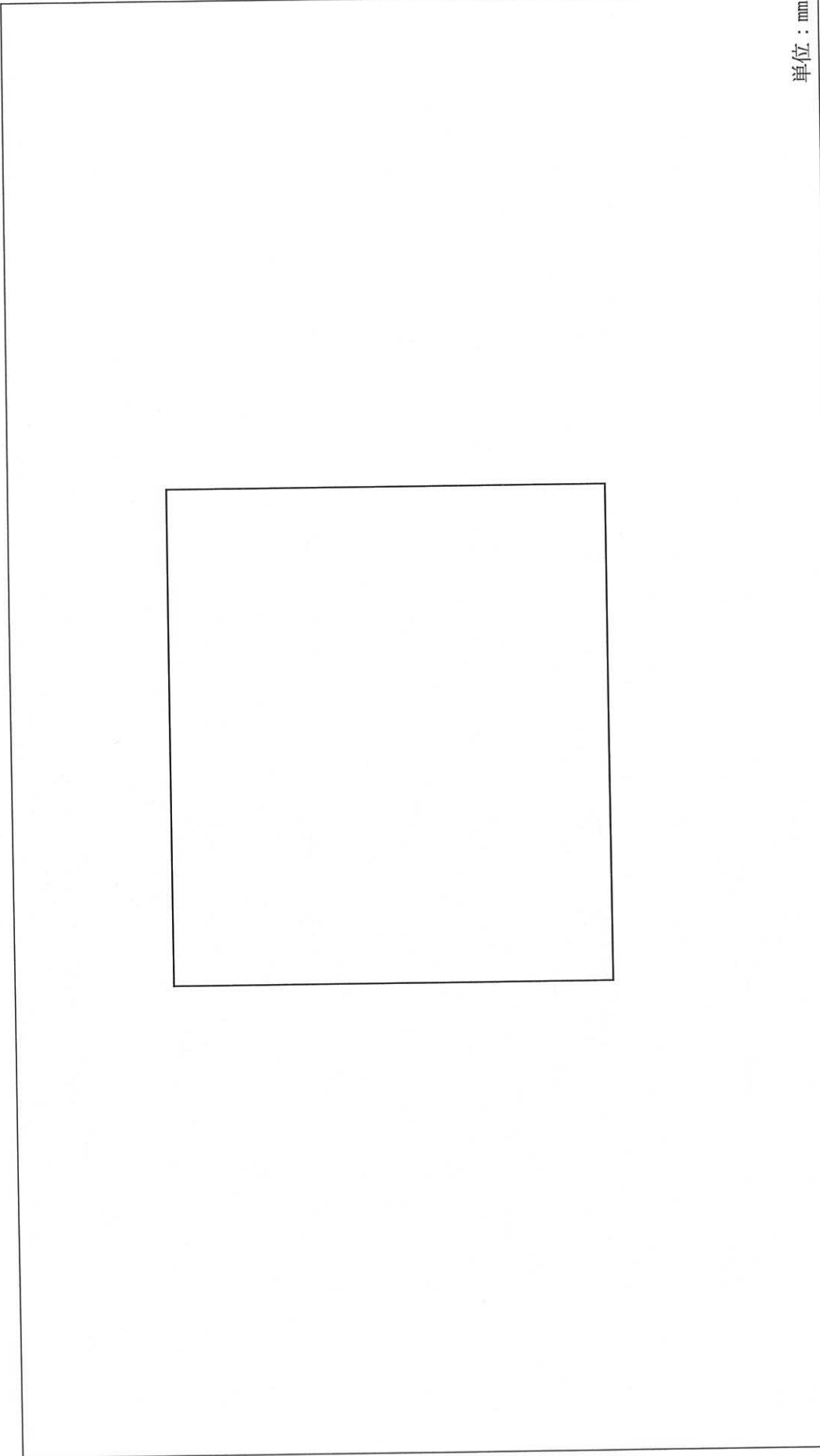
名称	付属建物 シリندانダ洗浄棟 R階 床梁伏図	付属建物 シリندانダ洗浄棟
図番	図イ建-2-10	

凡例



閉口部

注) 補強箇所を赤字で示す

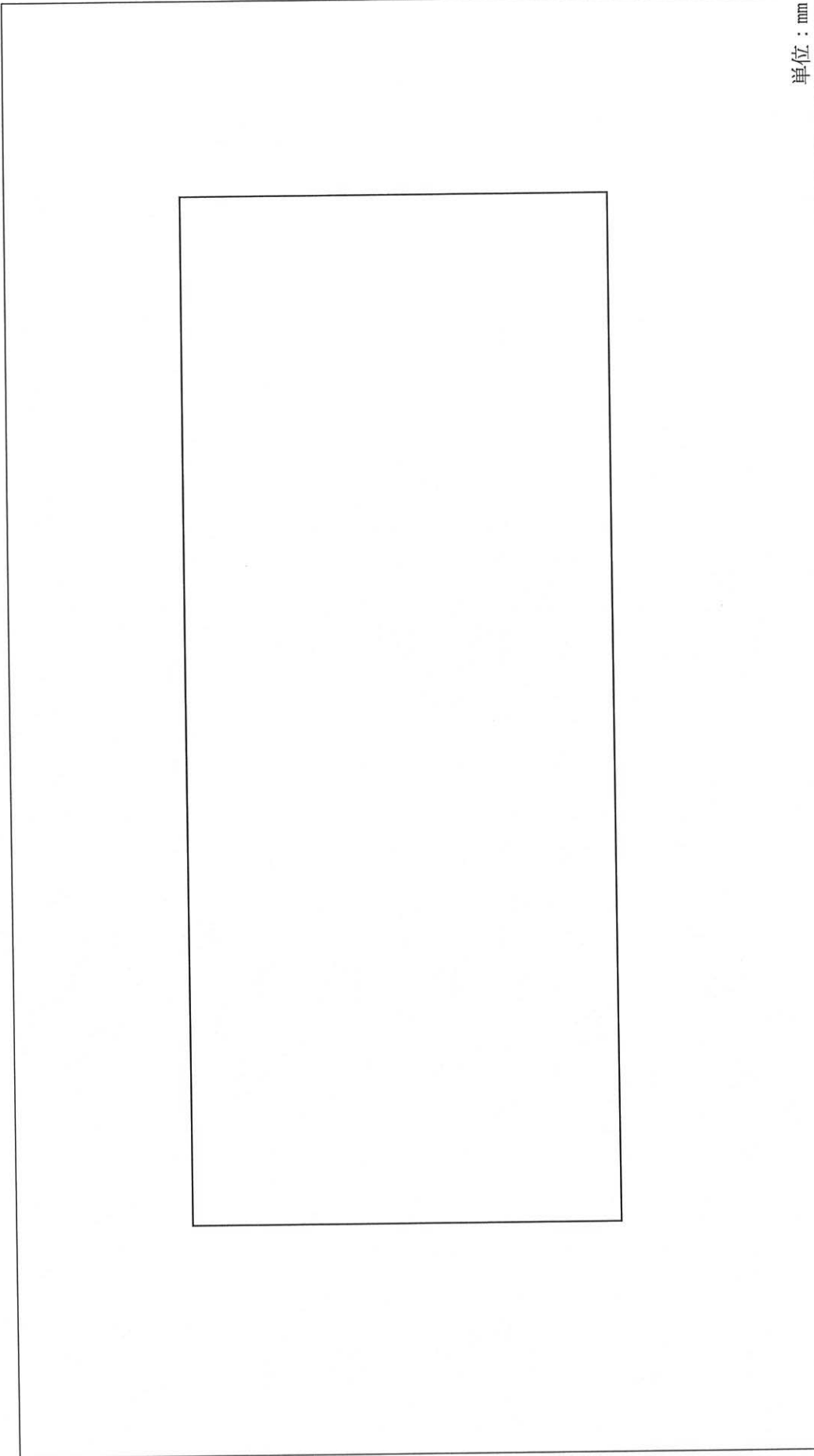


単位：mm

名称	付属建物 シリランダ洗浄棟 1通り サイディング 軸組 図	付属建物 シリランダ洗浄棟
図番	図イ建-2-11	

凡例
 外壁更新
 新設間柱：NSP2
 外壁下地材：NGIR

注) 補強箇所を赤字で示す

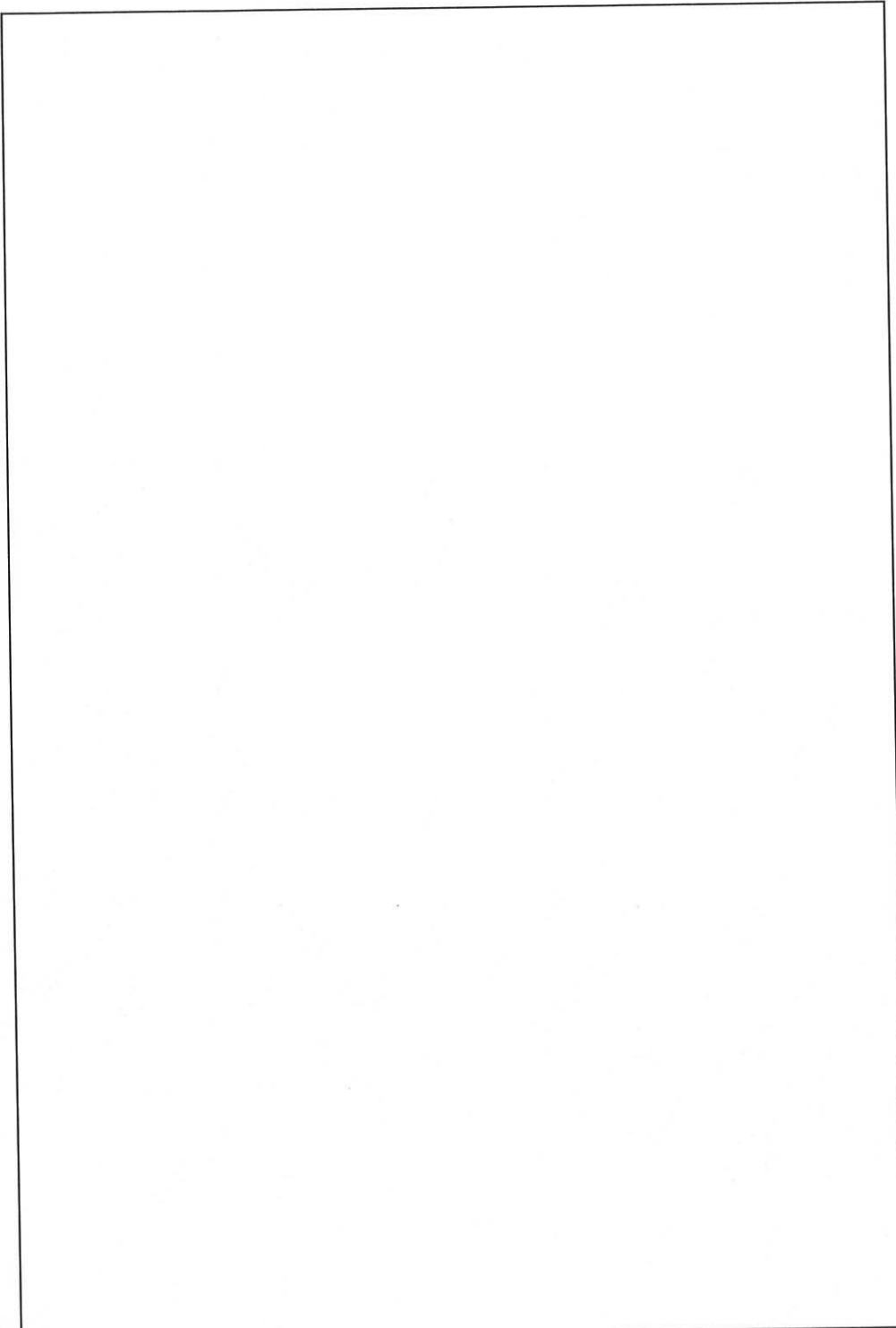


単位：mm


名称	付属建物 シリシダ洗浄棟 I, J通り サイディング 軸組図
図番	図イ建-2-12 付属建物 シリシダ洗浄棟

凡例
 外壁更新
 新設間柱：NSP1, NSP2
 外壁下地材：NGIR, NGS

注) 補強箇所を赤字で示す



凡例

 : 別建物

注) 竜巻対策のための工事を青字青囲いで示す

名称	工場棟、放射線管理棟、付属建物 補強箇所説明図(1階)	
図番	図イ建-3-1	一



凡例

- : 竜巻防護ライン
- ▨ : 別建物
- SD : 鉄扉
- SS : シャッタ

* : 今回申請対象鉄扉(他の鉄扉及びシャッタは認可済)

注1) 竜巻防護ライン上の鉄扉はF3竜巻で耐える設計とする

注2) 竜巻防護ライン以外の鉄扉、シャッタはF1竜巻で耐える設計とする

名称	工場棟、放射線管理棟、付属建物 鉄扉、シャッタ配置及び竜巻防護ライン(1階)	
図番	図イ建-3-2	—

建具表

番号	竜巻	材料	寸法(mm) ※	備考
SD-1	*7	F3		
SD-2	*6	F3		
SD-3	*2	F3		
SD-4	*2	F3		
SD-5	*1	F3		
SD-220	*6	F3		
SD-7	*2	F3		
SD-8	*2	F3		
SD-9	*2	F3		
SD-10	*2	F3		
SD-11	*1	F3		
SD-12	*2	F3		
SD-14	*2	F3		
SD-15	*2	F3		
SD-16	*1	F3		
SD-17	*6	F3		
SD-18	*1	F1		
SS-19	*3	F1		
SD-20	*1	F1		
SD-21	*1	F3		
SD-22	*1	F3		
SD-55	*2	F3		
SD-56	*1	F3		

※ 鉄扉の寸法は、扉の概略寸法を示す
シャッタの寸法は、枠の内法の概略寸法を示す

- *1 補強する鉄扉
- *2 交換する鉄扉
- *3 補強するシャッタ
- *4 交換するシャッタ

番号	竜巻	材料	寸法(mm) ※	備考
SD-57	*1	F3		
SD-221	*6	F3		
SD-61	*1	F3		
SD-62	*1	F3		
SD-68	*1	F3		
SD-69	*2	F1		
SS-70	*4	F1		
SD-71	*2	F3		
SD-83	*2	F3		
SD-84	*2	F3		
SD-85	*2	F3		
SS-87	*3	F1		
SD-92		F3		
SD-93		F3		
SD-135	*1	F3		
SD-136-RF	*1	F3		
ガラリ1	*5	F1		
ガラリ2	*5	F1		
ガラリ3	*5	F1		
ガラリ4	*5	F1		
ガラリ5	*5	F1		
ガラリ6	*5	F1		
ガラリ7	*5	F1		

単位：mm

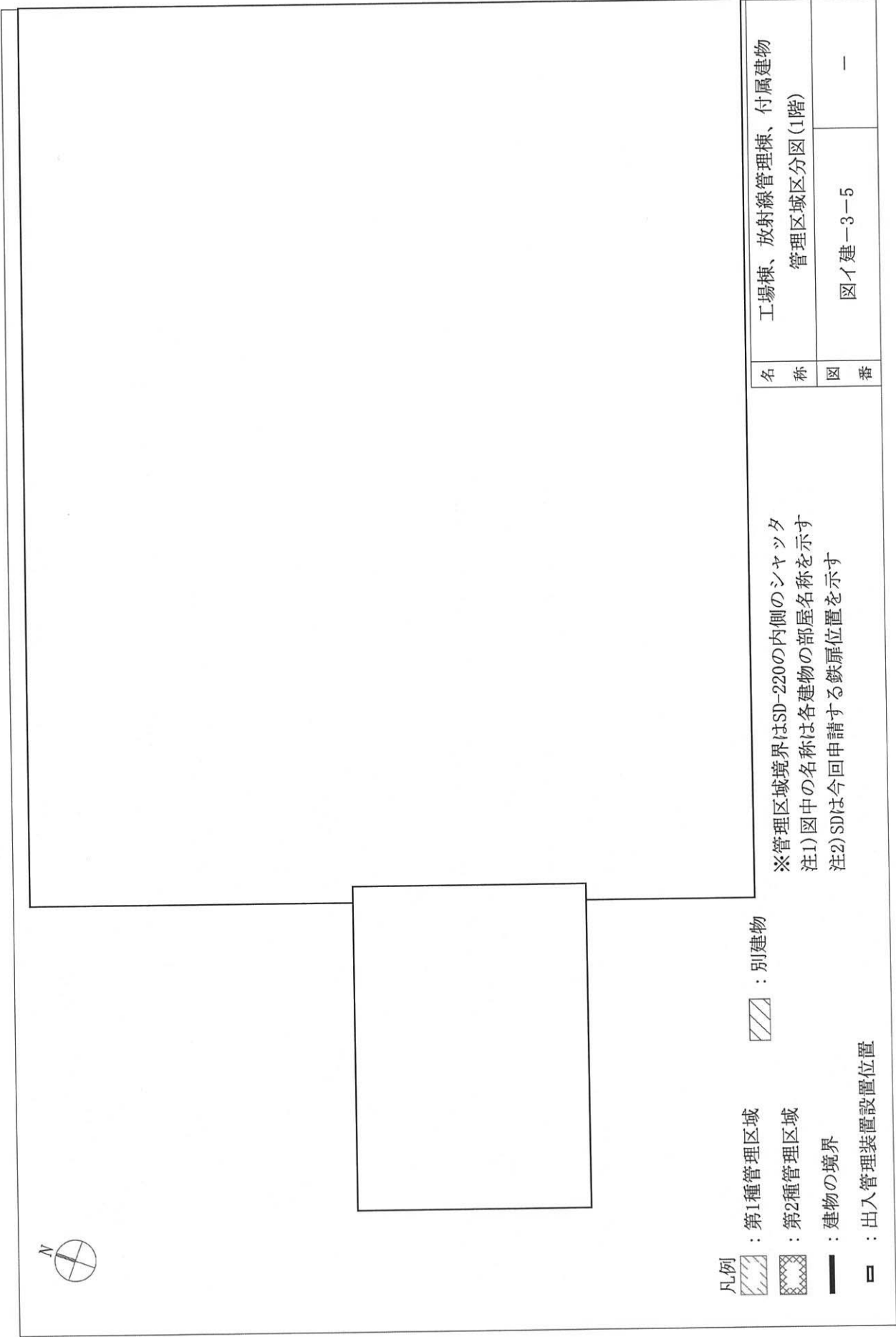
- 注) SDは鉄扉、SSはシャッタを示す
 *5 固縛補強する
 *6 今回申請対象鉄扉
 *7 SD-2の潜戸となるためSD-2に含む
 : 今回申請対象外(認可済)

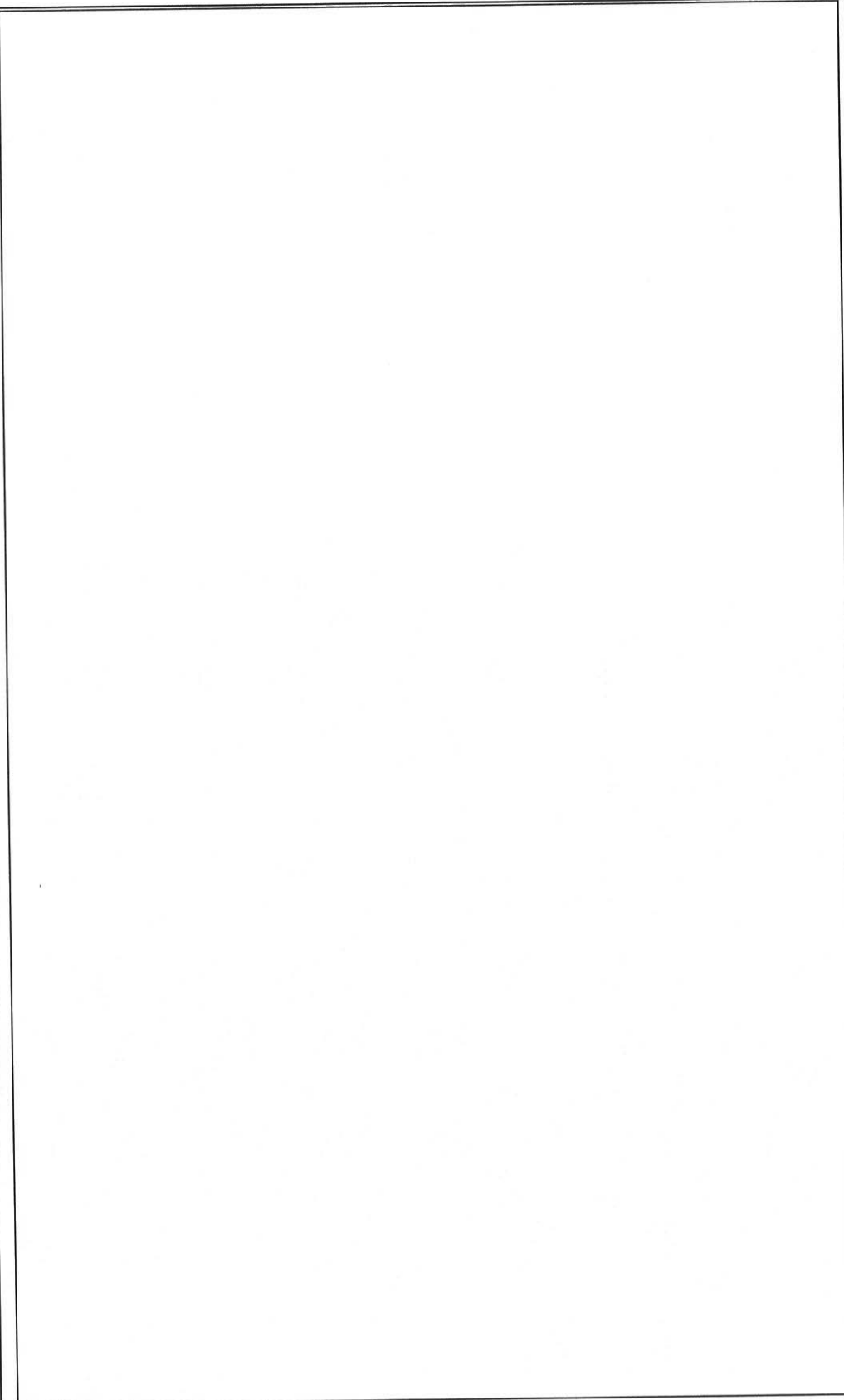
名称 工場棟、放射線管理棟、付属建物
建具表

図番 図イ建-3-3

—

<div data-bbox="223 358 1260 1097" style="border: 1px solid black; height: 330px; width: 650px;"></div>		単位：mm	
		工場棟、付属建物 鉄扉概要図	
<div data-bbox="239 1209 1436 1971" style="border: 1px solid black; height: 340px; width: 750px;"></div>		名 称	図イ建-3-4
		図 番	—





凡例

— : 火災区域

▨ : 別建物

※1 火災区域境界は前室側のシャッタ
※2 火災区域境界はSD-220内側のシャッタ
注)SDは今回申請する鉄扉を示す

名称

工場棟、放射線管理棟、付属建物

火災区域 (1階)

図番

図イ建-3-6

—

*: 今回申請の外部火災評価対象：鉄扉（付属建物 除染室・分析室）



敷地外：三菱マテリアル株式会社
LPGガス貯蔵設備、高圧ガス貯蔵所(第二種貯蔵所)
(評価対象建物から228m以上離隔)

敷地外：ニュークリア・デベロップメント株式会社
危険物屋外タンク貯蔵所
(評価対象建物から109m以上離隔)

□: 水素供給設備隣壁
(車両が通過する箇所は鉄扉)

タンクローリーの経路及び火災評価時の場所

経路	火災評価時の場所
(1) ———	危険物屋外タンク貯蔵所(1) ○
(2) ———	危険物屋外タンク貯蔵所(2) ●
(3) ———	高圧ガス製造所 □
(4) A重油用タンクローリーの経路	A重油用タンクローリー (12t以下) の火災評価時の場所 ■
(5) 灯油用タンクローリーの経路	灯油用タンクローリー (4t以下) の火災評価時の場所 ■
(6) 液化アンモニアローリーの経路	液化アンモニアローリー (10t) の火災評価時の場所 ■
(7) LPガスローリーの経路	LPガスローリー (3t) の火災評価時の場所 ■

名 工場棟、放射線管理棟、付属建物
称 外部火災・爆発の影響評価(1)

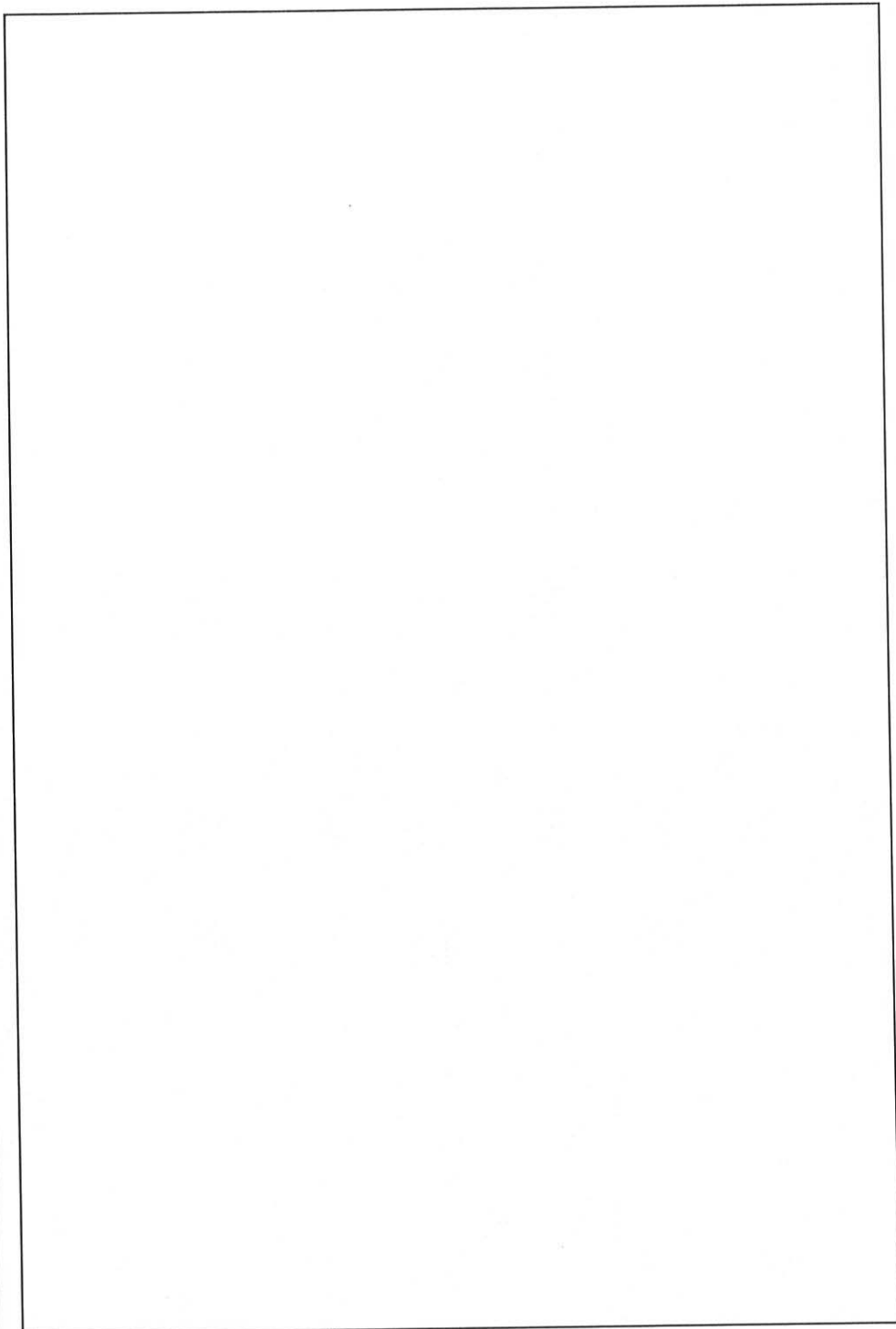
図 図イ建-3-7

番 —

--	--

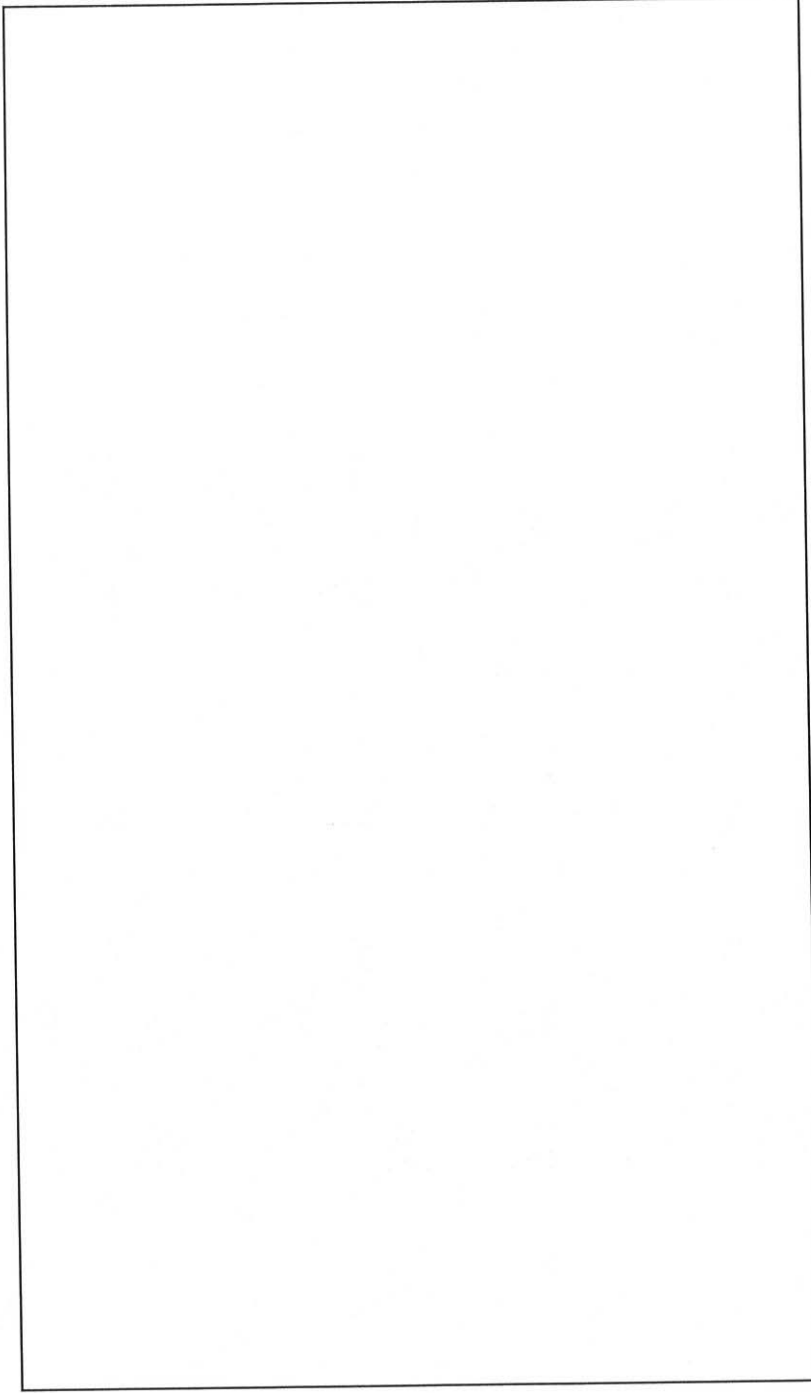
※1：各危険物から評価対象までの実距離を示す
 ※2：評価に使用した距離（各危険物から最も近い建物の距離）を示す

名称	工場棟、放射線管理棟、付属建物 外部火災・爆発の影響評価(2)	
図番	図イ建-3-8	—



注) SDは鉄扉を示す

名称	工場棟、放射線管理棟、付属建物 航空機落下に伴う火災影響評価
図番	図イ建-3-9 —

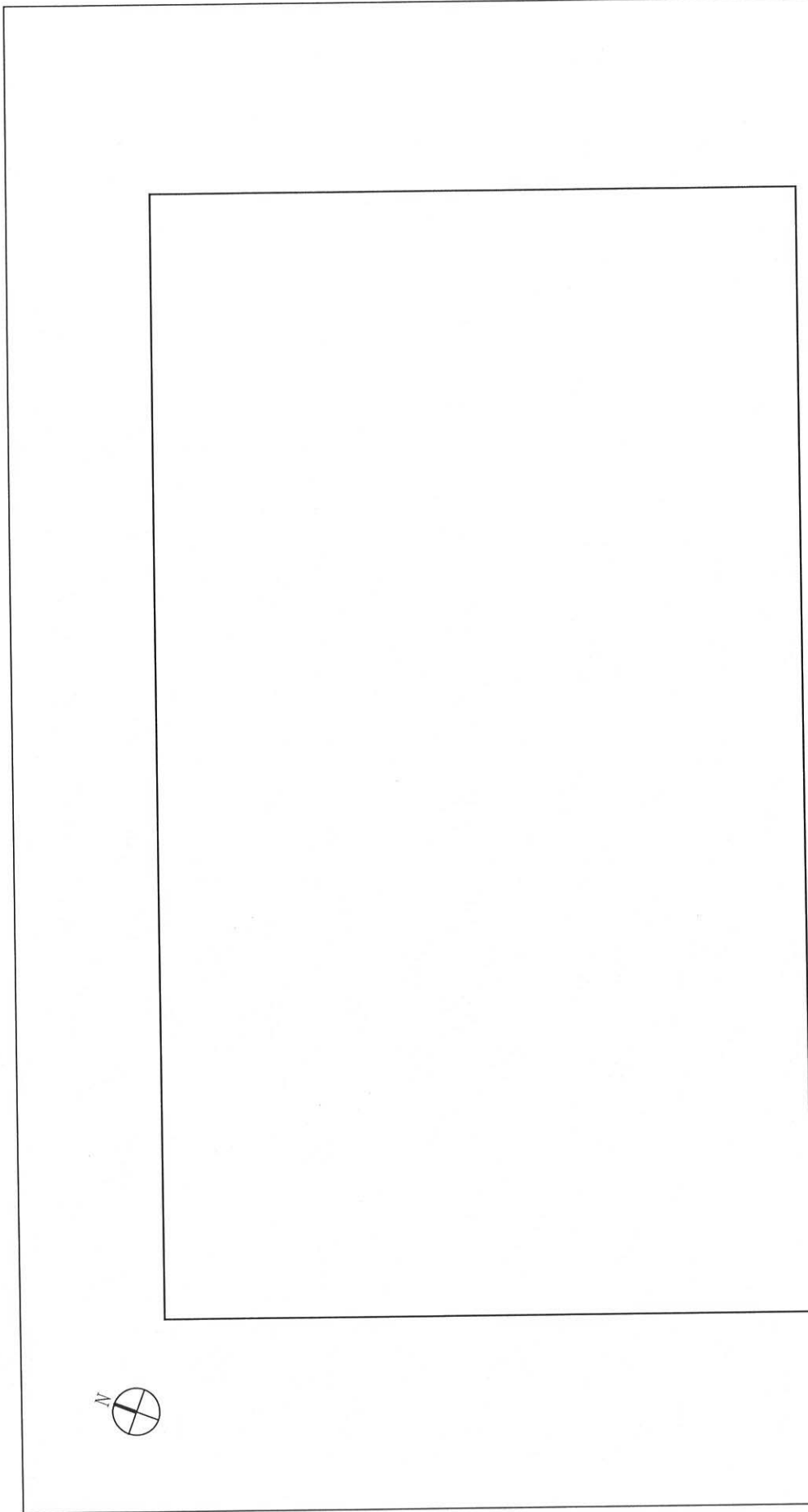


単位：mm

名称	付属建物 シリندانダ洗浄棟 遮蔽関係図 (1階平面)
図番	図イ遮-1 付属建物 シリندانダ洗浄棟

凡例

- : 遮蔽能力を期待する壁
- *1 : 遮蔽計算上の設計確認値は□(高さ□(設計確認値))
- *2 : 高さ□(設計確認値)



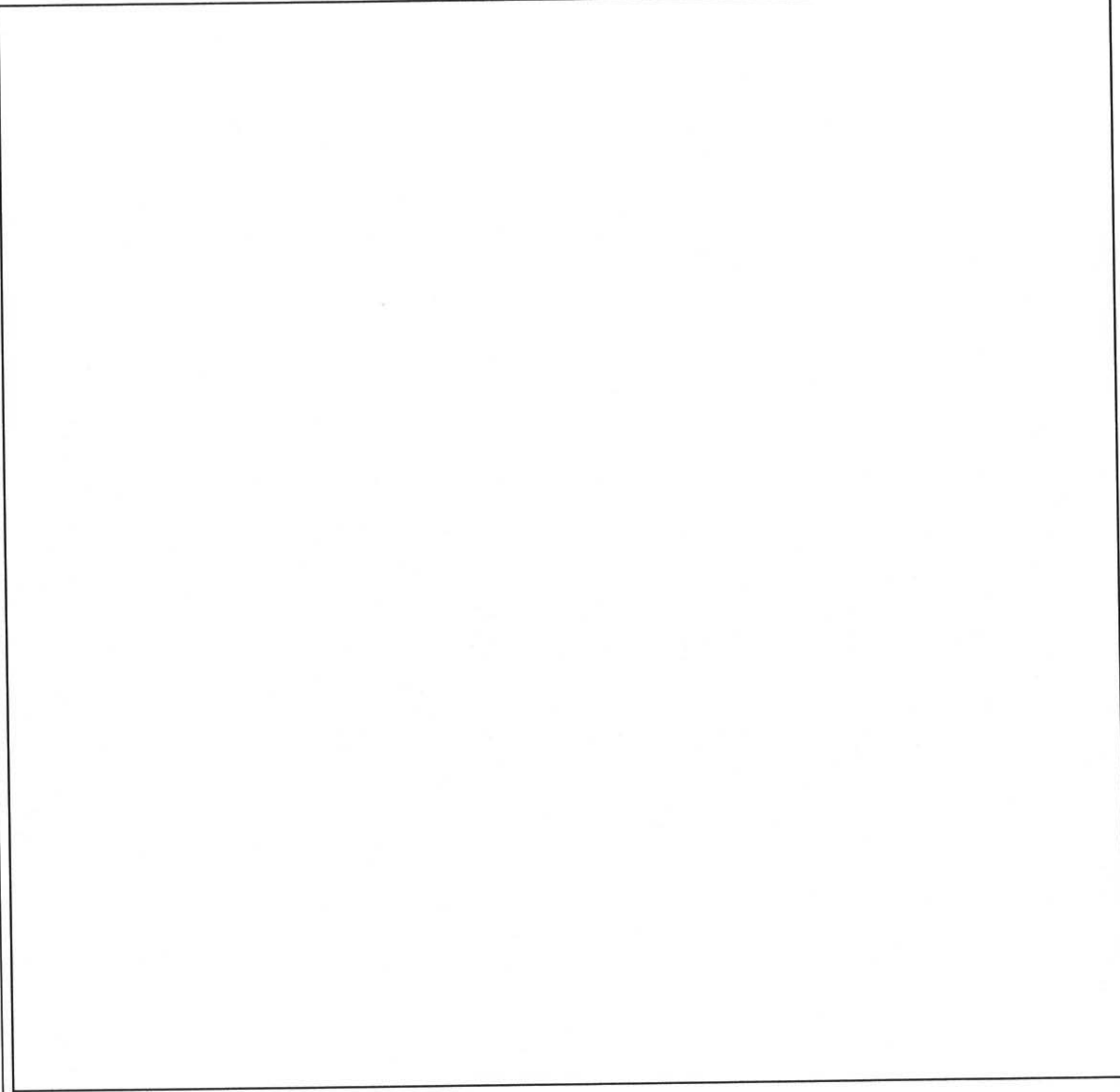
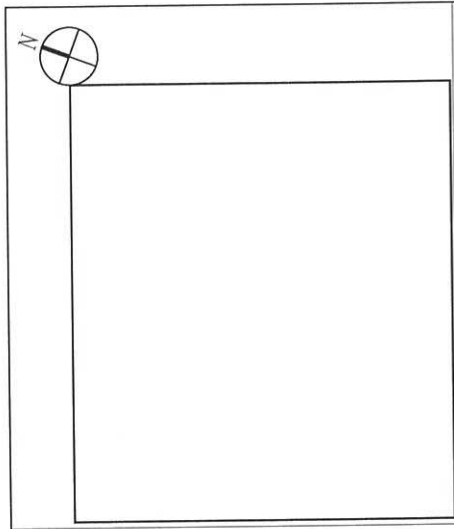
単位：mm

名称	付属建物 シリندانダ洗浄棟
図番	遮蔽関係図 (2階平面) 図イ遮-2
	付属建物 シリندانダ洗浄棟

凡例

— : 遮蔽能力を期待する壁

*1 : 高さ□ (設計確認値)



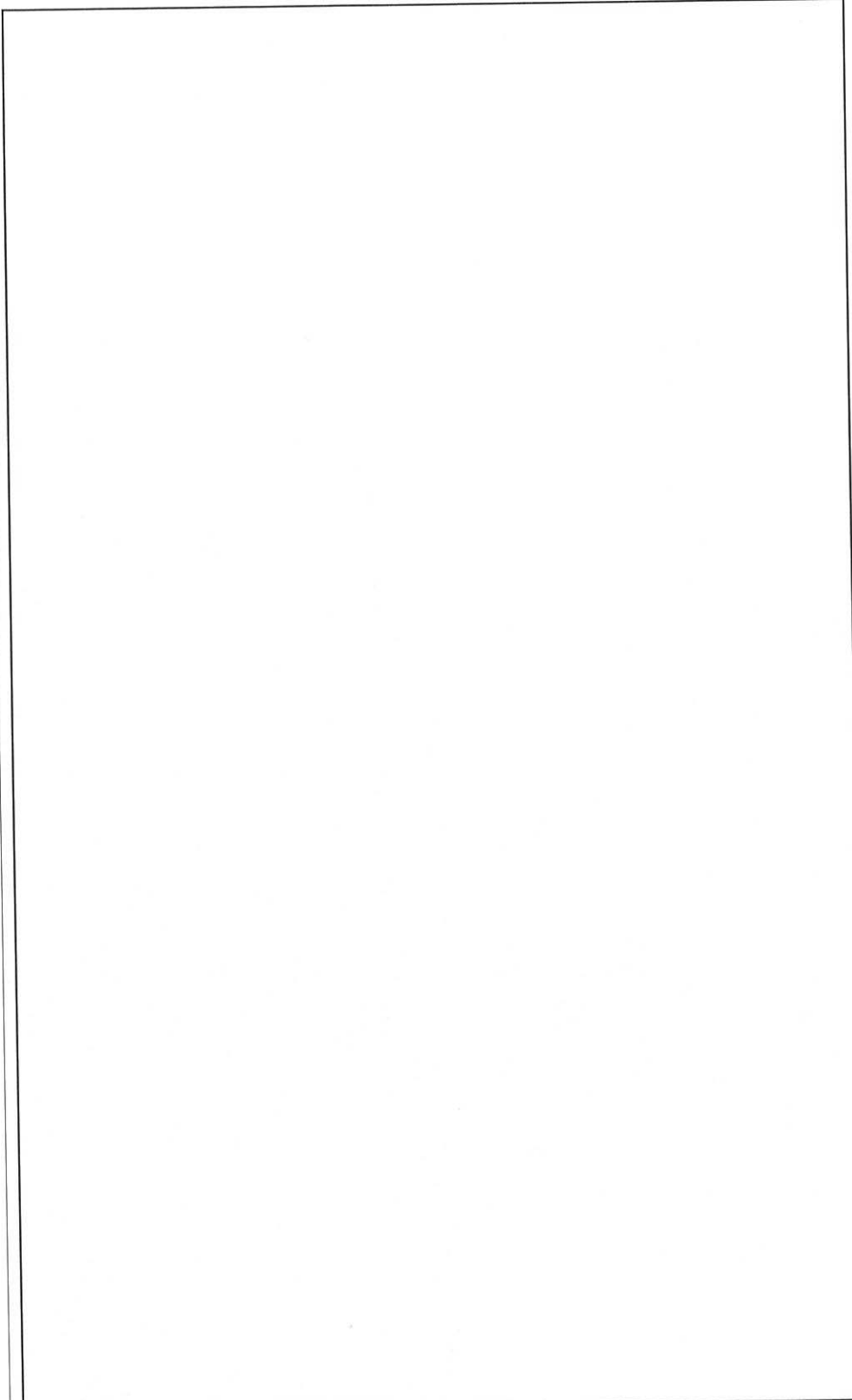
単位：mm

名称	付属建物 シリندانダ洗浄棟 遮蔽関係図(建物断面)
図番	図イ遮-3 付属建物 シリندانダ洗浄棟

凡例

— : 遮蔽能力を期待する床又は屋根 (鉄筋コンクリート)

B-B断面図



凡例

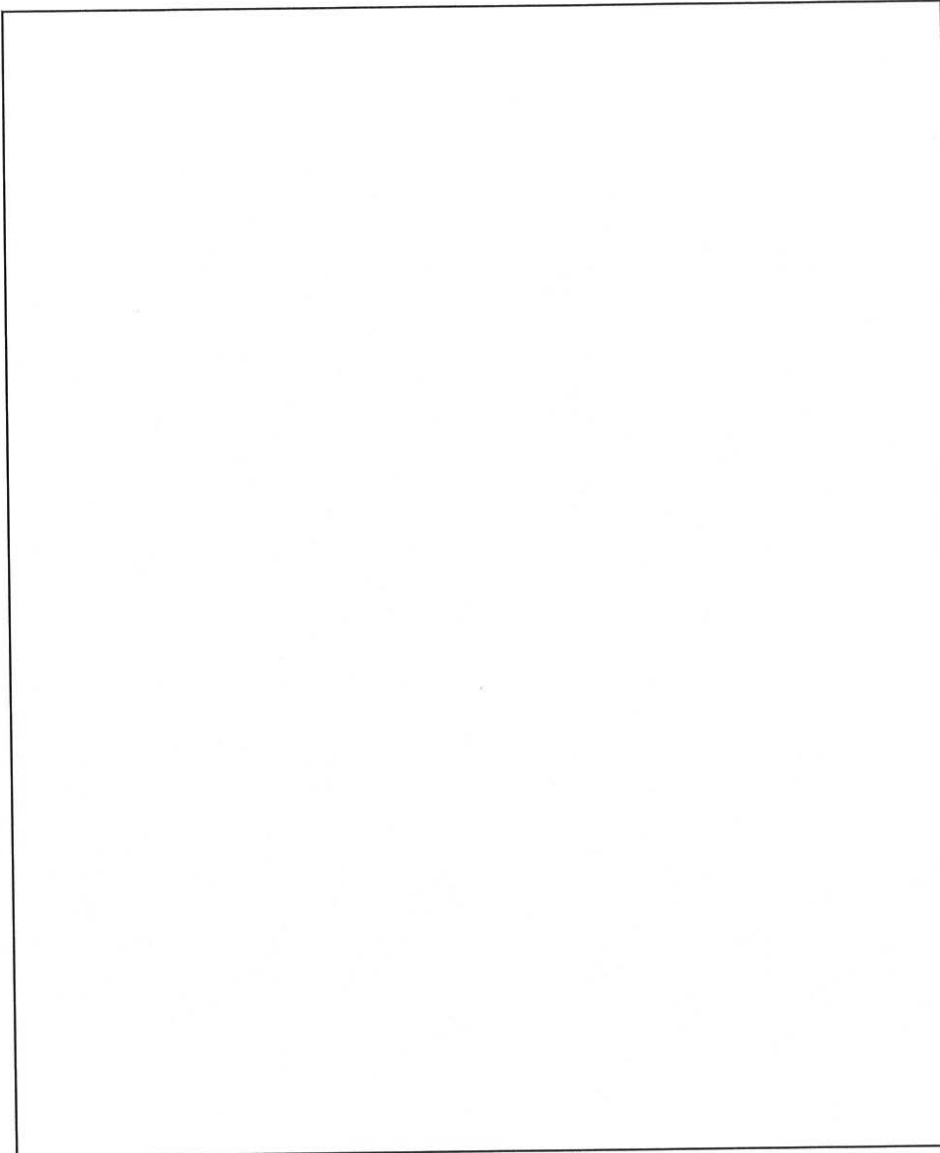
- [] : 設備・機器の準備工事範囲
(図中番号は表卜-8の設備名称冒頭記載番号を示す)
- [] : 設備・機器の一時仮置き場所(既認可分)

名称	工場棟 転換工場他 設備・機器準備工事範囲図
図番	図イ配準-1 工場棟 転換工場他



凡例

- : 設備・機器の準備工事範囲
(図中番号は表イ-5, 表へ-6, 表ト-8の設備名称冒頭記載の番号を示す)
- ▨ : 設備・機器の一時仮置き場所(準備工事に干渉しない場所に仮置き)



単位 : mm

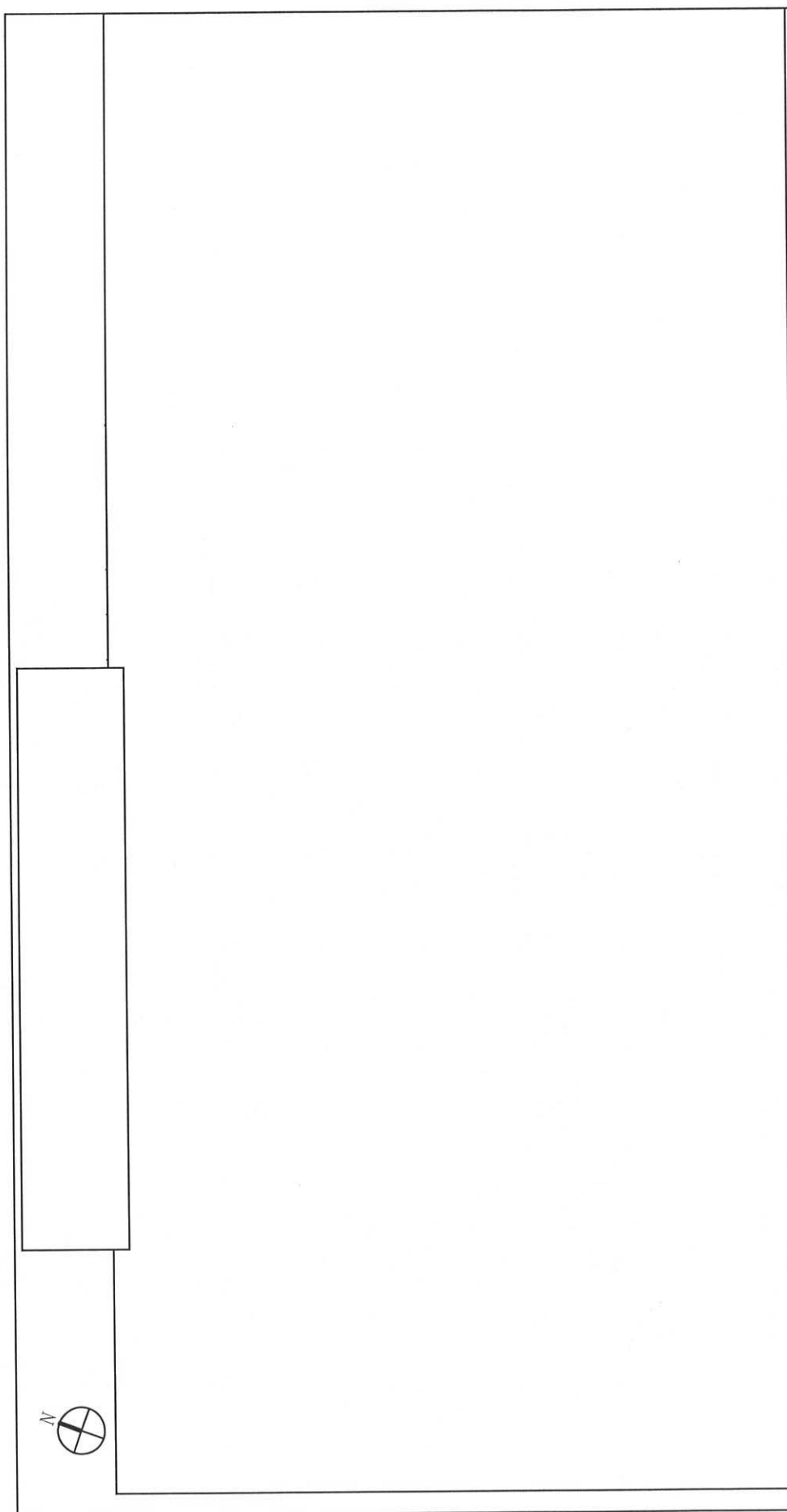
名称	付属建物 シリンドラ洗浄棟 設備・機器準備工事範囲図
図番	図イ配準-2 付属建物 シリンドラ洗浄棟

--	--

凡 例

[] : 設備・機器の準備工事範囲 (図中番号は表チ-1の設備名称冒頭記載の番号を示す)

名 称	加工棟 成型工場	
図 番	設備・機器準備工事範囲図 (1階)	加工棟 成型工場
	図ハ配準-1 (1/2)	

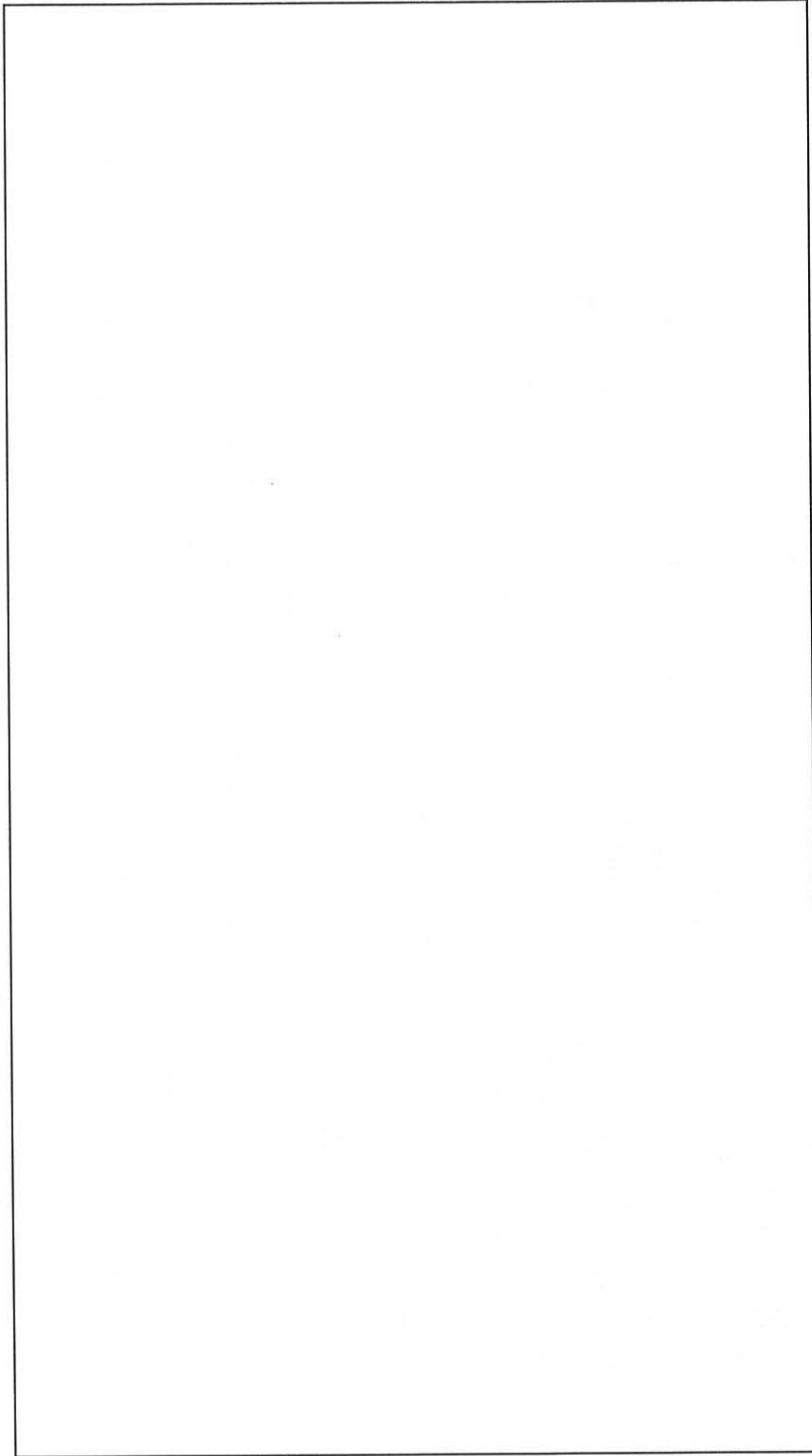


凡例

□ : 設備・機器の準備工事範囲 (図中番号は表子-1の設備名称冒頭記載の番号を示す)

▨ : 設備・機器の一時仮置き場所 (準備工事に干渉しない場所に仮置き)

名称	加工棟 成型工場	
図番	図ハ配準-1 (2/2)	加工棟 成型工場



注1) 図中の番号は工事番号を示す
注2) 竜巻対策のための工事を青字青囲いで示す
注3) 耐震のための工事で、竜巻対策にも効果があるものを赤字青囲いで示す

名称	付属建物 原料貯蔵所 補強箇所説明図
図番	図〜建一〇一 付属建物 原料貯蔵所

建物名称	工事番号及び工事名称	工事の方法	工事の主目的・影響評価					
			耐震	耐電巻	火災	航空機落下火災	遮蔽	臨界
原料貯蔵所	4-a. 東側外壁の壁新設補強	耐震性能向上を目的に、付属建物原料貯蔵所の東側外壁(10通り)に新たに杭を設置し、鉄筋コンクリート製の壁、柱及び梁を新設により補強する。	◎	○	○ (内外部)	—	—	—
	4-b. 西側外壁の壁新設補強	耐震性能向上を目的に、付属建物原料貯蔵所の西側外壁(1通り)に新たに鉄筋コンクリート製の壁、柱及び梁を新設により補強する。	◎	○	○ (内外部)	—	—	—
	4-c. 鉄扉新設	耐電巻性能向上を目的に、付属建物原料貯蔵所の既存シャッタを撤去し、鉄扉(SD-44)を新設する。	—	◎	○ (内外部)	—	—	—
	4-d. 鉄扉補強	耐電巻性能向上を目的に、付属建物原料貯蔵所の既存鉄扉(SD-42)を鉄扉補強材により補強する。	—	◎	○ (内外部)	—	—	—

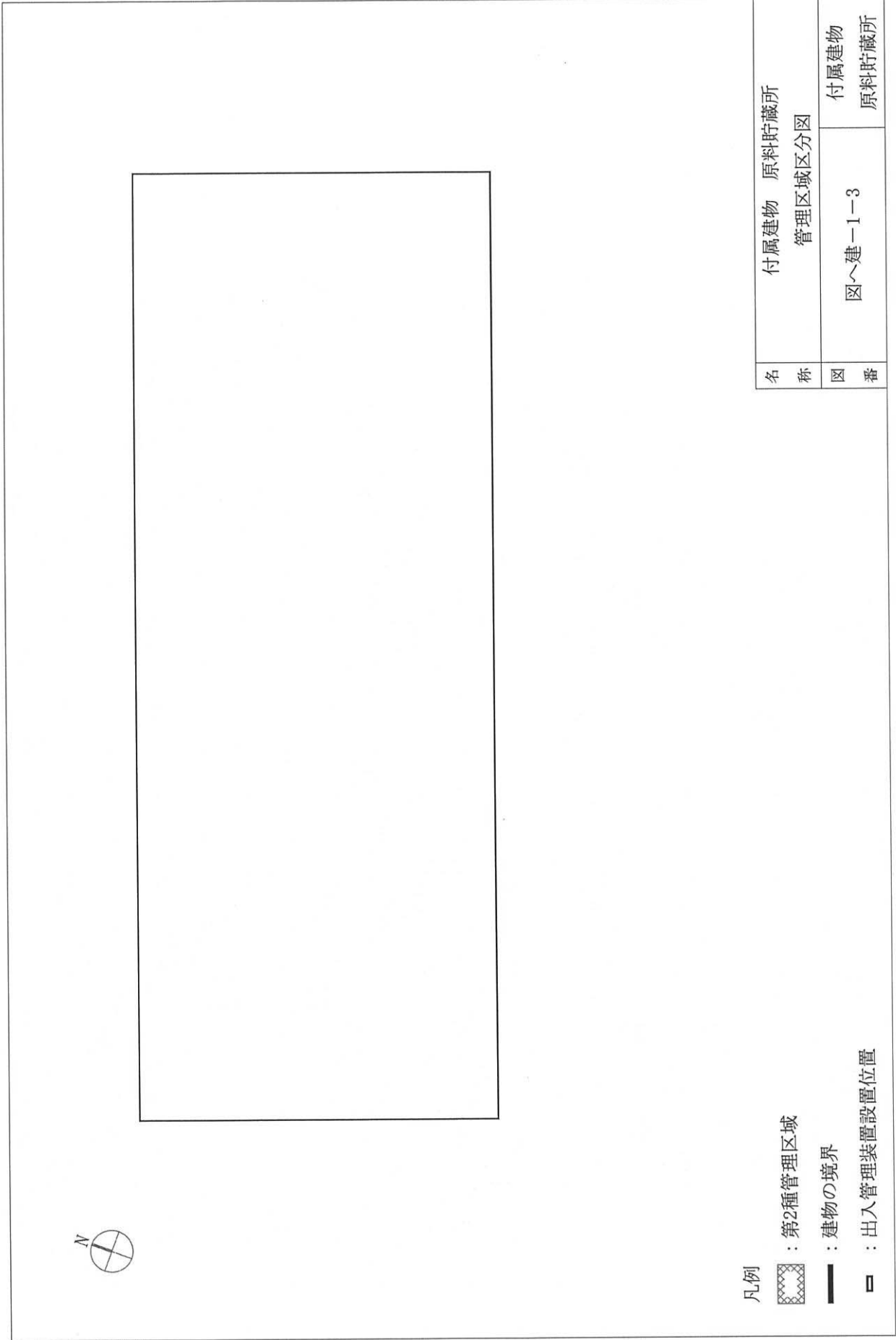
凡例

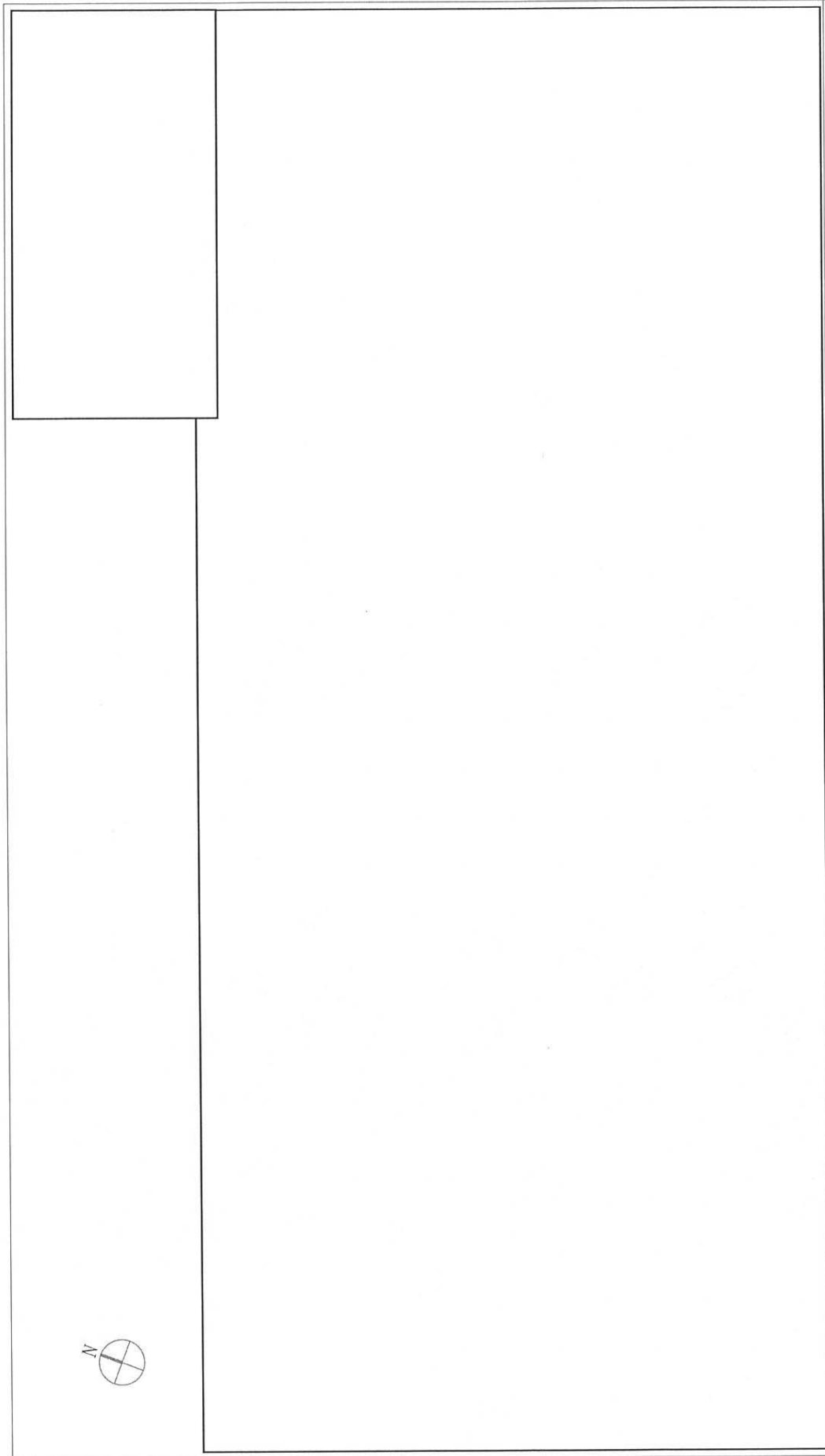
◎ : 工事の主目的

○ : 影響評価をしている項目

注) 耐震評価ではすべての補強の重量を考慮している

名称	付属建物 原料貯蔵所
図番	建物の補強工事と各影響評価との関係 図へ建-1-2 付属建物 原料貯蔵所





凡例

■■■■■ : 竜巻防護ライン

注1) SDは鉄扉を示す

注2) 竜巻防護ライン上の鉄扉はF3竜巻で耐える設計とする

名

付属建物 原料貯蔵所

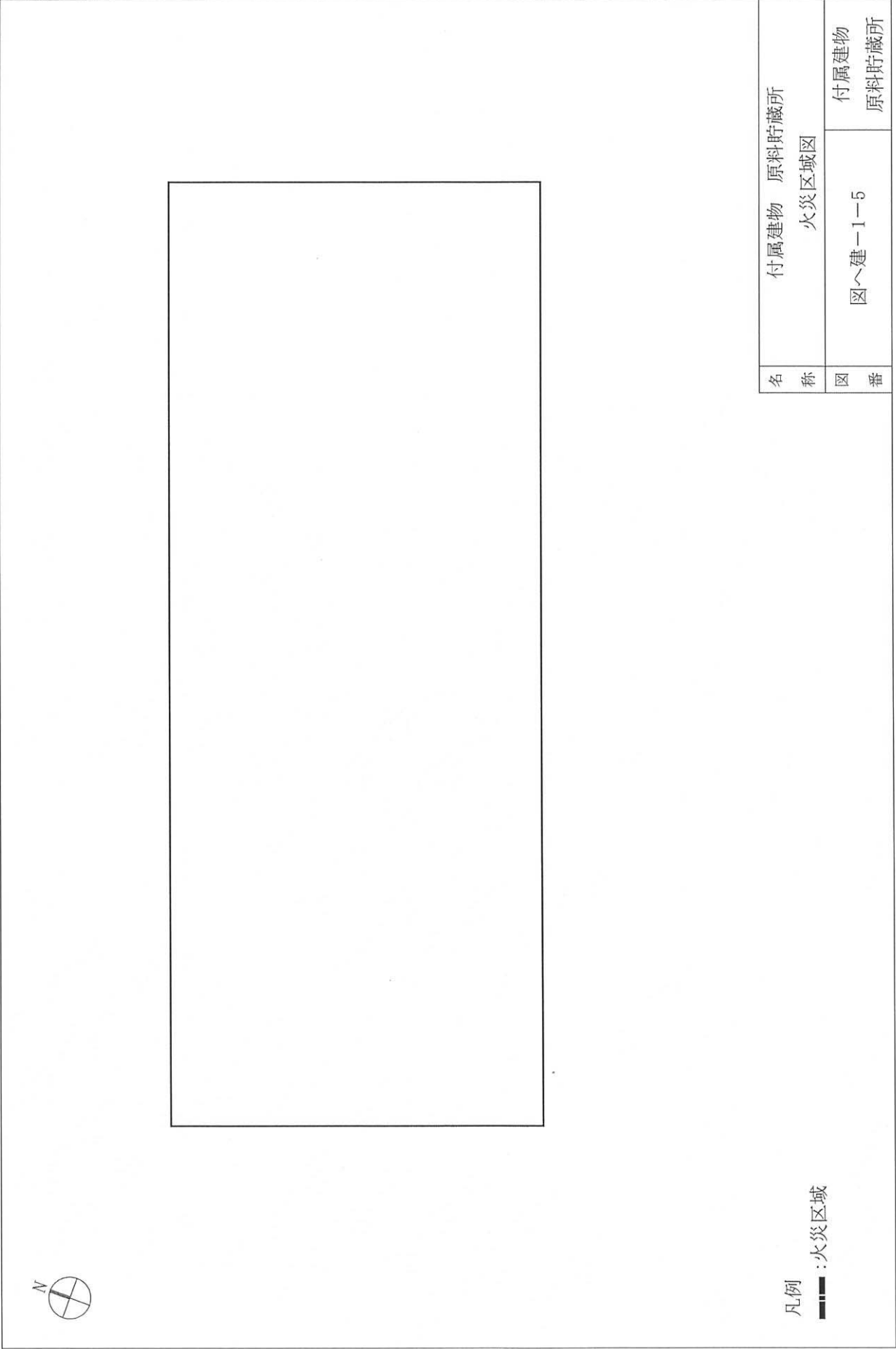
鉄扉配置、建具表、補強概要及び竜巻防護ライン

図番

図へ建-1-4

付属建物

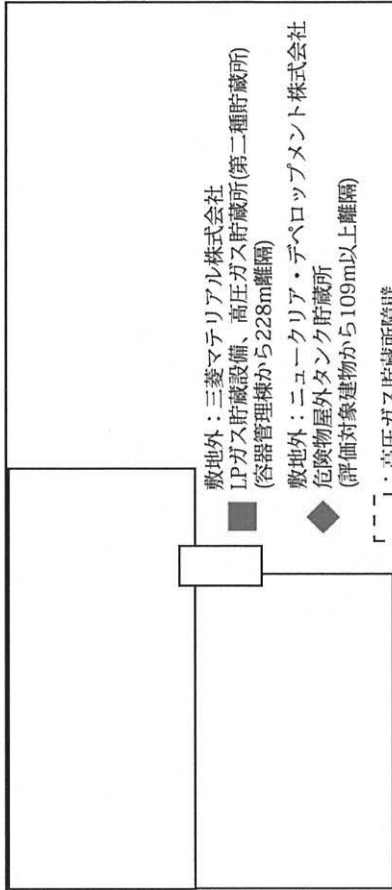
原料貯蔵所



建物名称 原料貯蔵所	区域 U	位置 東 西 南 北	厚さ(単位:mm、材質)	
			壁(主寸法)	屋根/天井
			床	

名称	付属建物 原料貯蔵所	
図番	図へ建-1-5-1	付属建物 原料貯蔵所

注1) ALC(軽量気泡コンクリート)、RC(コンクリート)、CB(コンクリートブロック)を示す
注2) 全ての鉄扉及びシヤッタは1.5mm以上の鋼板



敷地外：三菱マテリアル株式会社
 LPガス貯蔵設備、高圧ガス貯蔵所(第二種貯蔵所)
 (容器管理棟から228m離隔)

敷地外：ニュークリア・デベロップメント株式会社
 危険物屋外タンク貯蔵所
 (評価対象建物から109m以上離隔)

---: 高圧ガス貯蔵所障壁
 (車両が通過する箇所は鉄筋)

タンクローリーの経路及び火災評価時の場所(※1参照)

参照図面	経路	火災評価時の場所
(1) 図へ建-1-5-2(2/9)	-	危険物屋外タンク貯蔵所(1)
(2) -	-	危険物屋外タンク貯蔵所(2)
(3) 図へ建-1-5-2(3/9)	-	危険物屋外タンク貯蔵所(3)
(4) 図へ建-1-5-2(4/9)	-	高圧ガス建造物
(5) 図へ建-1-5-2(5/9)	A重油用タンクローリーの経路	A重油用タンクローリー(12kL以下)の火災評価時の場所
(6) 図へ建-1-5-2(6/9)	灯油用タンクローリーの経路	灯油用タンクローリー(4kL以下)の火災評価時の場所
(7) 図へ建-1-5-2(7/9)	液化アンモニアローリーの経路	液化アンモニアローリー(10t)の火災評価時の場所
(8) 図へ建-1-5-2(8/9)	LPガスローリーの経路	LPガスローリー(3t)の火災評価時の場所
(9) 図へ建-1-5-2(9/9)	-	タンクローリー

名称	付属建物 原料貯蔵所	
図番	外部火災、爆発の影響評価(1)	付属建物 原料貯蔵所
	図へ建-1-5-2(1/9)	

(1) 危険物屋外タンク貯蔵所(1) 油種名：A重油

⑤	対象建物 原料貯蔵所	距離(m)	評価対象		評価対象部位
			壁厚(mm)		

注) 対象物と建物の位置関係は図へ建-1-5-2(1/9)参照

名称	付属建物 原料貯蔵所 外部火災、爆発の影響評価(2)
図番	図へ建-1-5-2(2/9) 付属建物 原料貯蔵所

(3) 危険物屋外タンク貯蔵所 (3) 油種名：灯油

対象建物	距離 (m)	評価対象	壁厚 (mm)	評価対象部位
⑤ 原料貯蔵所				—

注) 対象物と建物の位置関係は図へ建-1-5-2(1/9)参照

名称	付属建物 原料貯蔵所 外部火災、爆発の影響評価 (3)
図番	付属建物 図へ建-1-5-2(3/9) 原料貯蔵所

(4) 高压ガス製造所 油種名：液化アンモニア

対象建物	距離(m)	評価対象	壁厚(mm)	評価対象部位
⑤ 原料貯蔵所				—

注) 対象物と建物の位置関係は図へ建-1-5-2(1/9)参照

名称	付属建物 原料貯蔵所	
図番	外部火災、爆発の影響評価(4) 図へ建-1-5-2(4/9)	付属建物 原料貯蔵所

(5) A重油用タンクローリー 油種名：A重油

対象建物	距離(m)	評価対象	壁厚(mm)	評価対象部位
⑤ 原料貯蔵所				—

注) 対象物と建物の位置関係は図へ建-1-5-2(1/9)参照

名称	付属建物 原料貯蔵所
図番	外部火災、爆発の影響評価(5) 図へ建-1-5-2(5/9) 付属建物 原料貯蔵所

(6) 灯油用タンクローリ 油種名：灯油

対象建物	距離(m)	評価対象	壁厚(mm)	評価対象部位
⑤ 原料貯蔵所				—

注) 対象物と建物の位置関係は図へ建-1-5-2(1/9)参照

名称	付属建物 原料貯蔵所 外部火災、爆発の影響評価(6)
図番	図へ建-1-5-2(6/9) 付属建物 原料貯蔵所

(7) 液化アンモニアローリ 油種名：液化アンモニア

対象建物	距離(m)	評価対象	壁厚(mm)	評価対象部位
⑤ 原料貯蔵所				—

注) 対象物と建物の位置関係は図へ建-1-5-2(1/9)参照

名称	付属建物 原料貯蔵所	
図番	外部火災、爆発の影響評価(7) 図へ建-1-5-2(7/9)	付属建物 原料貯蔵所

(8)LPガスローリ 油種名：液化プロパンガス

対象建物	距離(m)	評価対象	壁厚(mm)	評価対象部位
⑤ 原料貯蔵所				—

注) 対象物と建物の位置関係は図へ建-1-5-2(1/9)参照

名称	付属建物 原料貯蔵所
図番	外部火災、爆発の影響評価(8) 図へ建-1-5-2(8/9) 付属建物 原料貯蔵所

(9) タンクローリ 油種名：ガソリン、液化プロパンガス、液化天然ガス

対象建物	距離 (m)	評価対象	壁厚 (mm)	評価対象部位
⑤ 原料貯蔵所				—

注) 対象物と建物の位置関係は図へ建-1-5-2(1/9) 参照

名称	付属建物 原料貯蔵所	
図番	外部火災、爆発の影響評価 (9)	付属建物 原料貯蔵所
	図へ建-1-5-2(9/9)	

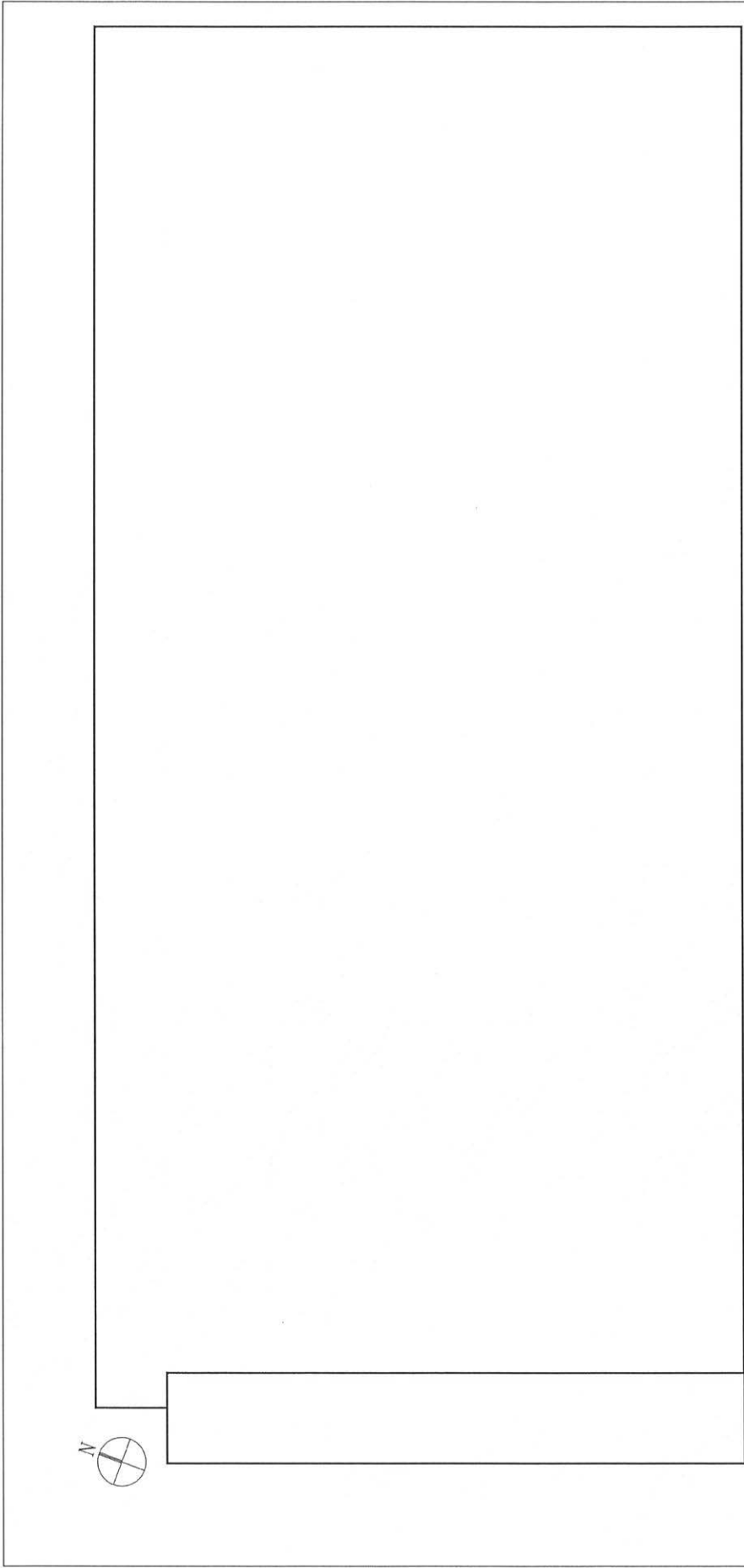
主要な 構造材	柱, 梁
	屋根, 壁



単位：mm

*1：F1竜巻で損傷しない、且つF3竜巻で耐える
 *2：上部ガイド部は次回以降申請

名称	付属建物 原料貯蔵所 平面図
図番	図へ建-1-6 付属建物 原料貯蔵所

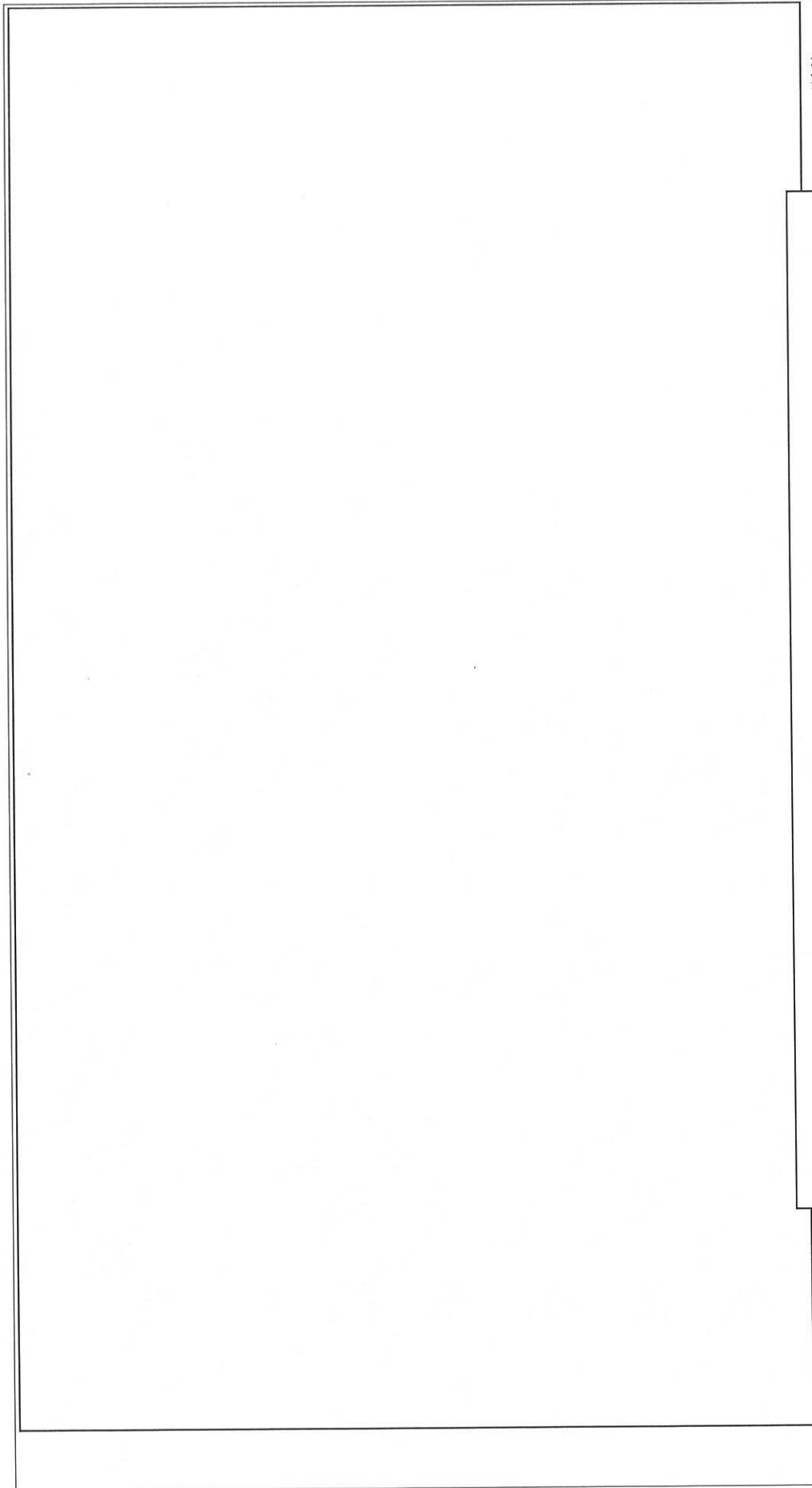


単位：mm

名称	付属建物 原料貯蔵所
図番	図へ建-1-7
	付属建物 原料貯蔵所

凡例
— : 勾配

注) 屋根には防水層を設置



単位：mm

南側立面図

付属建物 原料貯蔵所

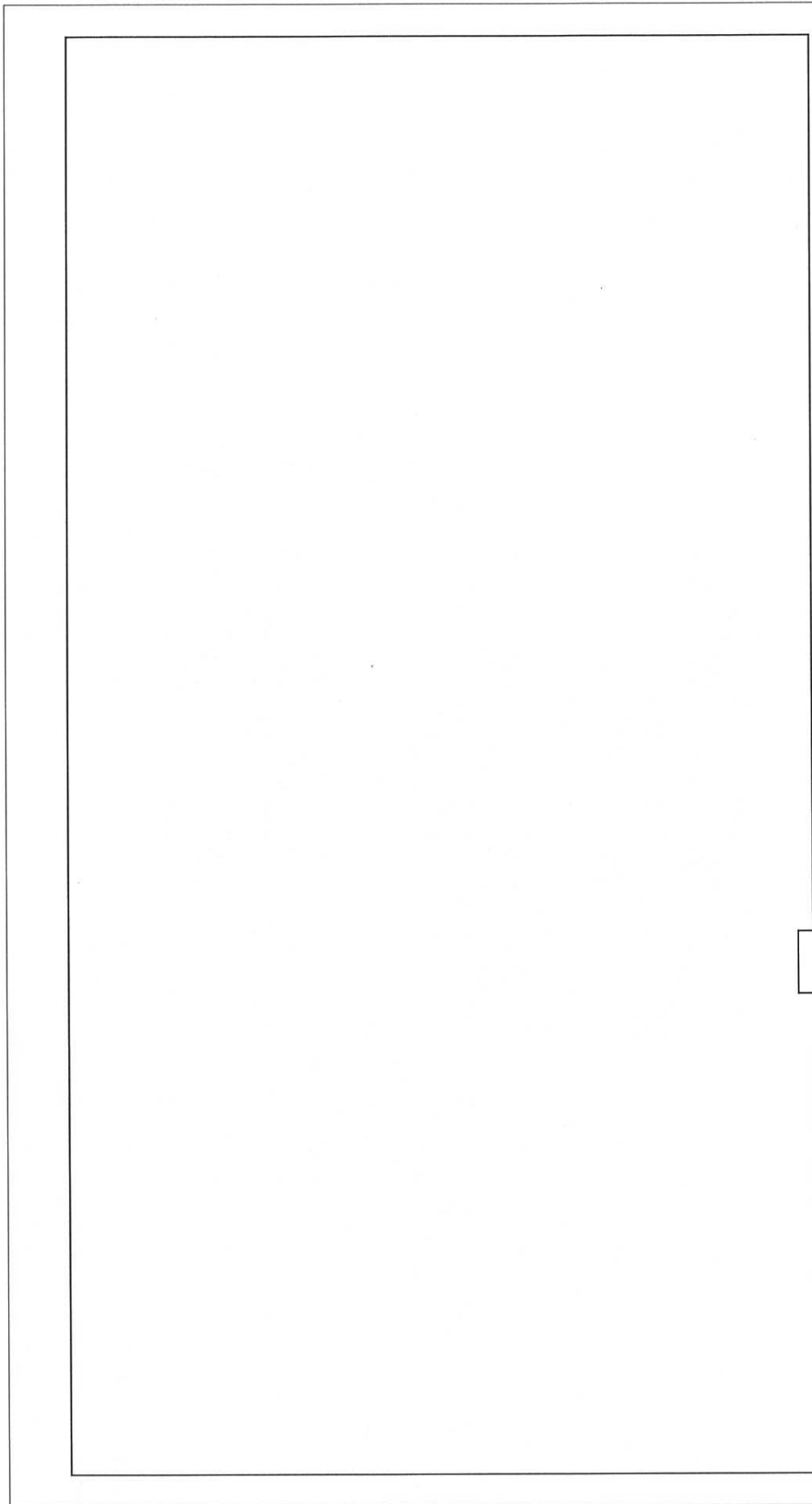
立面図

名称

付属建物
原料貯蔵所

図番
建-1-8

注) SDは鉄扉を示す



单位：mm

付属建物 原料貯蔵所

断面図

付属建物

原料貯蔵所

名称





図番

図へ建-1-9

凡例
— 4 — : 勾配



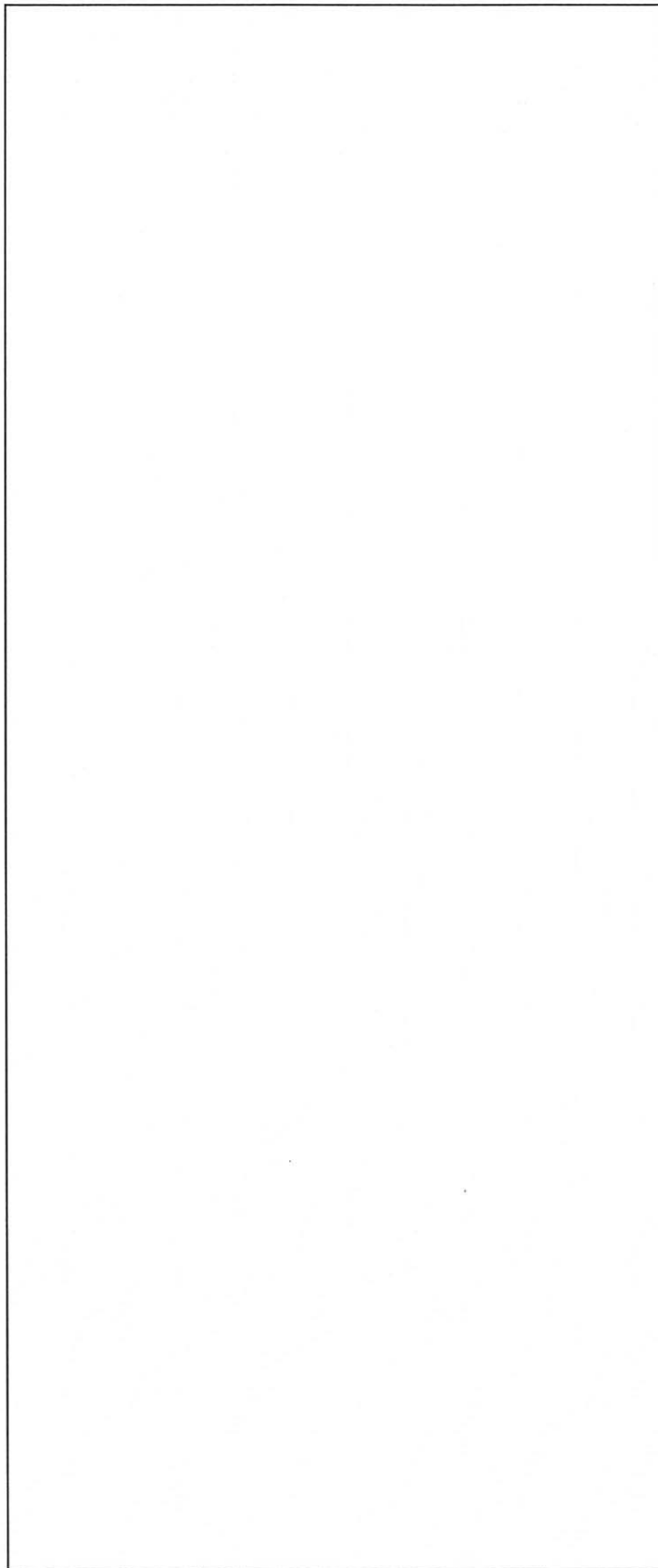
凡例

- : 既設杭 ()
-  : 西側外壁の壁新設補強
-  : 東側外壁の壁新設補強
- 新設基礎 : NF1
- 新設杭 : NP1 ()

注) 補強箇所を赤字で示す

単位 : mm

名称	付属建物 原料貯蔵所
図番	基礎伏図 図へ建-1-10 付属建物 原料貯蔵所



単位：mm

凡例

開口部



西側外壁の壁新設補強



新設大梁：NG1



東側外壁の壁新設補強

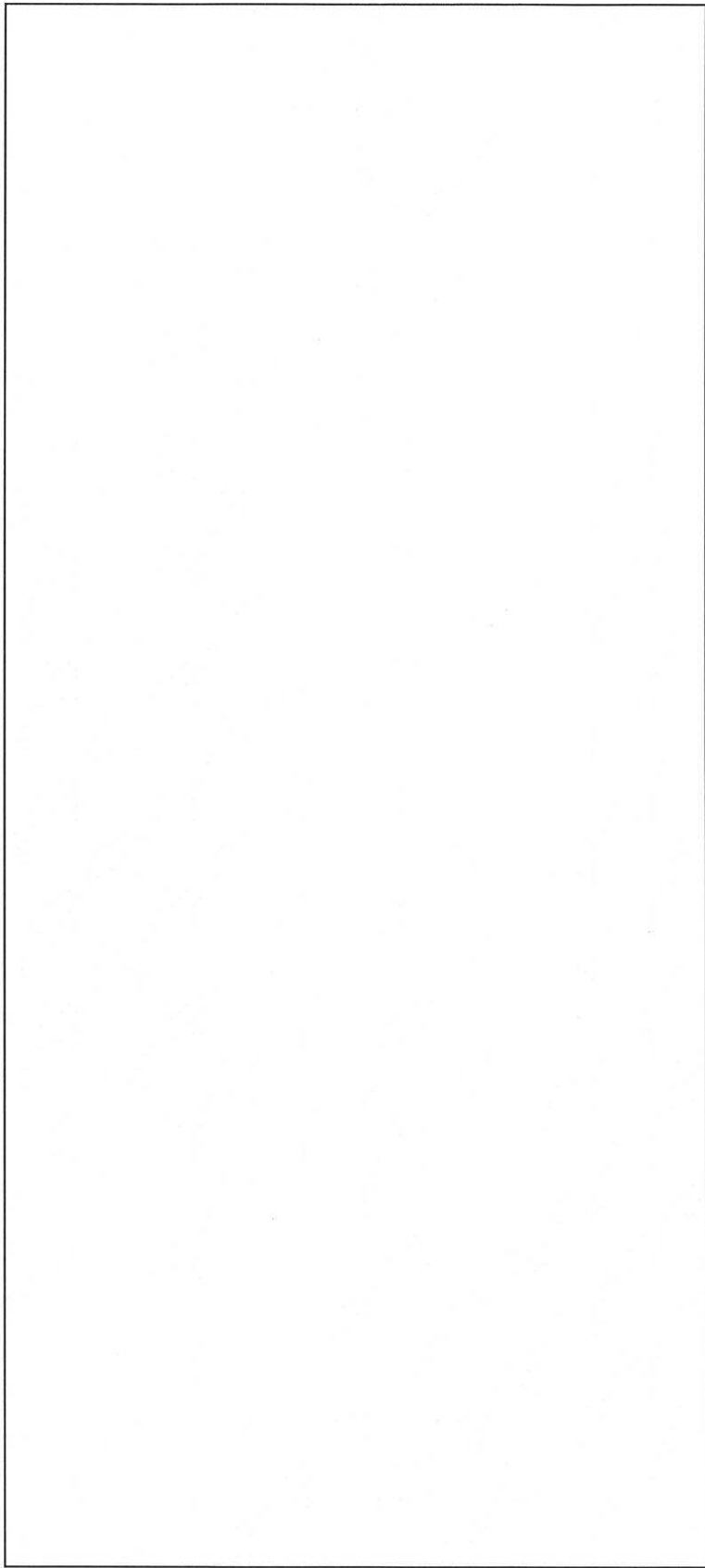
名称
図番

付属建物 原料貯蔵所
クレーン梁伏図

図へ建-1-11

付属建物
原料貯蔵所

注) 補強箇所を赤字で示す




単位：mm

凡例

 : 西側外壁の壁新設補強

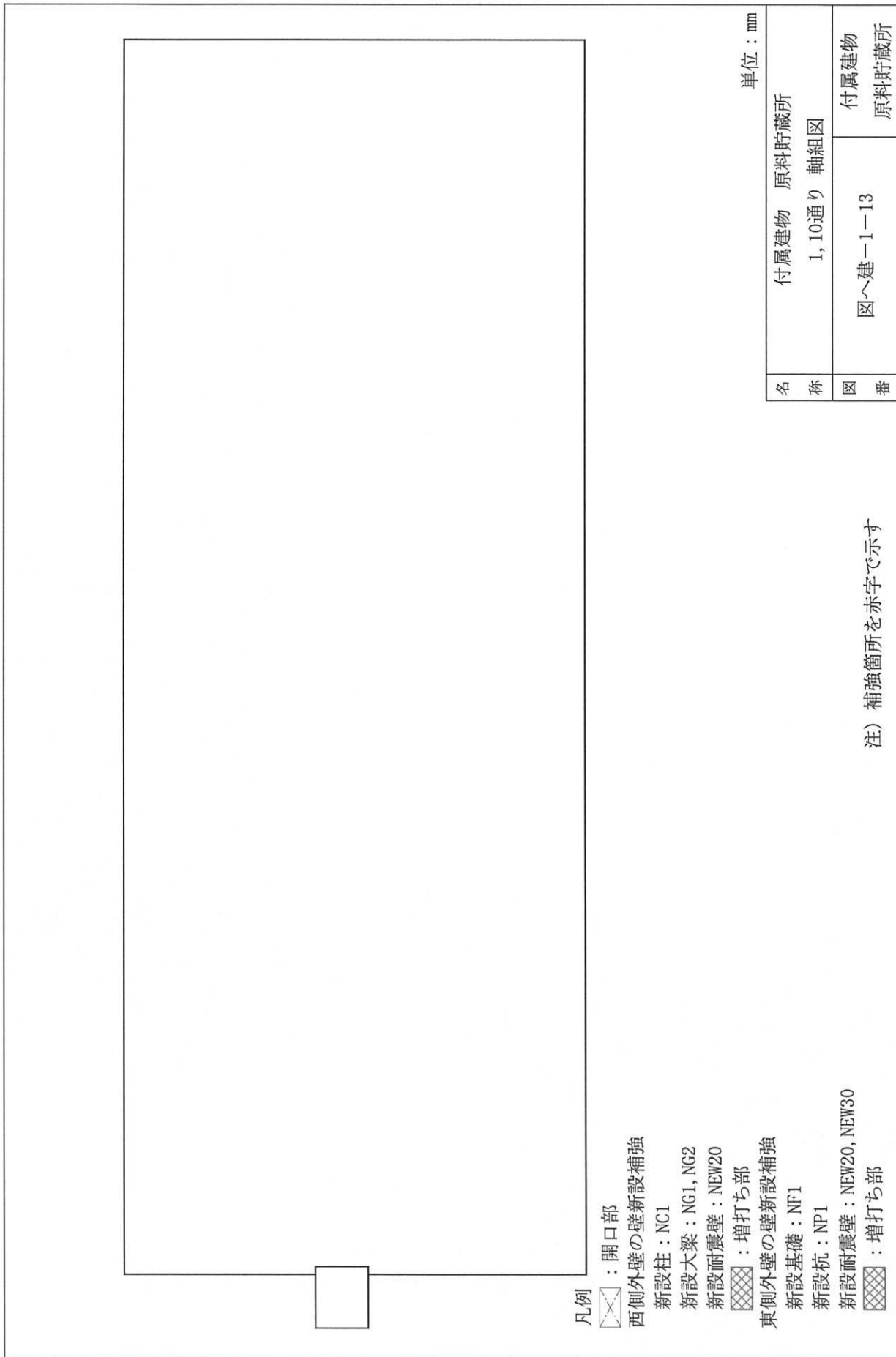
新設大梁：NG2

 : 東側外壁の壁新設補強

名称	付属建物 原料貯蔵所
図番	R階 梁伏図 図へ建-1-12

注) 補強箇所を赤字で示す

付属建物
原料貯蔵所



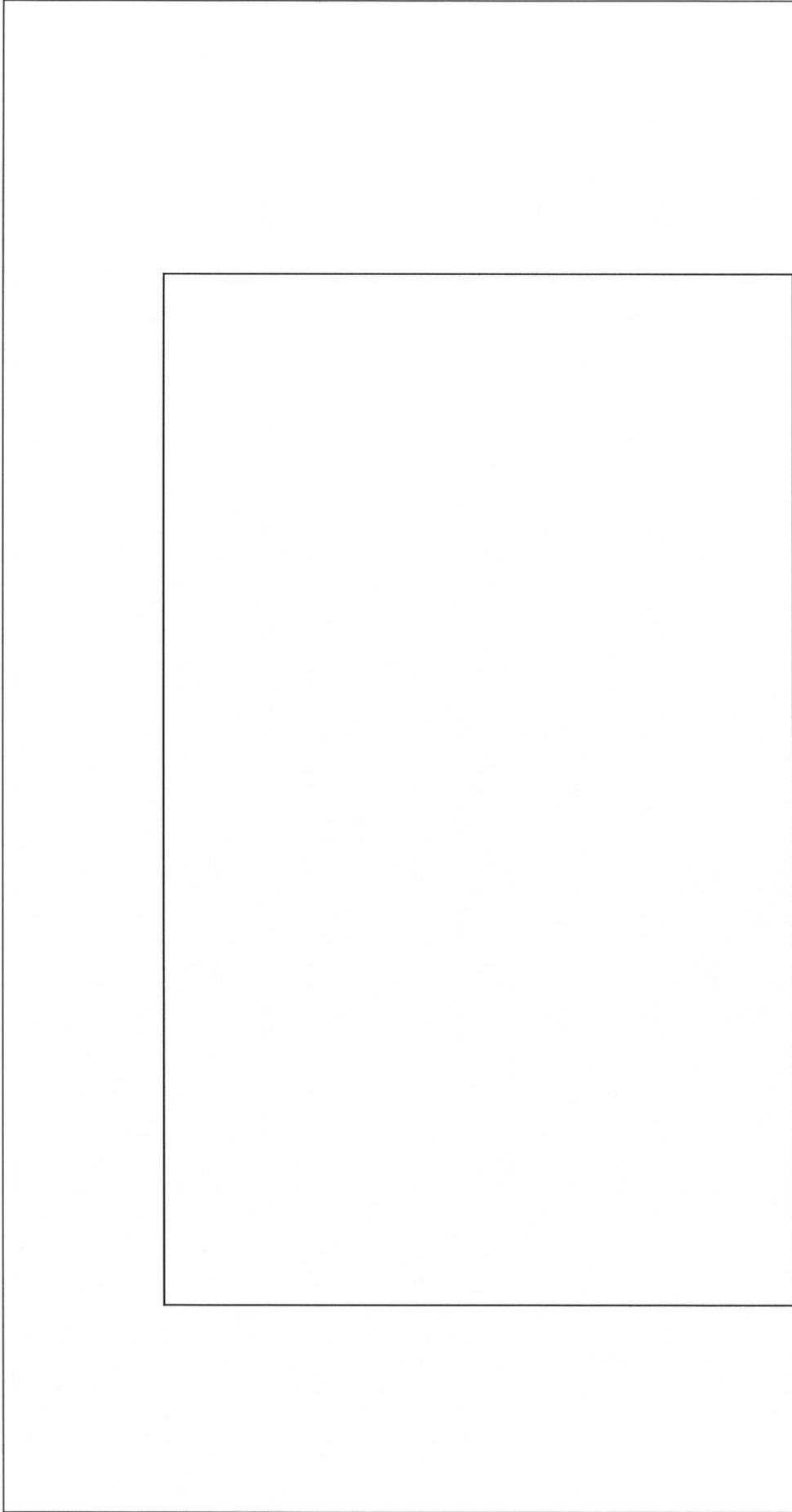
凡例

- ☒ : 開口部
- 西側外壁の壁新設補強
- 新設柱 : NC1
- 新設大梁 : NG1, NG2
- 新設耐震壁 : NEW20
- ☒ : 増打ち部
- 東側外壁の壁新設補強
- 新設基礎 : NF1
- 新設杭 : NP1
- 新設耐震壁 : NEW20, NEW30
- ☒ : 増打ち部

単位 : mm

名称	付属建物 原料貯蔵所
図番	1, 10通り 軸組図 図へ建-1-13 付属建物 原料貯蔵所

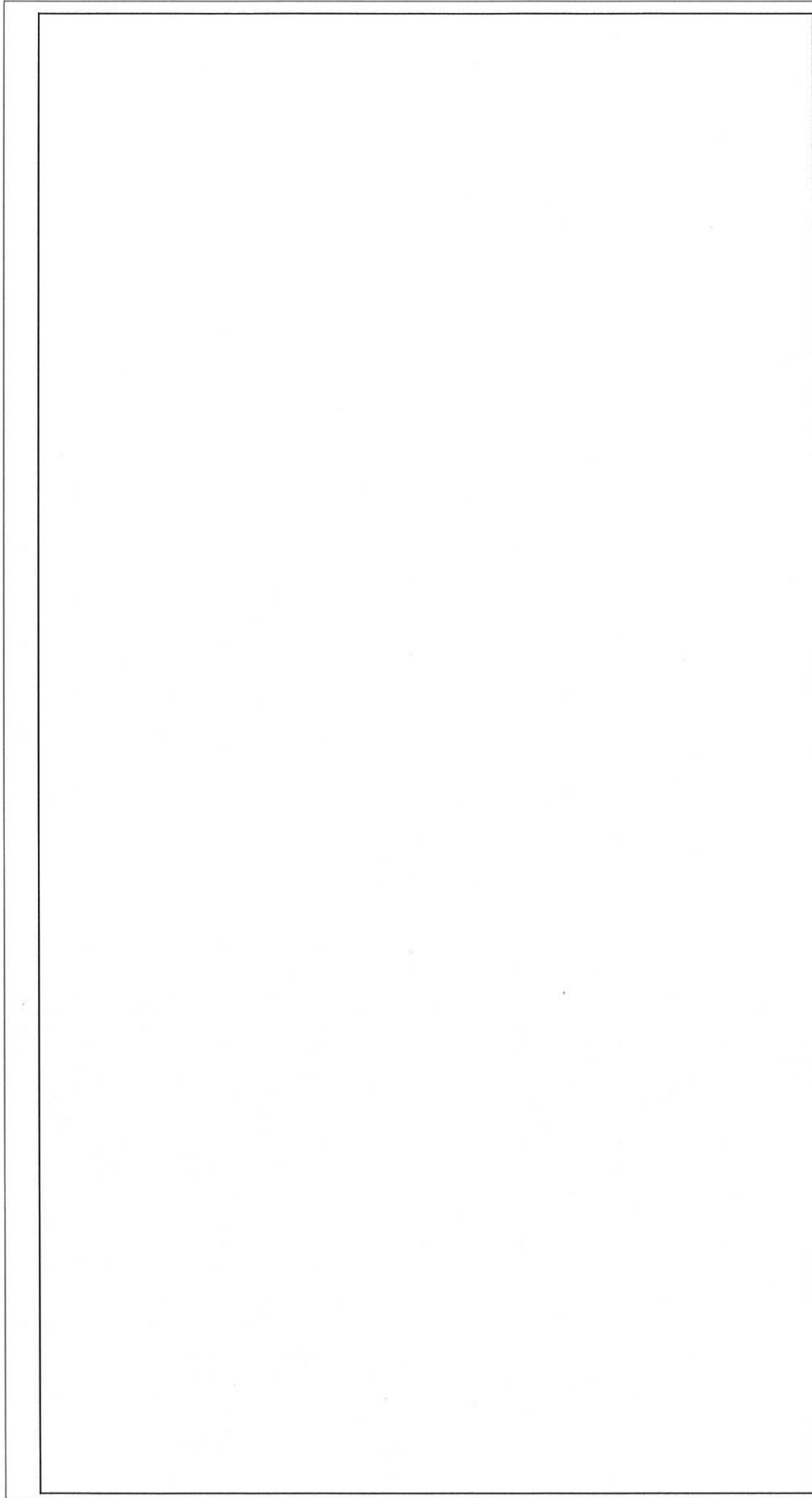
注) 補強箇所を赤字で示す



単位：mm

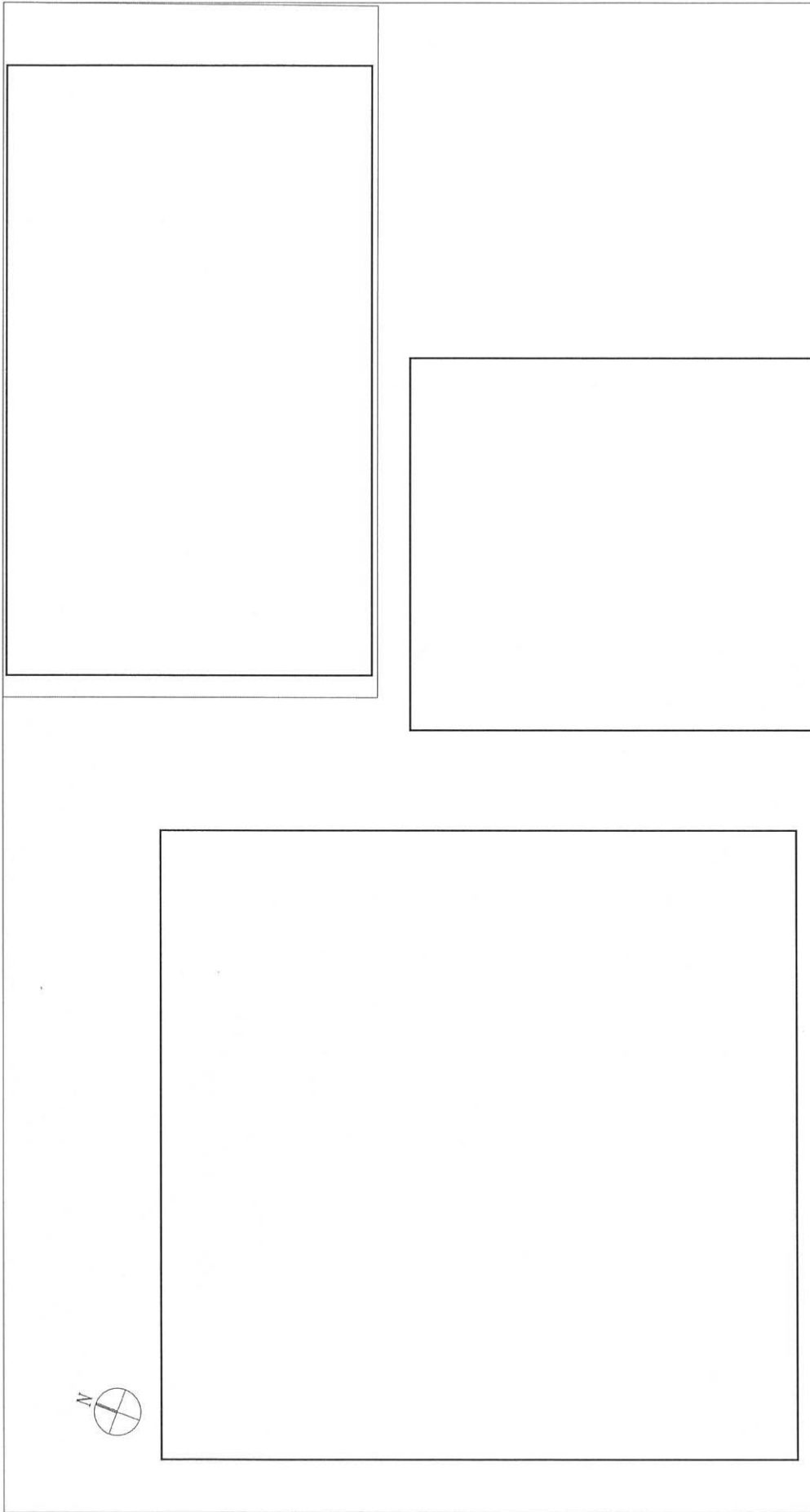
名称	付属建物 原料貯蔵所 補強詳細図
図番	図へ建-1-14 付属建物 原料貯蔵所

- 注1) 補強箇所を赤字で示す
- 注2) 鉄筋及びアンカー材質 D16以下：□、D19以上：□
- 注3) @は鉄筋のピッチを示す




単位：mm

名称	付属建物 原料貯蔵所 シリンドラ貯蔵ピット詳細図
図番	図へ建-1-15 付属建物 原料貯蔵所



凡例

 : 地盤改良

注1) 鉄筋材質 D16以下: , D19以上:

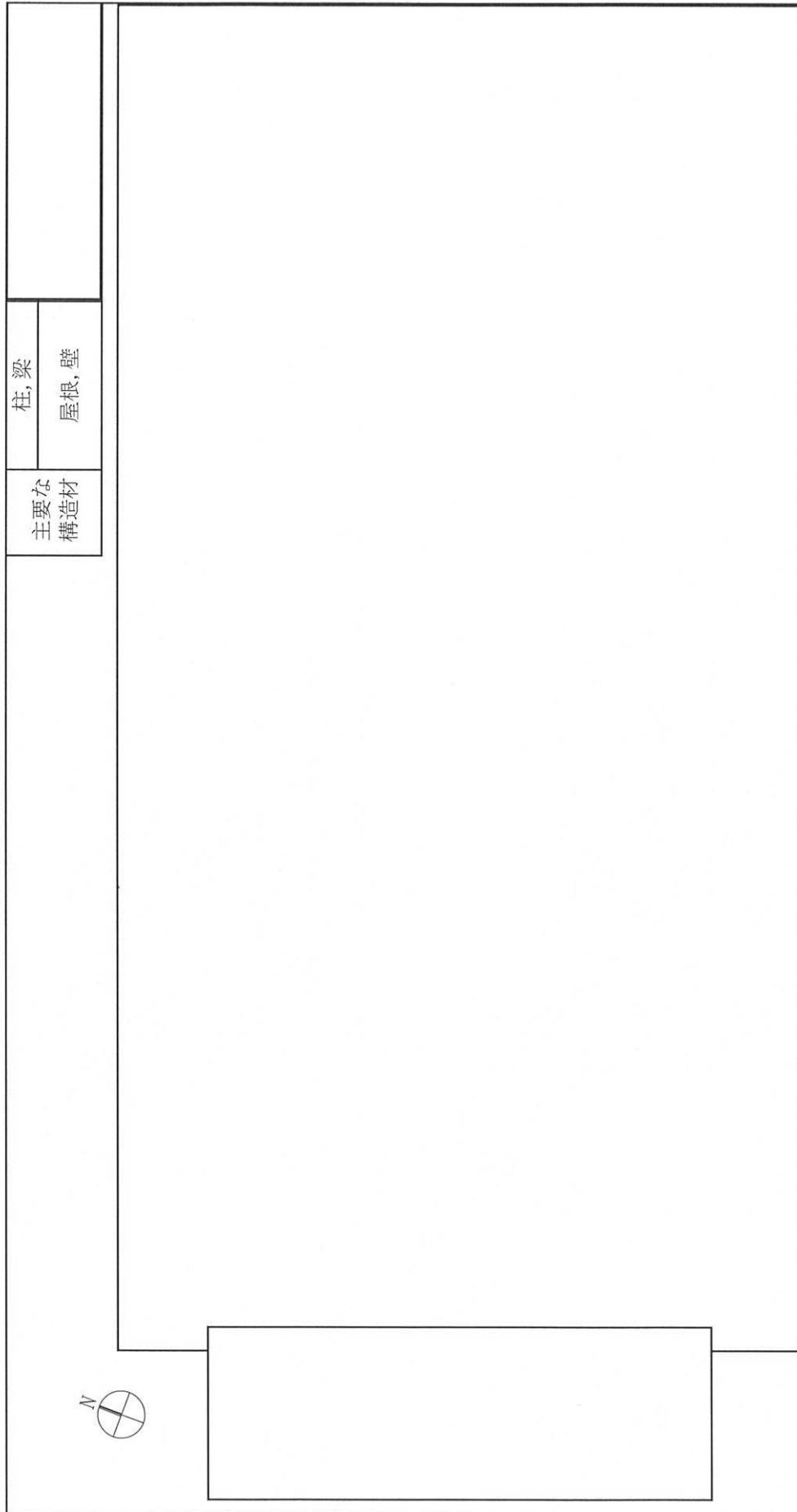
注2) @は鉄筋のピッチを示す

注3) 地盤改良範囲は基礎から外側に100mm、深さ1000mmの範囲とする
また、載荷試験を行い長期地耐力80kN/m²あることを確認する

* 仕上げ厚さ (t=) を含む

単位: mm

名称	付属建物 容器管理棟 独立遮蔽壁 (5)
図番	基礎伏図及び断面図 付属建物 容器管理棟 独立遮蔽壁 (5) 図へ建-2

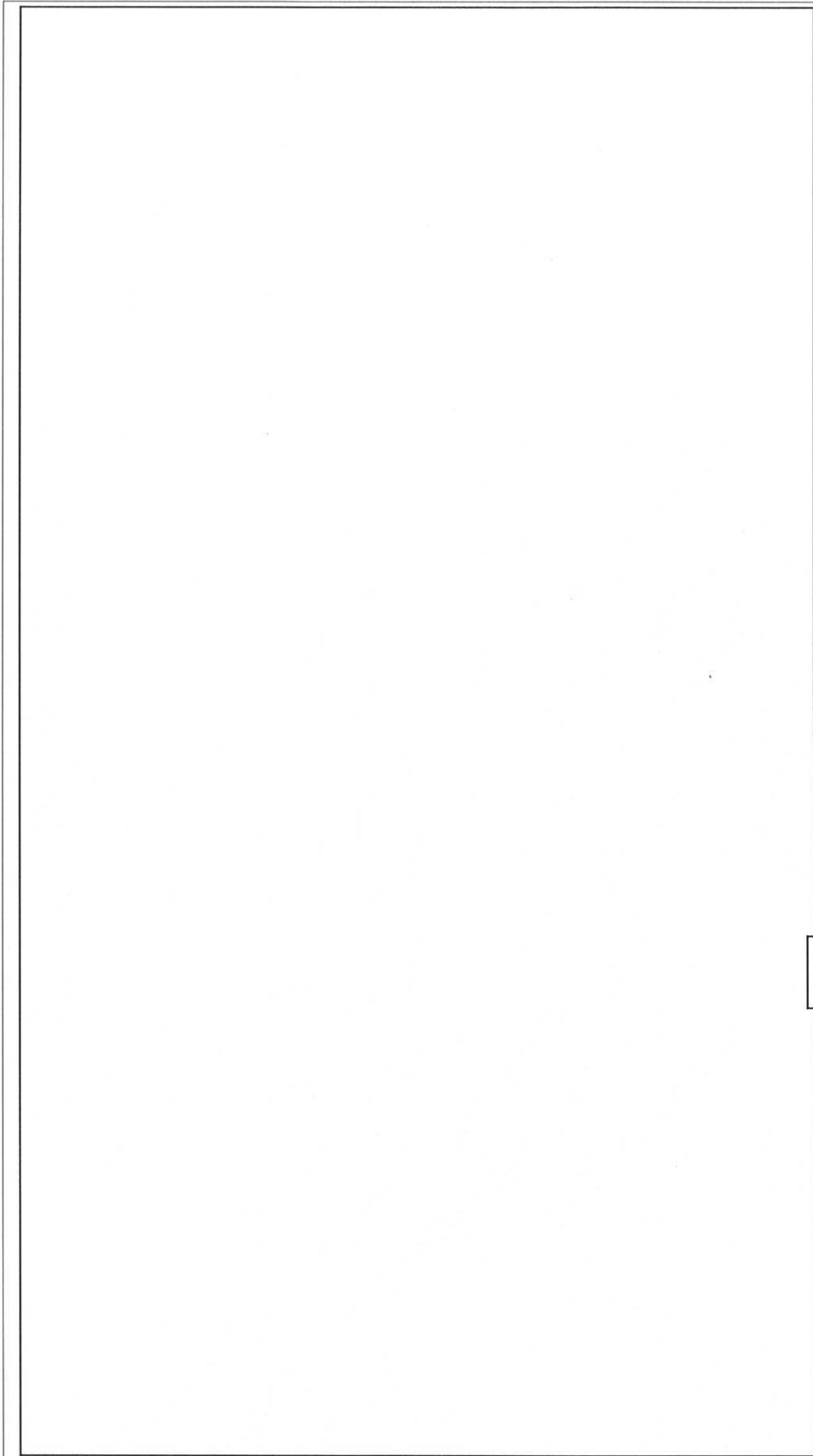


凡例

- : 遮蔽能力を期待する壁
- *1 : 遮蔽計算上の設計確認値は□(高さ□(設計確認値))
- *2 : 鉄筋コンクリート壁とプレキャストコンクリートパネルの2重壁

単位 : mm

名称	付属建物 原料貯蔵所
図番	遮蔽関係図(建物平面) 図へ遮-1
	付属建物 原料貯蔵所



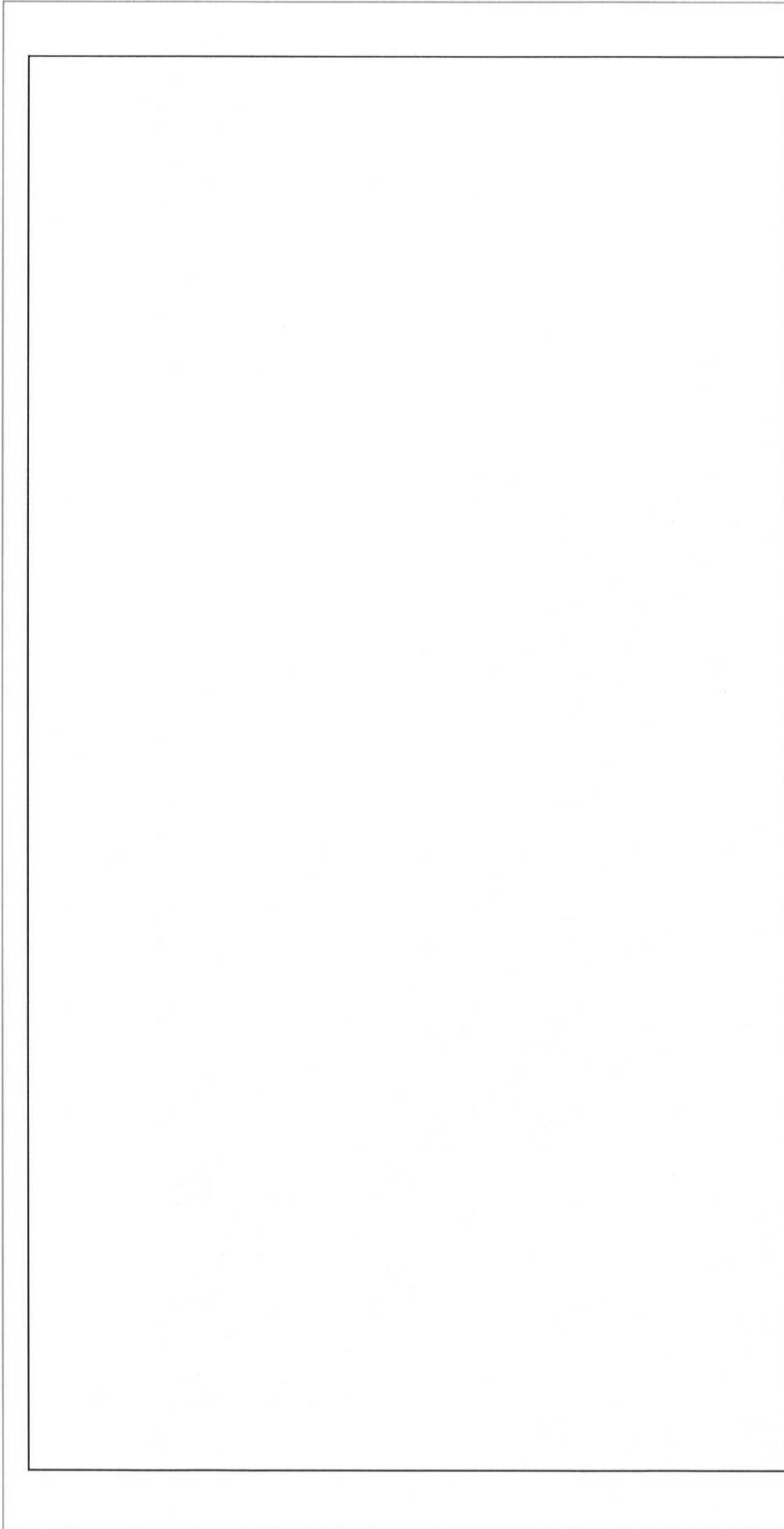
単位：mm

名称	付属建物 原料貯蔵所
図番	遮蔽関係図(建物断面) 図へ遮-2 付属建物 原料貯蔵所

凡例

— : 遮蔽能力を期待する屋根

*1 : 遮蔽計算上の設計確認値は



凡 例

- [] : 設備・機器の準備工事範囲(図中番号は表へ-6, 表チ-1, 表リ-10の設備名称冒頭記載の番号を示す)
- [斜線] : 設備・機器の一時仮置き場所(準備工事に干渉しない場所に仮置き)

名 称	付属建物 第3核燃料倉庫
図 号	設備・機器準備工事範囲図(1階)
番 号	図へ配準一1(1/2) 付属建物 第3核燃料倉庫

--	--

凡 例

- : 設備・機器の準備工事範囲(図中番号は表チ-1, 表リ-10の設備名称冒頭記載の番号を示す)
- : 設備・機器の一時仮置き場所(準備工事に干渉しない場所に仮置き)

名	付属建物 第3核燃料倉庫	
称	設備・機器準備工事範囲図(2階)	付属建物
図	図へ配準-1(2/2)	第3核燃料倉庫
番		

--	--

凡 例

□ : 設備・機器の準備工事範囲(図中番号は表へ-6の設備名称冒頭記載の番号を示す)

▨ : 設備・機器の一時仮置き場所(準備工事に干渉しない場所に仮置き)

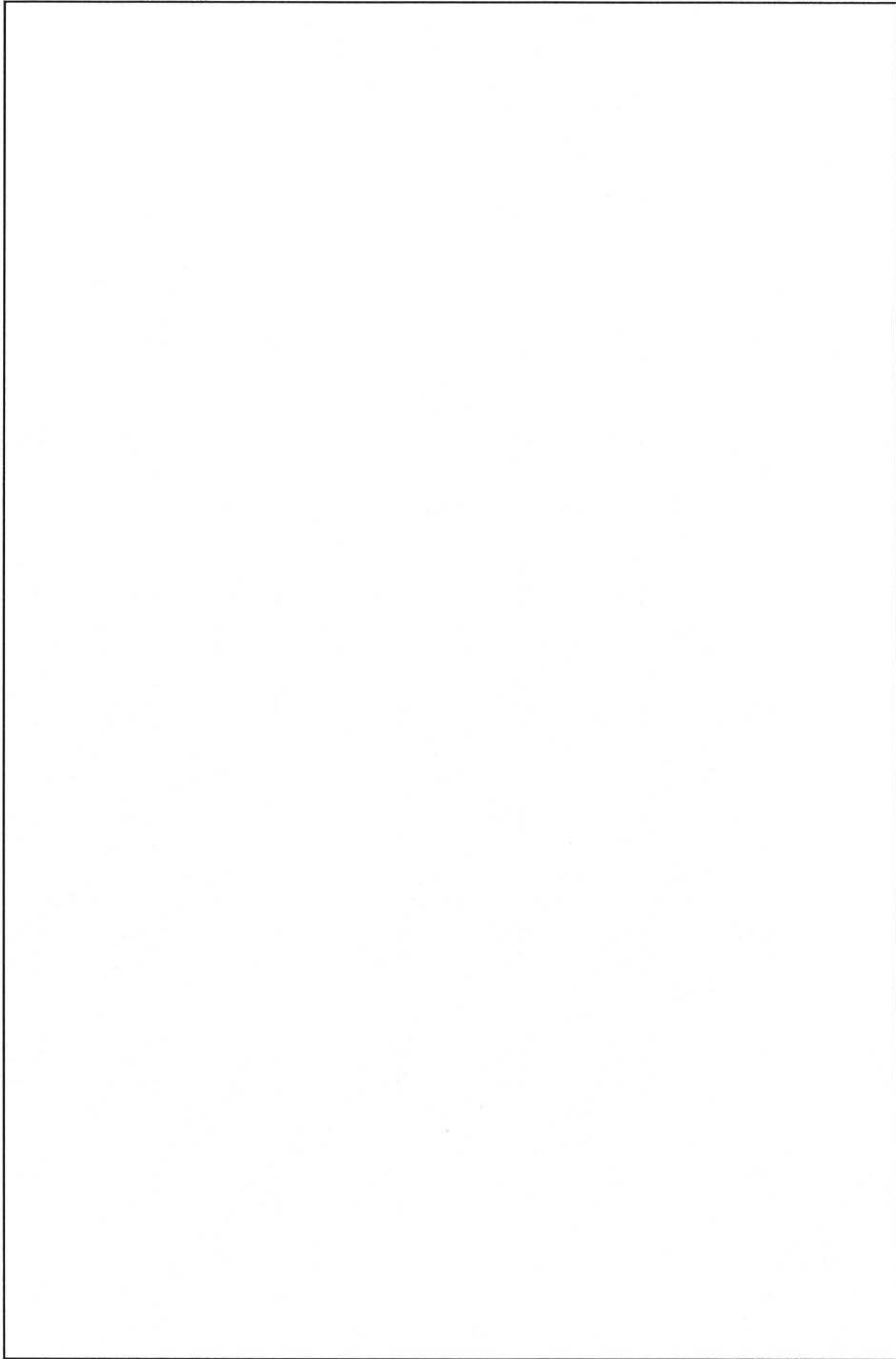
名	付属建物 原料貯蔵所	
称	設備・機器準備工事範囲図	
図	図へ配準-2	付属建物
番		原料貯蔵所

凡 例





[] : 設備・機器の準備工事範囲 (図中番号は表り-10の設備名称冒頭記載の番号を示す)

名 称	付属建物 劣化・天然ウラン倉庫 設備・機器準備工事範囲図
図 番	付属建物 図へ配準-3 劣化・天然ウラン倉庫

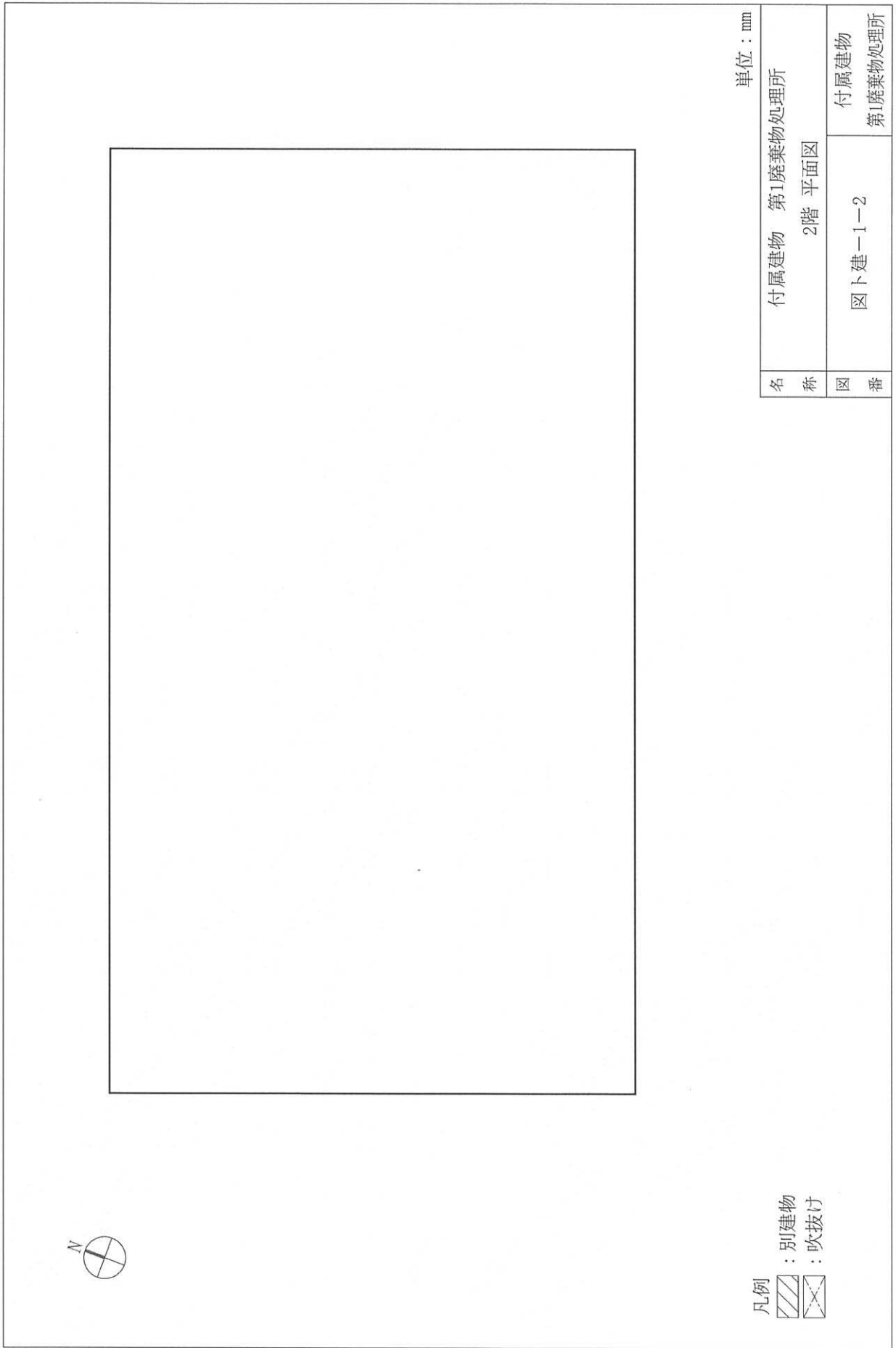
主要な 構造材	柱, 梁 屋根, 壁
------------	---------------



単位 : mm

- 凡例
-  : 別建物
 -  : EXP. J(エキスパンションジョイント)※概略図は図イ建-1-5参照
 - *  : F1竜巻で損傷しない、且つF3竜巻で耐える
 -  : 間仕切り壁更新 (石膏ボード厚さ)

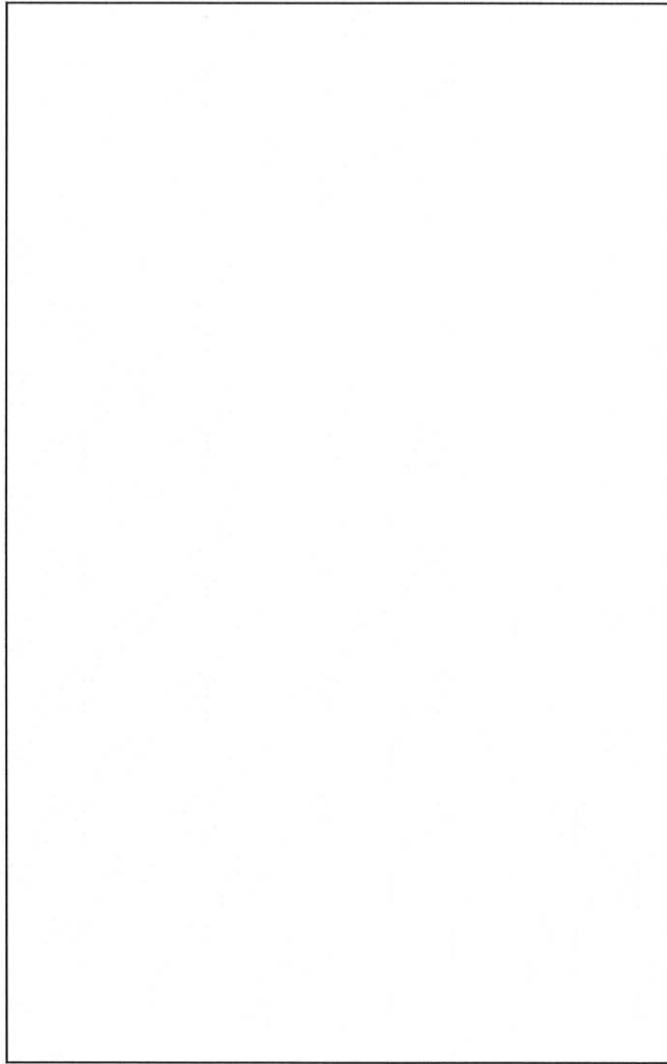
名称	付属建物 第1廃棄物処理所	
図番	1階 平面図	付属建物 第1廃棄物処理所
	図卜建-1-1-1	



凡例
 : 別建物
 : 吹抜け

単位：mm

名称	付属建物 第1廃棄物処理所	
図番	2階 平面図	付属建物 第1廃棄物処理所
	図卜建-1-2	

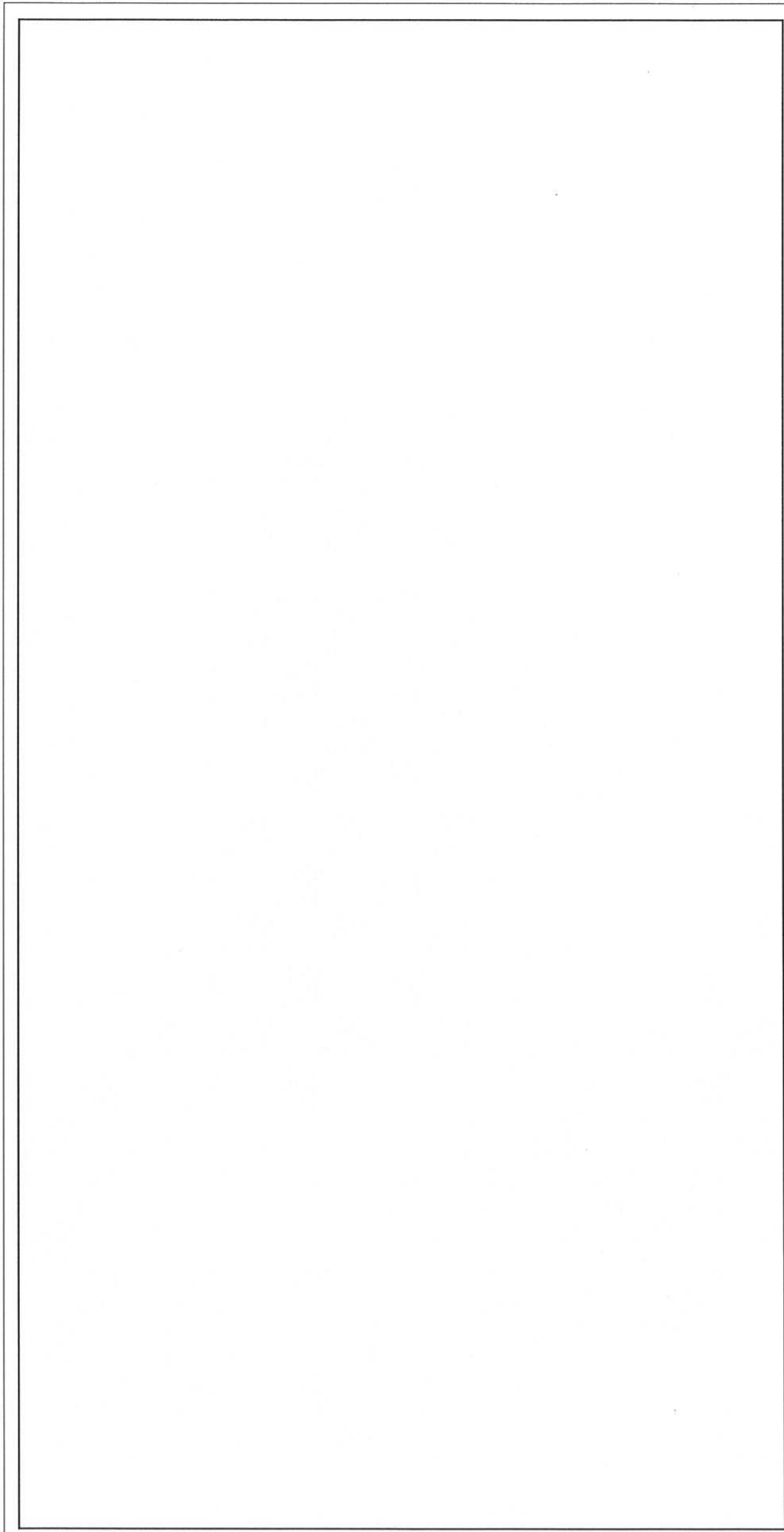


単位：mm

名称	付属建物 第1廃棄物処理所 屋根伏図
図番	図卜建-1-3 付属建物 第1廃棄物処理所

凡例
— : 勾配


注) 屋根には防水層を設置



凡例

 : 別建物

 : 勾配

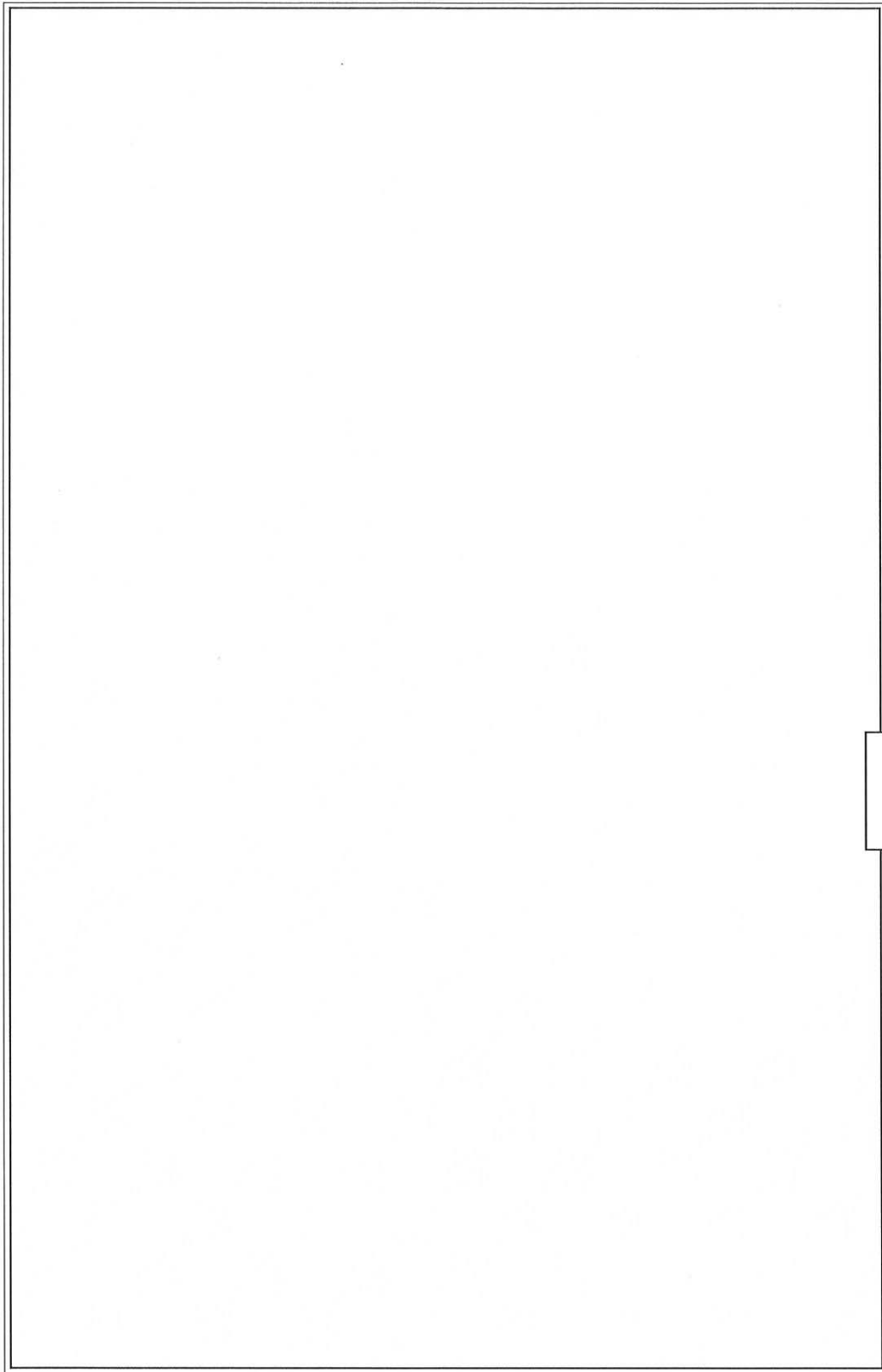
 : 開口部

EXP. J : エキスパンションジョイント

注) SDは鉄扉を示す

単位 : mm

名称	付属建物 第1廃棄物処理所 立面図
図番	図ト建-1-4 付属建物 第1廃棄物処理所



凡例
— : 勾配



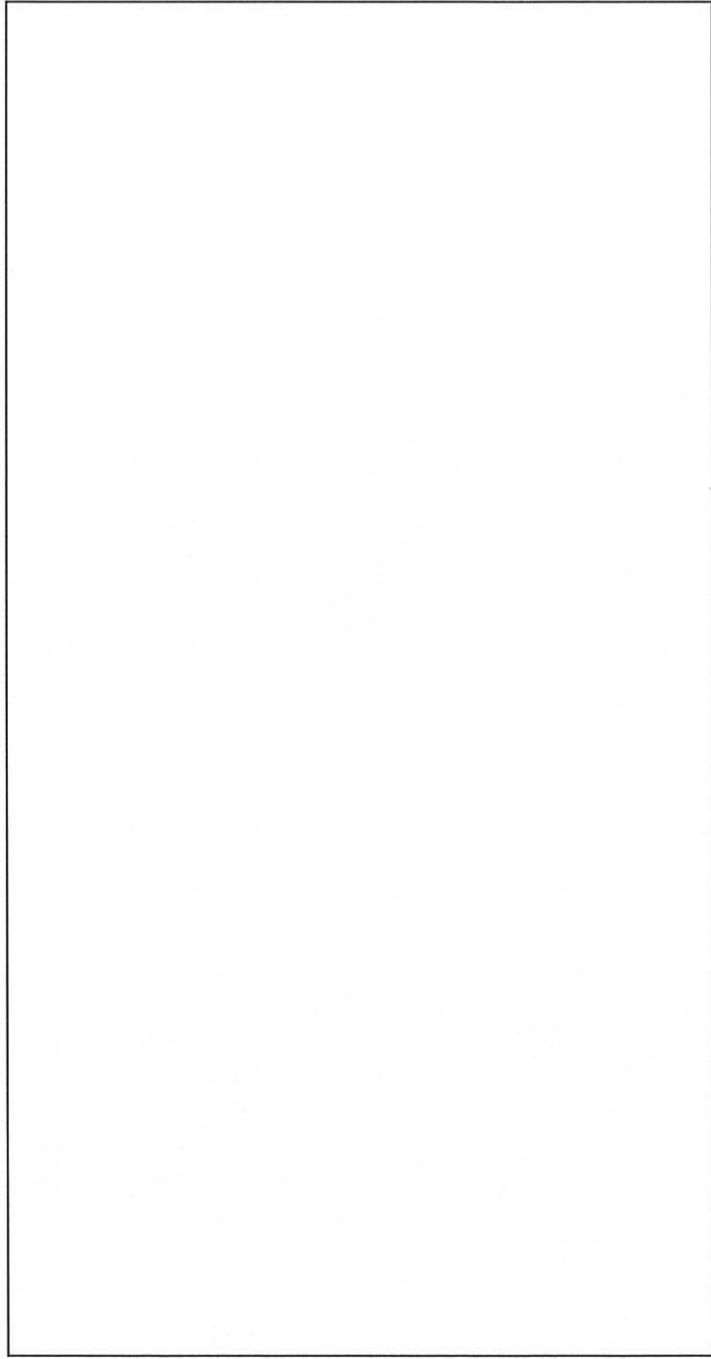
名称

附属建物 第1廃棄物処理所
断面図








図番

図卜建-1-5

附属建物
第1廃棄物処理所



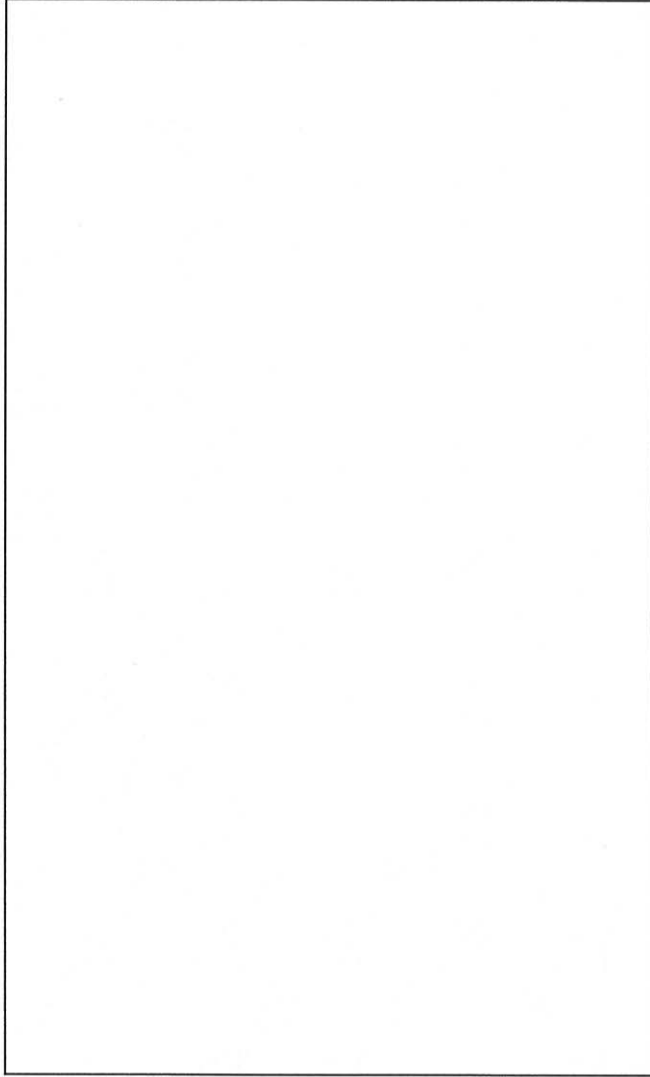
凡例

-  : 既設杭 ()
-  : 別建物
-  : 鋼板新設 (厚さ )
-  : 柱脚部溶接補強
-  : 外壁サイディング補強
-  : 梁側面増打ち
- 新設小梁 : NHG1, NHG3
- 新設片持ち梁 : NCG1

単位 : mm

名称	付属建物 第1廃棄物処理所 杭及び基礎及び1階伏図
図番	付属建物 第1廃棄物処理所 図卜建一1-6

注) 補強箇所を赤字で示す

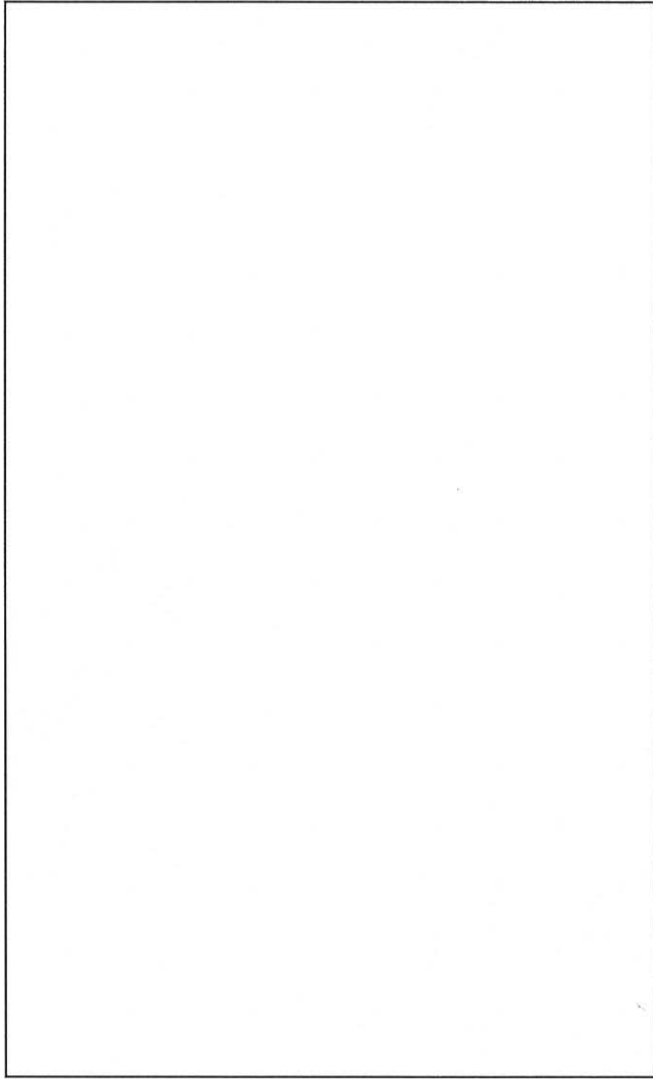


- 凡例
-  : 別建物
 -  : 吹抜け
 -  : 柱梁仕口部補強
 -  : 柱補強
 - 鉄骨梁交換補強 : NB1, NB1A
 - 外壁サイディング補強
 - 新設小梁 : NHG1, NHG2
 - 新設片持ち梁 : NCG1

単位 : mm

名称	付属建物 第1廃棄物処理所 2階 床梁伏図
図番	図ト建一1-7 付属建物 第1廃棄物処理所

注) 補強箇所を赤字で示す



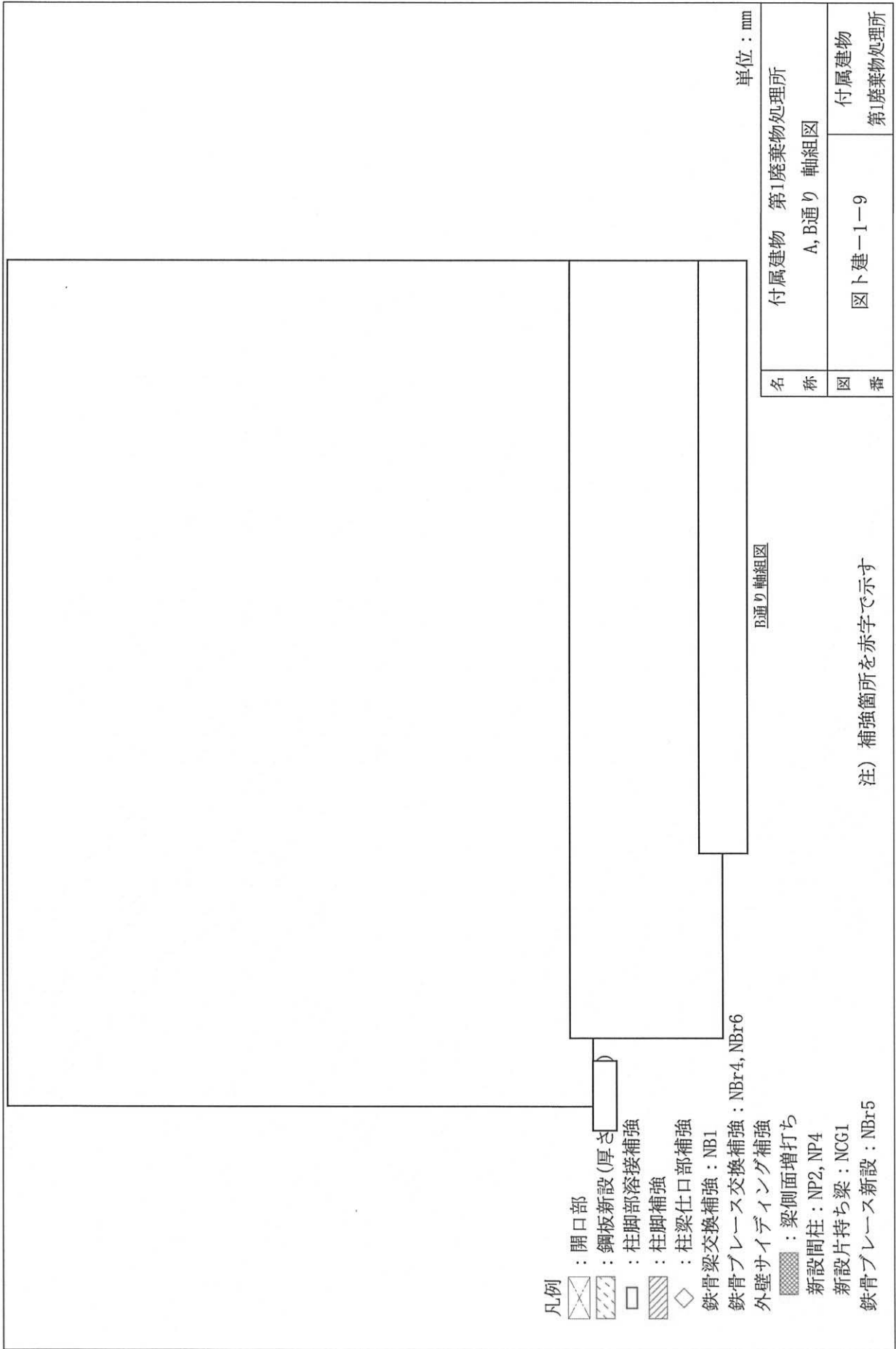
凡例

- ◇ : 柱梁仕口部補強
- 外壁サイディング補強
- 新設小梁 : NHG1, NHG3
- 新設片持ち梁 : NCG1
- 屋根面ブレース追設 : NHBr1

注) 補強箇所を赤字で示す

単位 : mm

名称	付属建物 第1廃棄物処理所 R階 伏図
図番	図ト建-1-8 付属建物 第1廃棄物処理所



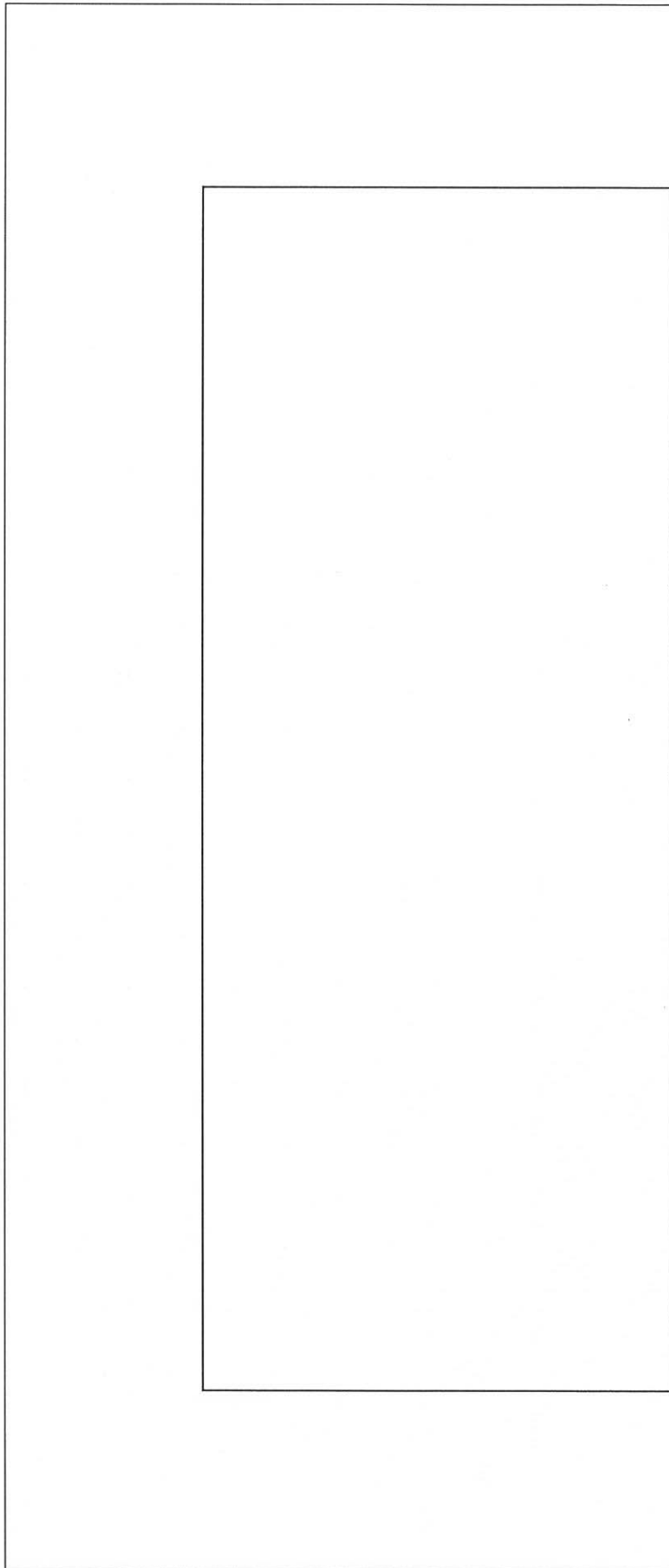
凡例

- : 開口部
- : 鋼板新設(厚さ)
- : 柱脚部溶接補強
- : 柱脚補強
- : 柱梁仕口部補強
- 鉄骨梁交換補強 : NB1
- 鉄骨ブレース交換補強 : NBr4, NBr6
- 外壁サイディング補強
- : 梁側面増打ち
- 新設間柱 : NP2, NP4
- 新設片持ち梁 : NCG1
- 鉄骨ブレース新設 : NBr5







単位 : mm

名称	付属建物 第1廃棄物処理所 A, B通り 軸組図
図番	図ト建一1-9 付属建物 第1廃棄物処理所

注) 補強箇所を赤字で示す



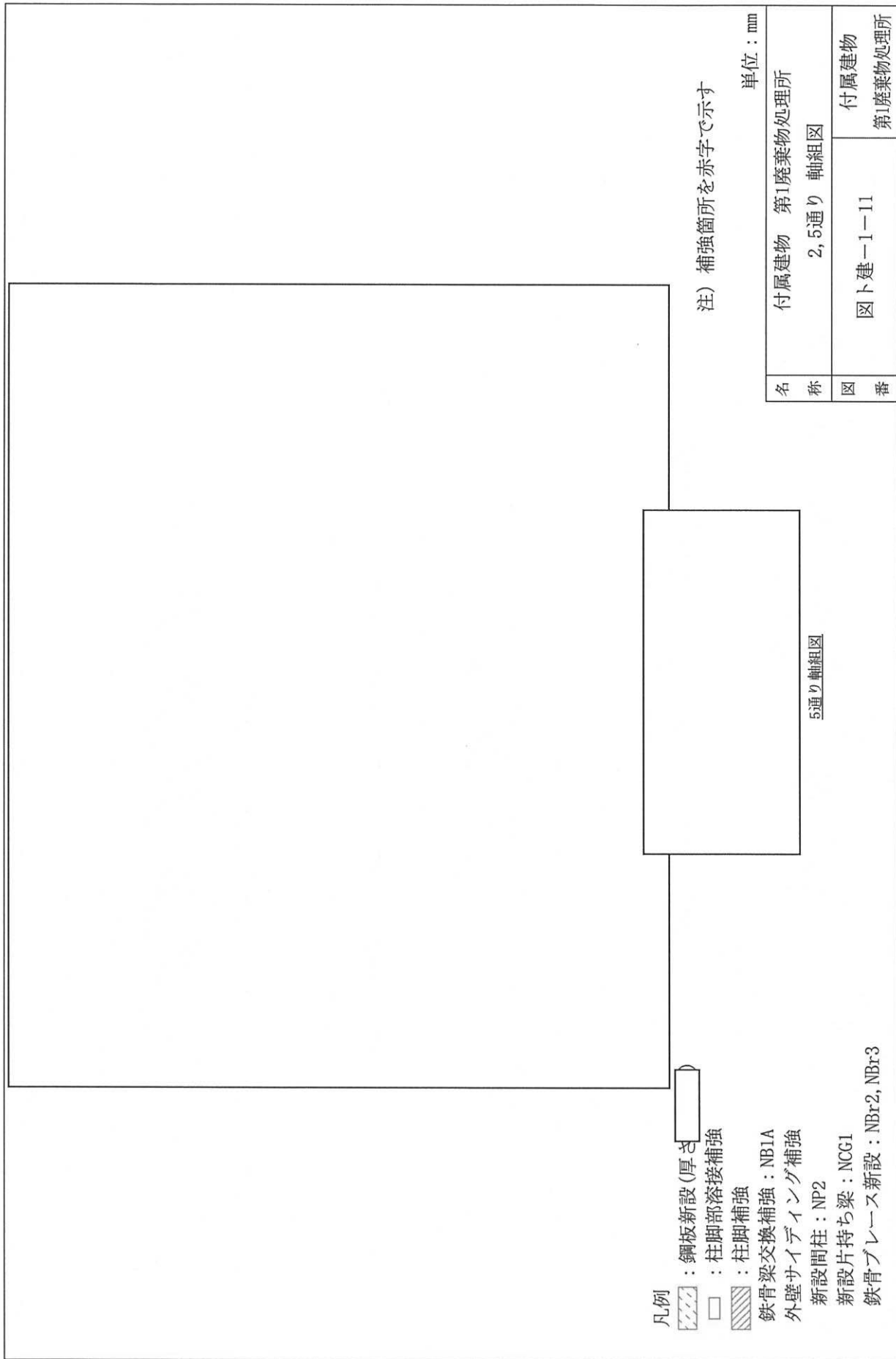
凡例

-  : 開口部
-  : 鋼板新設 (厚さ )
-  : 柱脚部溶接補強
-  : 柱脚補強
-  : 柱梁仕口部補強
- 柱補強 : NBCT
- 外壁サイディング補強
- 新設間柱 : NP2
- 新設片持ち梁 : NCG1
- 鉄骨ブレース交換補強 : NBr3, NBr4





注) 補強箇所を赤字で示す

単位 : mm

名称	付属建物 第1廃棄物処理所 C通り 軸組図
図番	図ト建-1-10 付属建物 第1廃棄物処理所



凡例

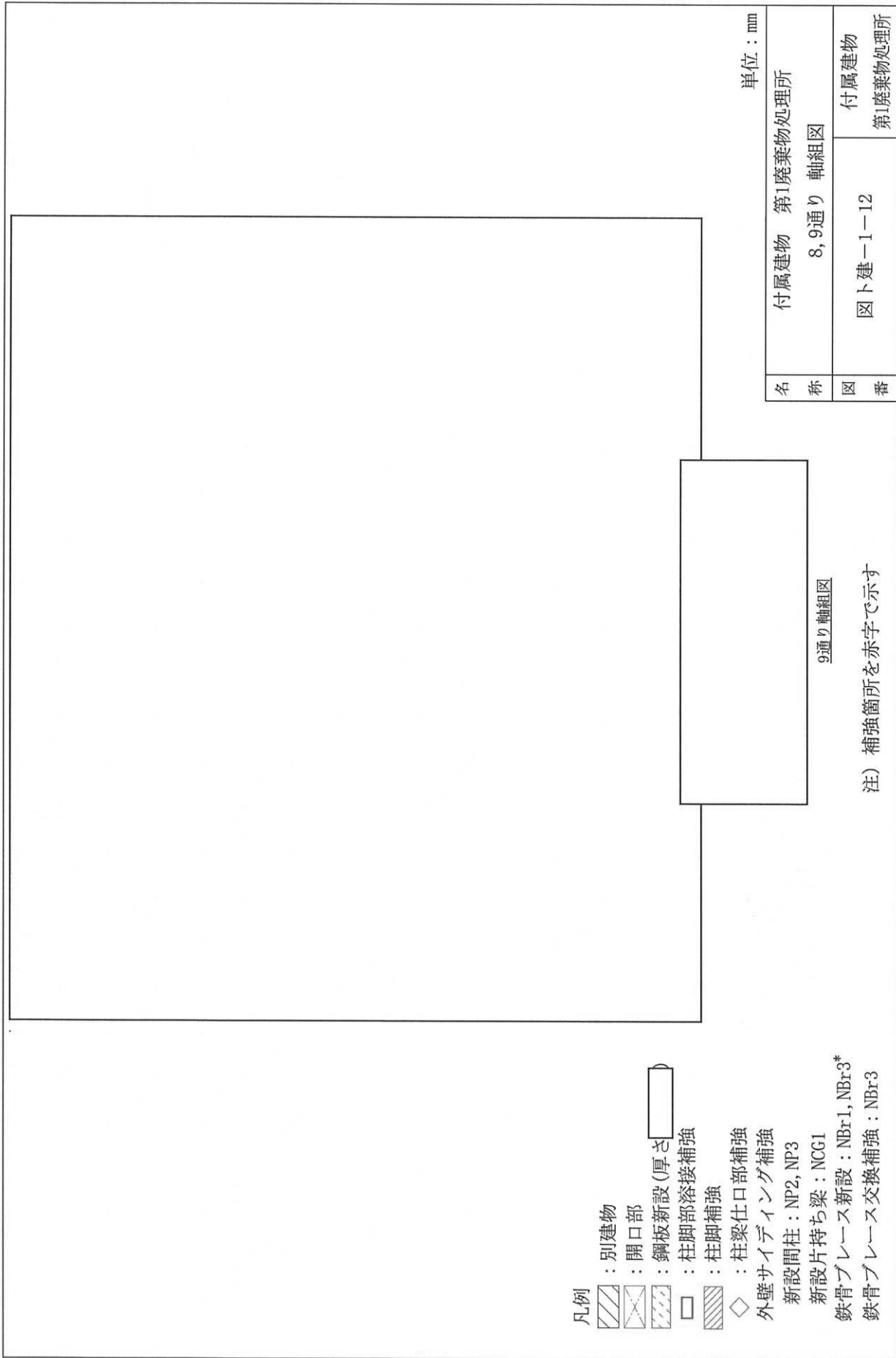
-  : 鋼板新設 (厚さ )
-  : 柱脚部溶接補強
-  : 柱脚補強
- 鉄骨梁交換補強 : NB1A
- 外壁サイディング補強
- 新設間柱 : NP2
- 新設片持ち梁 : NCG1
- 鉄骨ブレース新設 : NBr2, NBr3








注) 補強箇所を赤字で示す

単位 : mm

名称	付属建物 第1廃棄物処理所
図番	2, 5通り 軸組図 図ト建-1-11 付属建物 第1廃棄物処理所

5通り軸組図



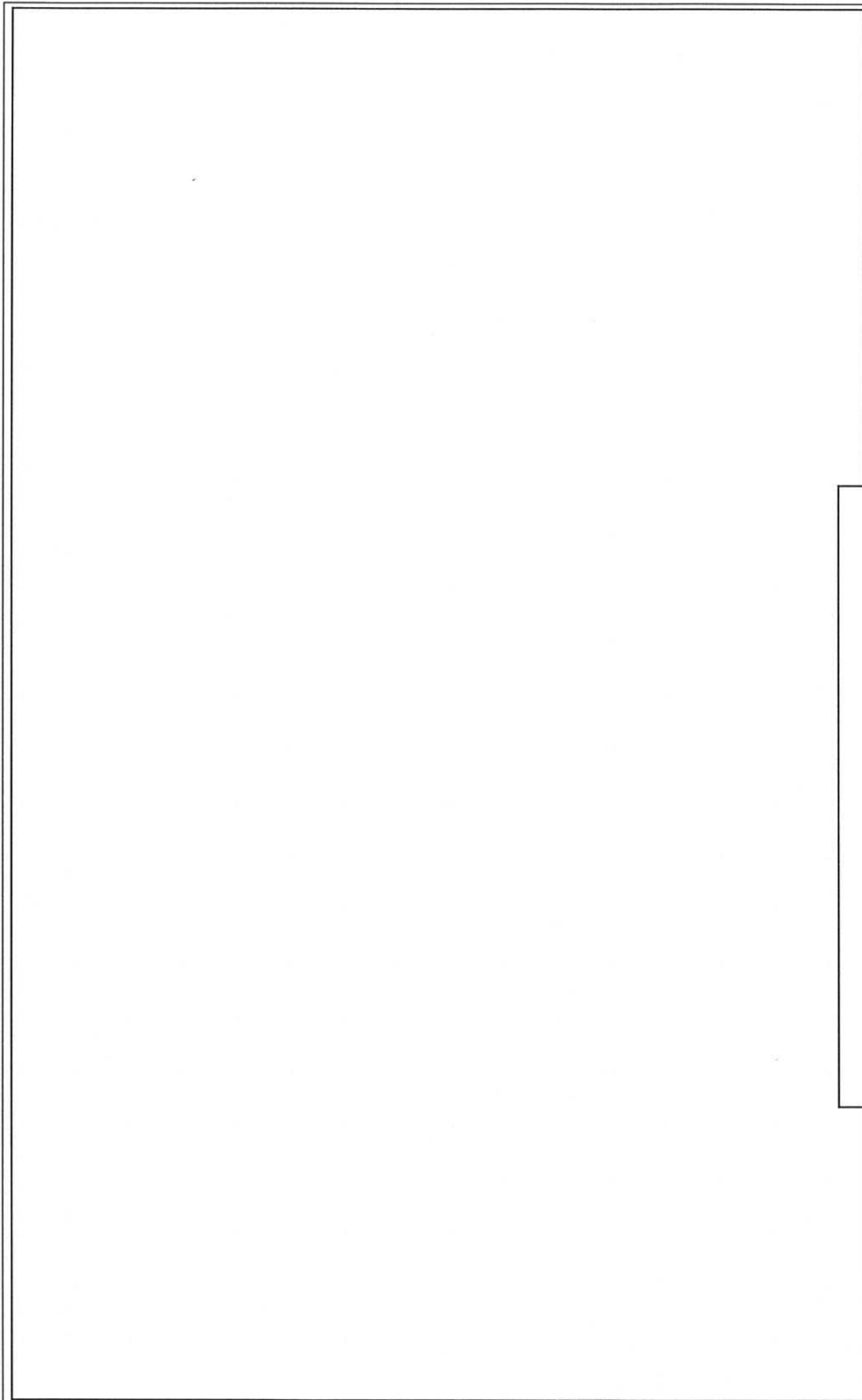
- 凡例
-  : 別建物
 -  : 開口部
 -  : 鋼板新設(厚さ )
 -  : 柱脚部溶接補強
 -  : 柱脚補強
 -  : 柱梁仕口部補強
 - 外壁サイディング補強
 - 新設間柱: NP2, NP3
 - 新設片持ち梁: NCG1
 - 新設ブレース新設: NBr1, NBr3*
 - 鉄骨ブレース交換補強: NBr3

単位: mm


名称	付属建物 第1廃棄物処理所
図番	8, 9通り 軸組図 図ト建-1-12 付属建物 第1廃棄物処理所

9通り軸組図

注) 補強箇所を赤字で示す




凡例

 : 別建物

 : 開口部

鉄骨ブレース新設 : NBr11, NBr12

外壁サイディング補強

 : 梁側面増打ち

新設間柱 : NP1, NP2, NP3, NP5

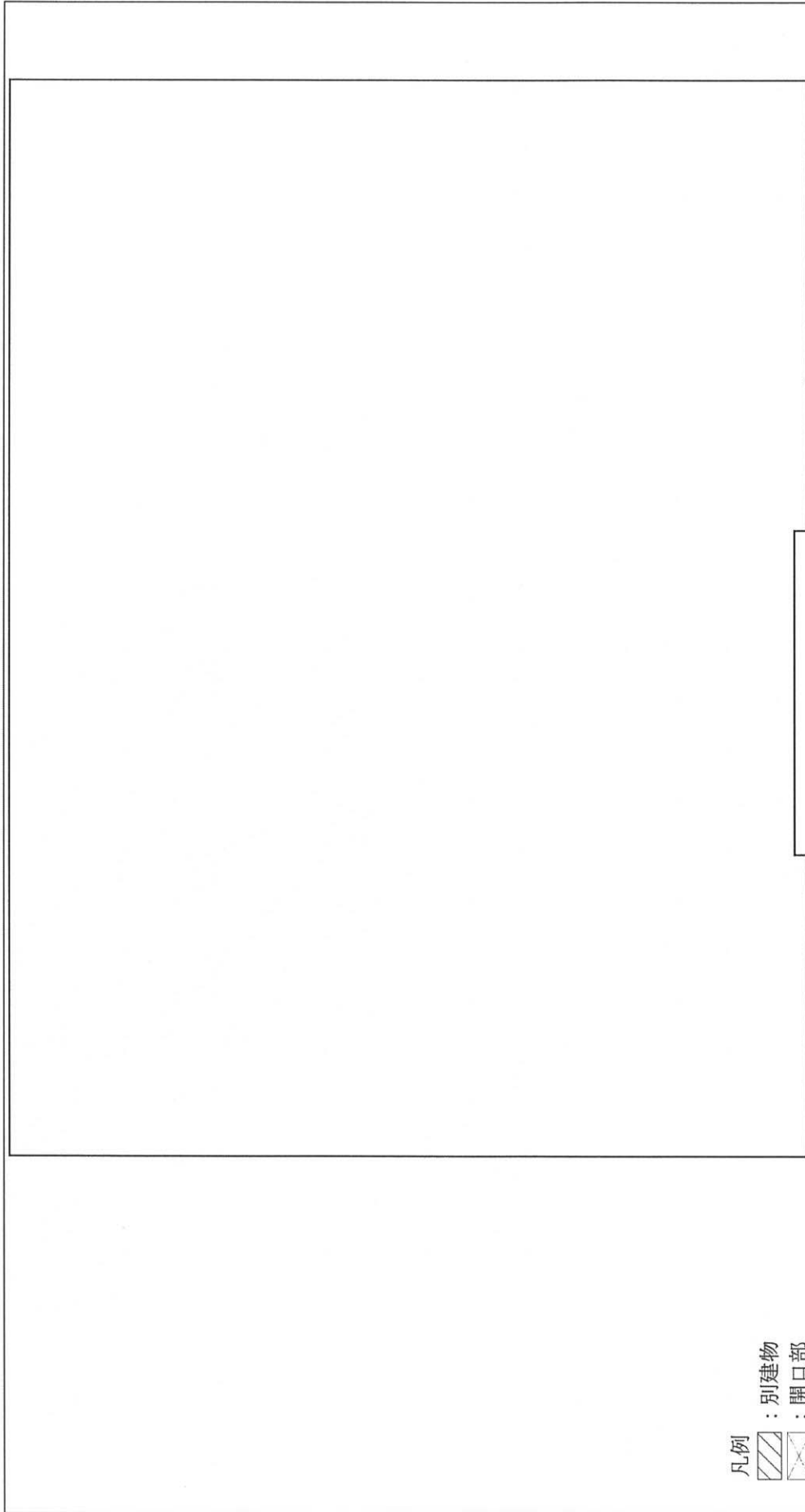
新設小梁 : NHG1, NHG2, NHG4, NHG5

外壁下地材 : NGIR


注) 補強箇所を赤字で示す


単位 : mm

名称	付属建物 第1廃棄物処理所 A, C通り 外壁サイディング補強受材 軸組図
図番	付属建物 第1廃棄物処理所 図ト建-1-13



凡例

 : 別建物

 : 開口部

鉄骨ブレース新設 : NBr12

外壁サイディング補強

 : 梁側面増打ち

新設間柱 : NP1, NP2, NP4

新設小梁 : NHG1, NHG3, NHG4, NHG5

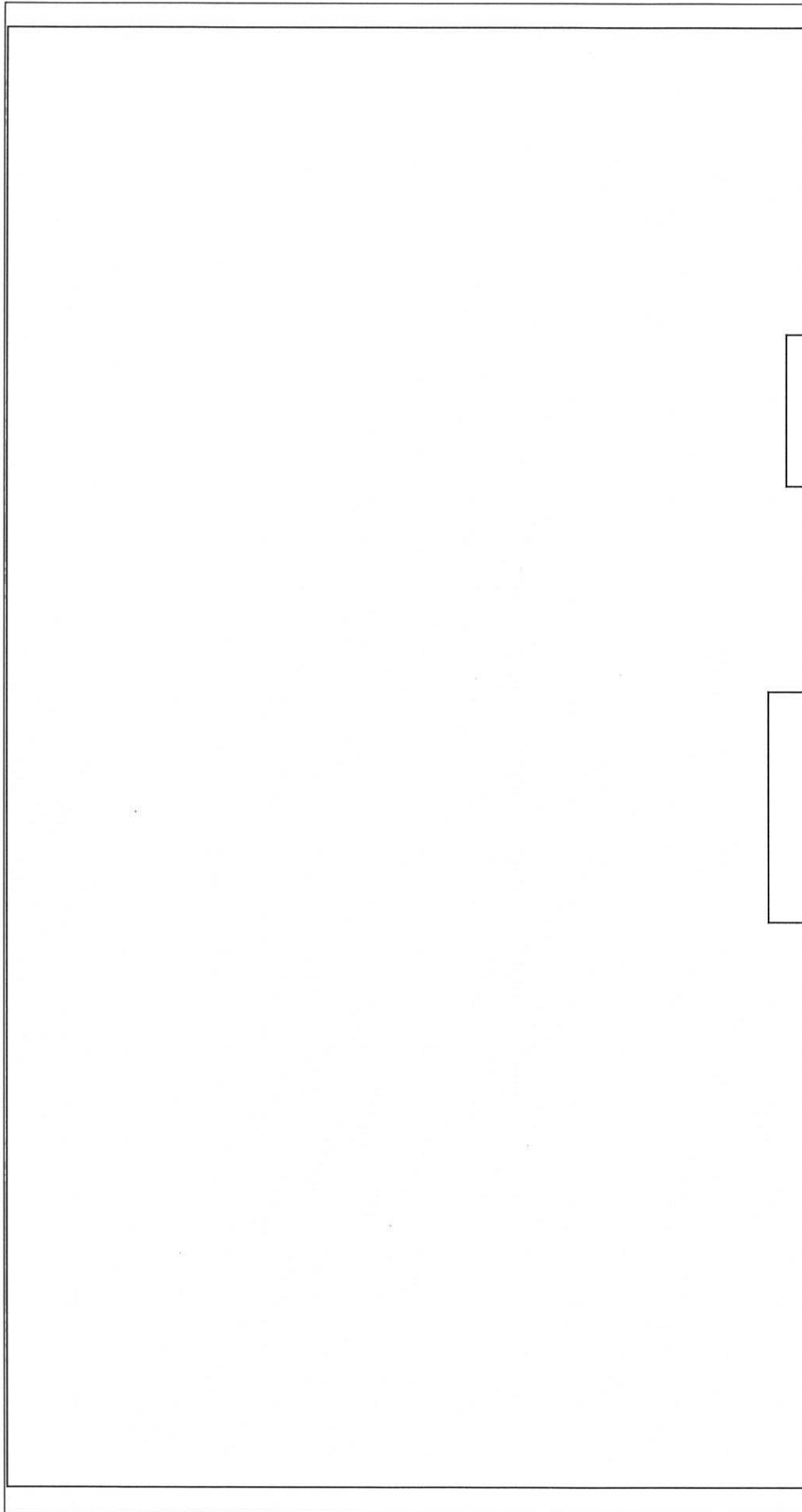
外壁下地材 : NGIR

単位 : mm

名称	付属建物 第1廃棄物処理所 2,9通り 外壁サイディング補強受材 軸組図
図番	図ト建-1-14 付属建物 第1廃棄物処理所

補強箇所を赤字で示す

注) 補強箇所を赤字で示す



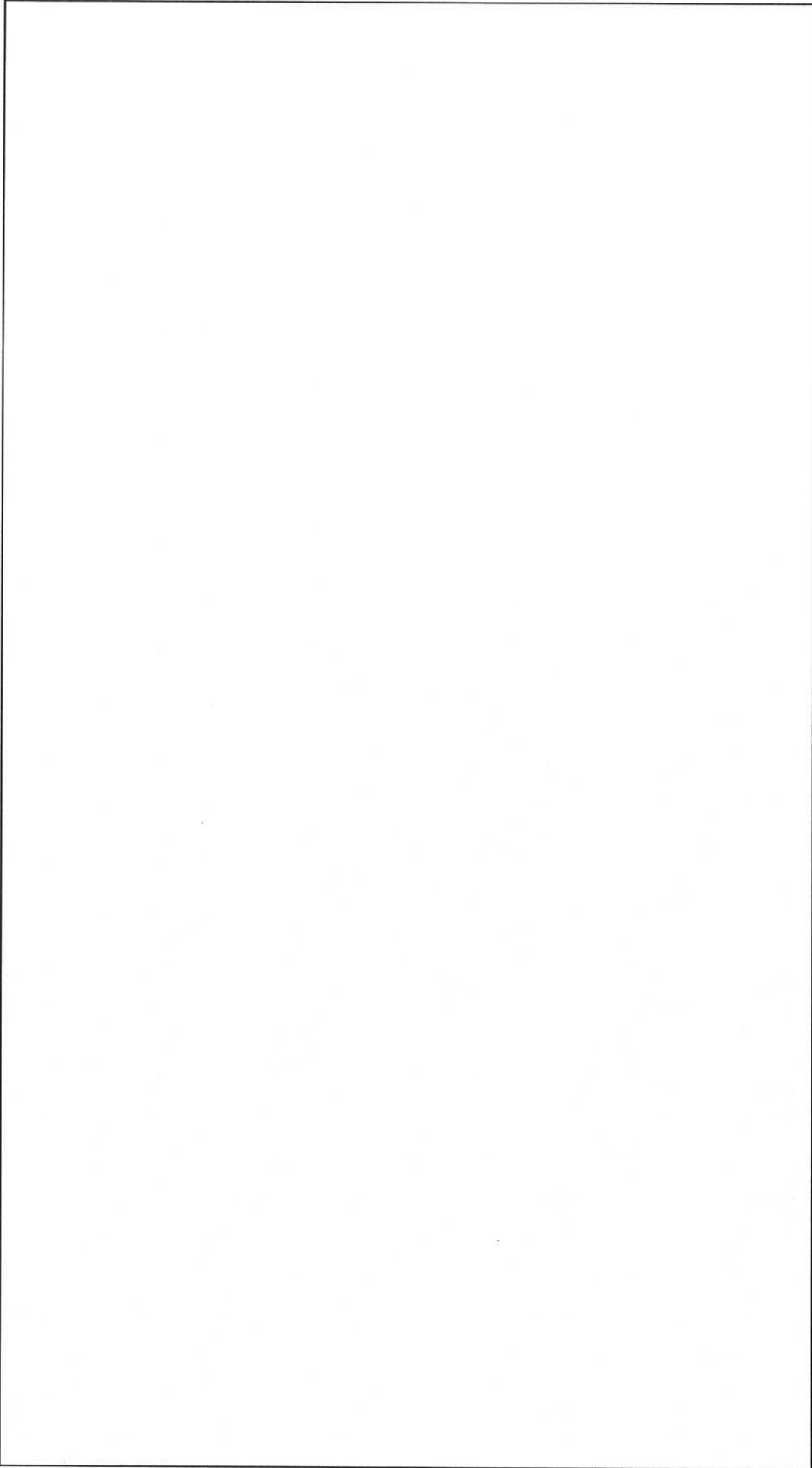
単位：mm

B 断面図

名称	付属建物 第1廃棄物処理所 外壁サイディング補強及び屋根面ブレース補強概略図
図番	図ト建-1-15 付属建物 第1廃棄物処理所

A 断面図

注) 補強箇所を赤字で示す

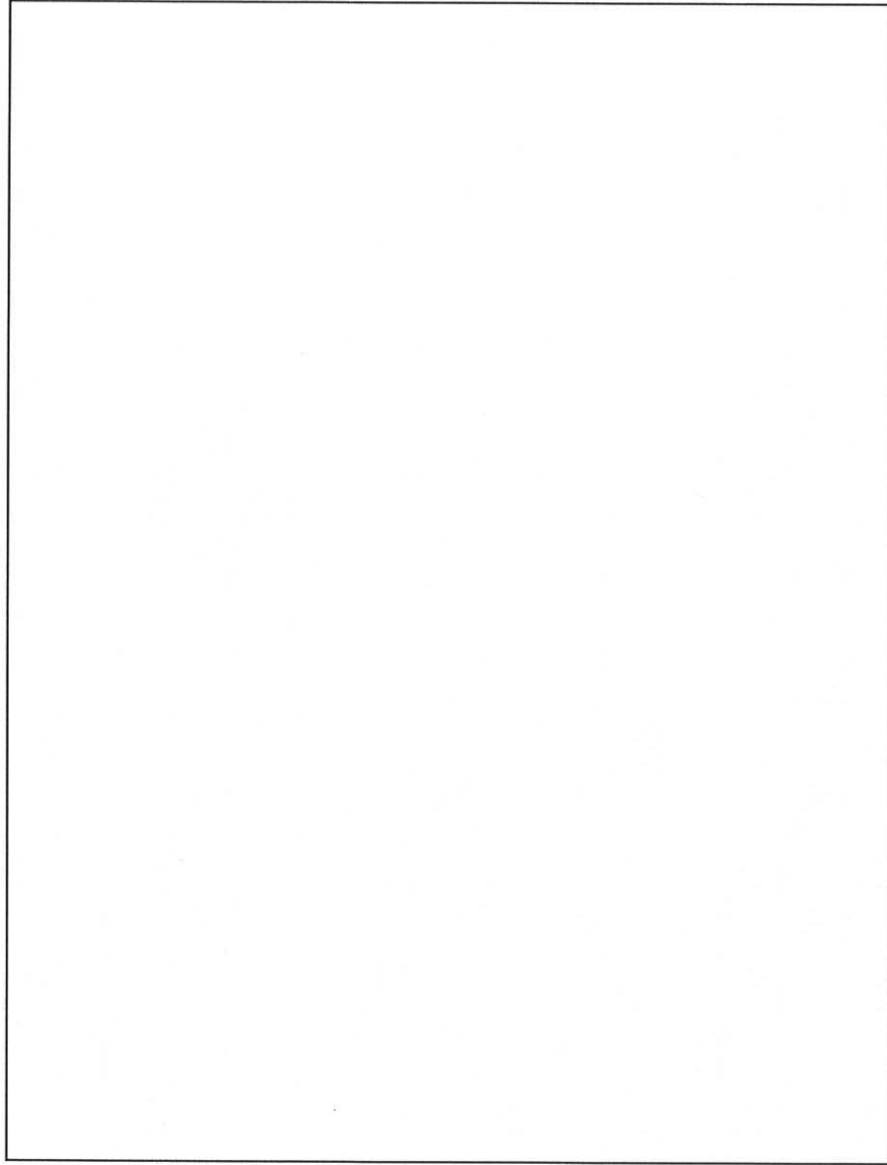


鉄骨ブレース補強、柱梁仕口部補強、柱脚部溶接補強概略図
(断面図)

名称	付属建物 第1廃棄物処理所 鉄骨ブレース補強、柱梁仕口部補強、柱脚部溶接補強概略図
図番	図ト建-1-16 付属建物 第1廃棄物処理所

注) 補強箇所を赤字で示す

主要な 構造材	柱, 梁
	屋根, 壁



単位 : mm

名称	付属建物 第1廃棄物処理所前室 平面図
図番	図ト建-2-1 付属建物 第1廃棄物処理所前室

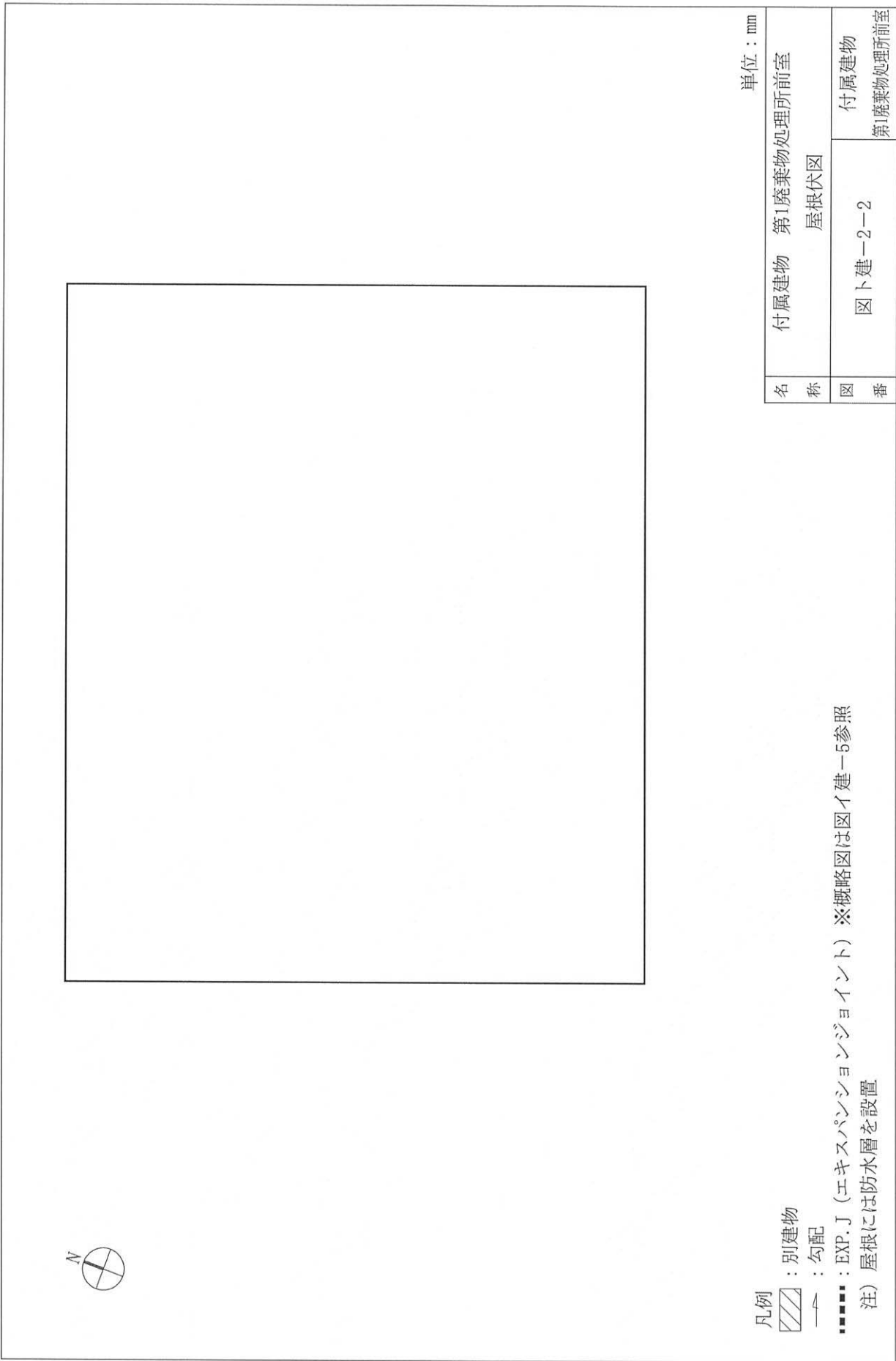
注) SDは鉄扉を示す

凡例

▨ : 別建物

■■■■ : EXP. J (エキスパンションジョイント) ※概略図は図イ建-1-5参照

* : F1巻巻で損傷しない、且つF3巻巻で耐える



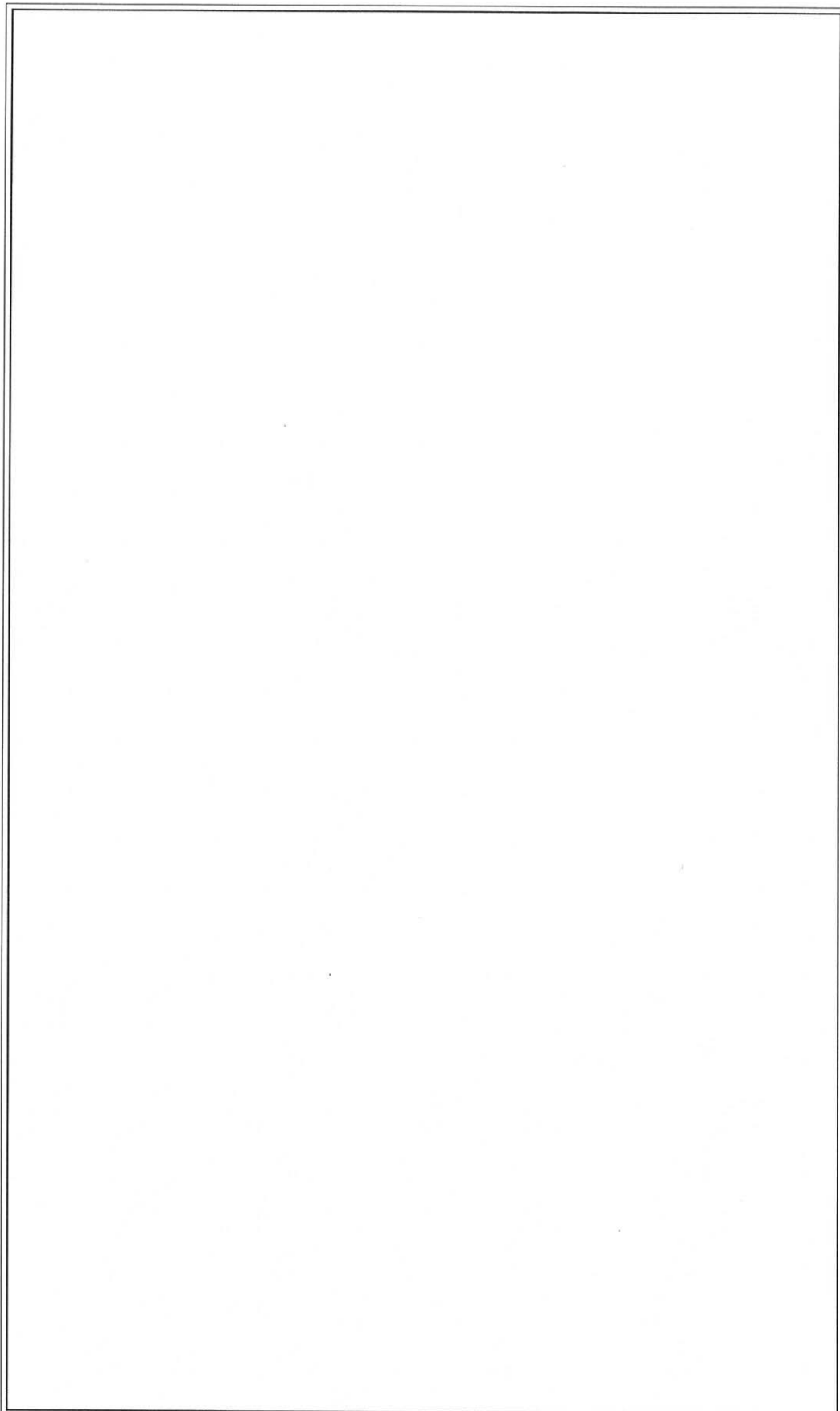
単位：mm

名称	付属建物 第1廃棄物処理所前室
図番	図卜建-2-2 屋根伏図
	付属建物 第1廃棄物処理所前室

凡例
 : 別建物
 : 勾配

..... : EXP.J (エキスパンションジョイント) ※概略図は図イ建-5参照

注) 屋根には防水層を設置



凡例

▨ : 別建物

EXP. J : エキスパンションジョイント

注) SDは鉄扉を示す

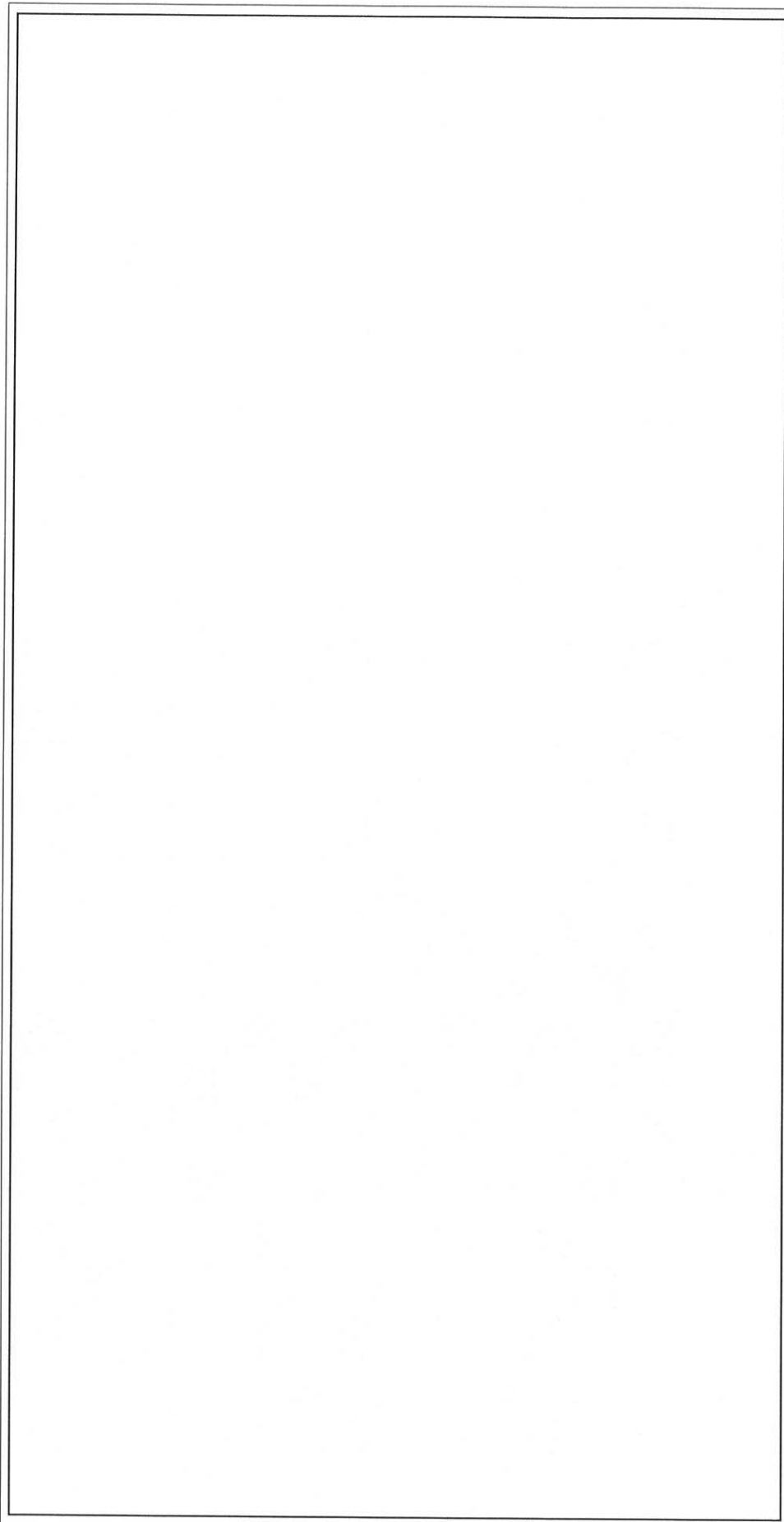
名称

付属建物 第1廃棄物処理所前室
立面図



図番

図卜建-2-3

付属建物
第1廃棄物処理所前室

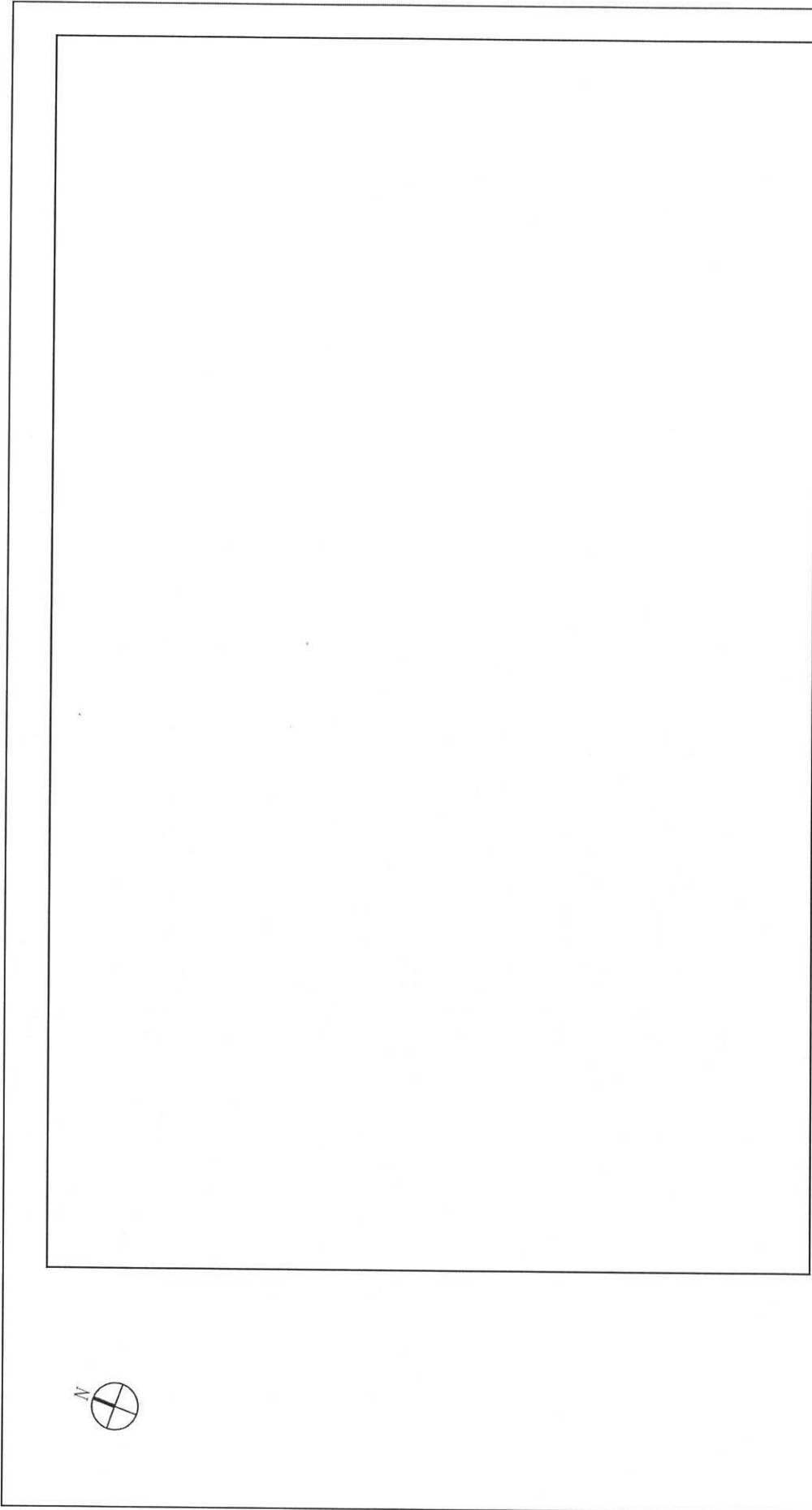


単位：mm

凡例
 : 別建物
 : 地盤改良
 EXP. J : エキスパンションジョイント

名称	附属建物 第1廃棄物処理所前室
図番	断図 図卜建-2-4
	附属建物 第1廃棄物処理所前室

南側立面図



単位：mm

名称	付属建物 第1廃棄物処理所前室	
図番	図ト建-2-5	付属建物 第1廃棄物処理所前室

凡例

▨ : 別建物

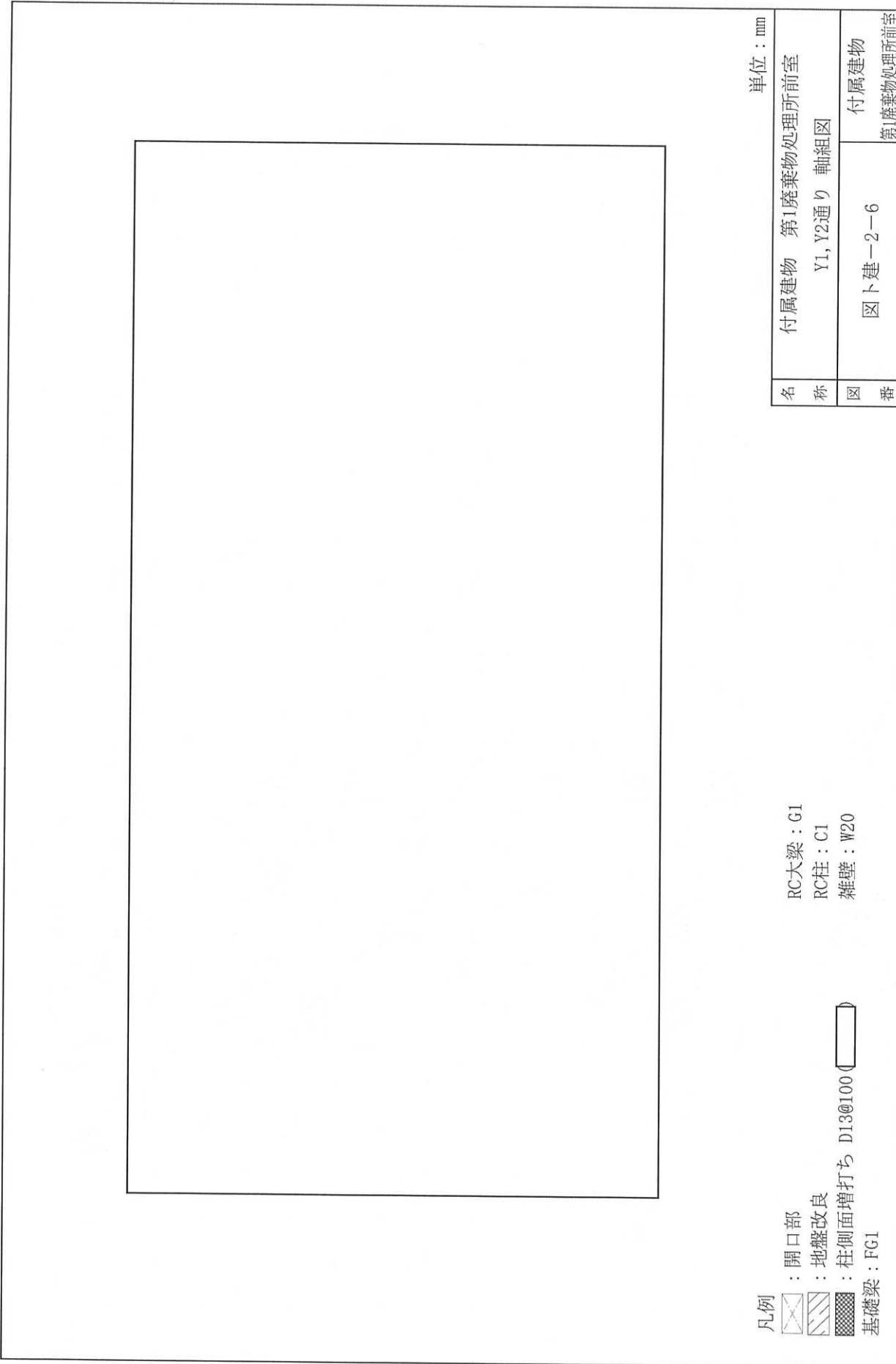
基礎梁 : FGI, FG11

RC大梁 : GI, G11

床スラブ : FS1, FCS1





屋根スラブ : S1

庇 : CS1, CS2, CS3

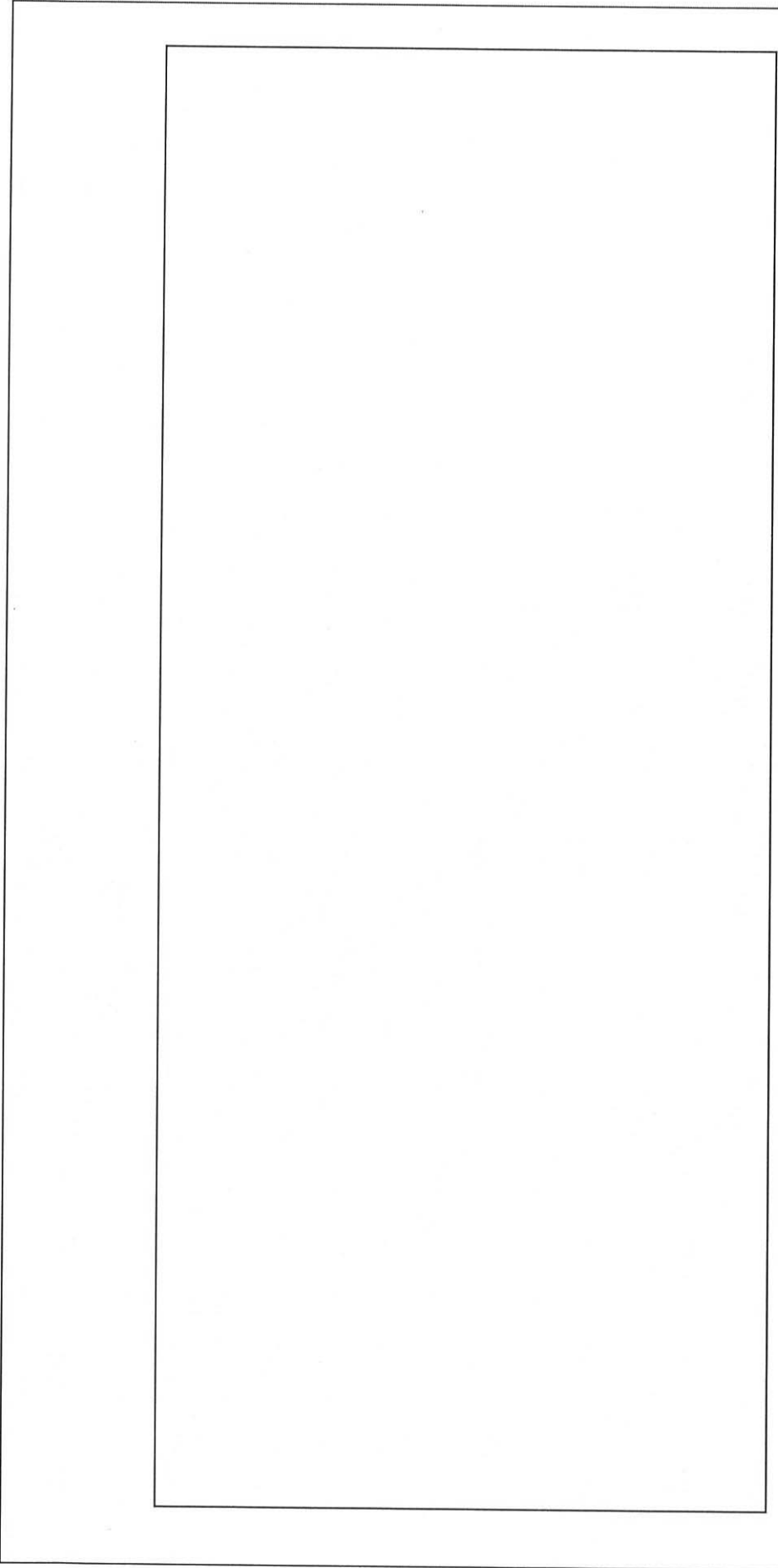


単位：mm




名称	付属建物 第1廃棄物処理所前室 Y1, Y2通り 軸組図
図番	付属建物 図卜建-2-6 第1廃棄物処理所前室

- 凡例
-  : 開口部
 -  : 地盤改良
 -  : 柱側面増打ち D13@100
 -  : 基礎梁 : FG1

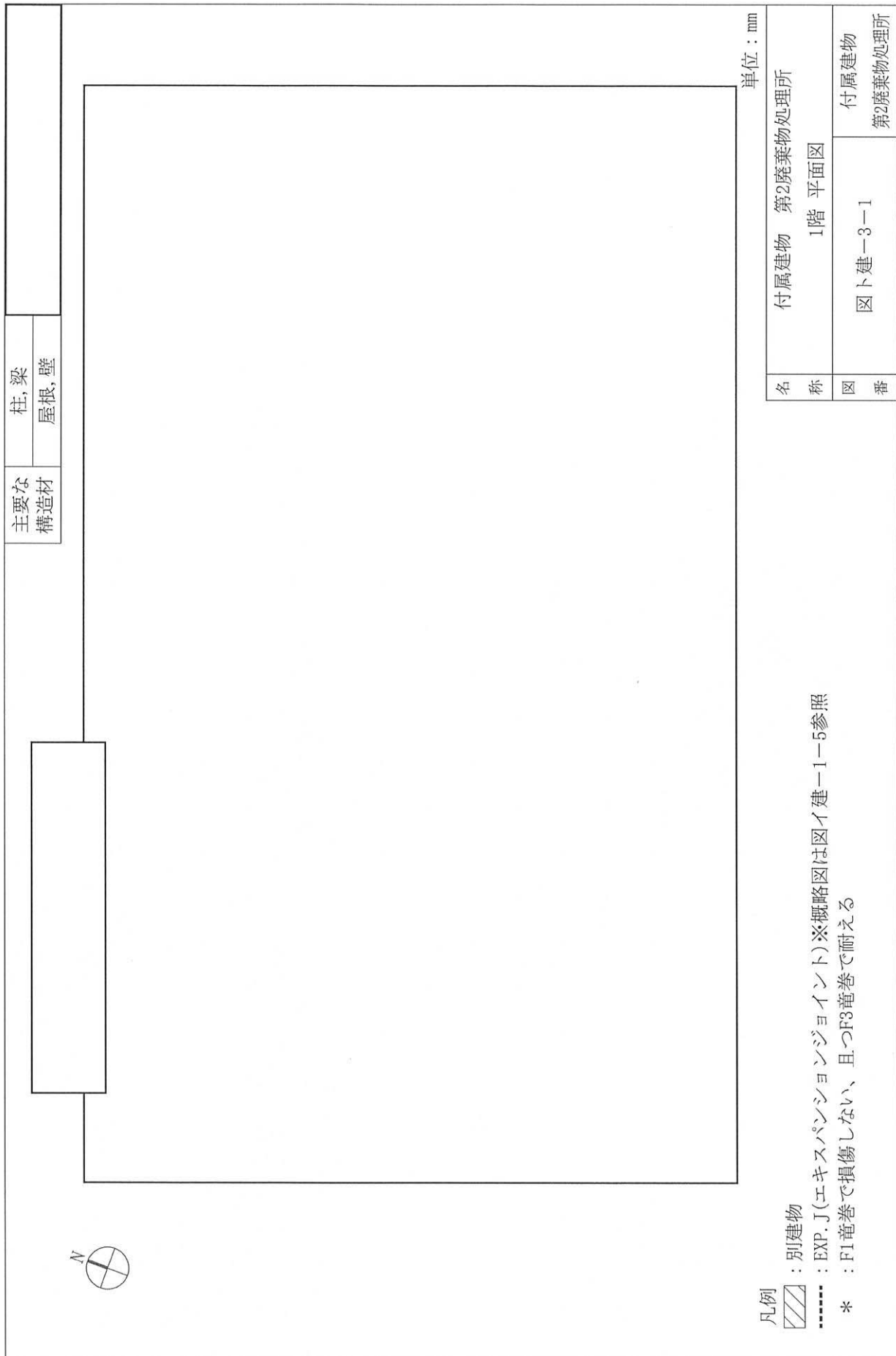
- RC大梁 : G1
- RC柱 : C1
- 雑壁 : W20



单位：mm

- 凡例
- ：別建物
 - ：開口部
 - ：地盤改良
 - 基礎梁：FG11
 - RC大梁：G11
 - RC柱：C1
 - 耐震壁：SW20
 - 雑壁：W20

名称	付属建物 第1廃棄物処理所前室 X1, X2通り 軸組図	
図番	図卜建-2-7	付属建物 第1廃棄物処理所前室



主要な
構造材

柱, 梁
屋根, 壁

単位 : mm

名 称	付属建物 第2廃棄物処理所	
図 番	1階 平面図	付属建物 第2廃棄物処理所
	図ト建-3-1	

凡例

▨ : 別建物

EXP. J (エキスパンションジョイント) ※概略図は図イ建-1-5参照

* : F1 竜巻で損傷しない、且つF3 竜巻で耐える